

厚生労働省子ども家庭局
2019年度先駆的ケア策定・検証調査事業

**里親養育における親子関係調整及び
家族再統合支援のあり方に関する調査研究
報告書**

令和2年3月

株式会社 政策基礎研究所

目次

第1章	調査の考え方	1
1.1	本調査研究の背景・目的	1
1.2	本調査研究の流れ	4
第2章	アンケート調査	5
2.1	調査対象	5
2.2	調査方法	6
2.3	調査期間	6
2.4	調査項目（詳細は第6章を参照）	6
2.5	回収状況	7
2.6	調査結果	9
第3章	ヒアリング調査	35
3.1	調査対象	35
3.2	調査方法	35
3.3	調査期間	35
3.4	調査項目	35
3.5	調査結果	36
第4章	考察	39
4.1	里親養育における実親との面会交流について	39
4.2	家族再統合支援プランの子ども、実親、里親等への説明の充実	40
4.3	里親の家族再統合支援への関わり	40
4.4	実親や子ども、里親に対する家族再統合の直接的支援の充実	41
4.5	関係機関の関わりや児童相談所との連携	42
4.6	関係機関における今後の検討課題	42
第5章	事例集	44
5.1	機関1	44
5.2	機関2	46
5.3	機関3	49
5.4	機関4	51
5.5	機関5	54
5.6	機関6	58
5.7	機関7	61
5.8	機関8	63
第6章	資料	65
6.1	検討委員会の概要	65

6.2 アンケート調査票.....	67
6.3 アンケート調査の設問別記述統計	87

図表目次

図表 1	里親養育における家族再統合支援の目標	2
図表 2	「里親養育における家族再統合支援」のモデル	3
図表 3	ケース票の対象となる里親委託ケース	5
図表 4	里親養育における家族再統合支援の目標（再掲）	5
図表 5	事例票の対象となる里親委託ケース	6
図表 6	ケース票の全体的な概要	8
図表 7	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「里親委託期間の平均日数」	9
図表 8	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での目標」	10
図表 9	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「子どもの平均年齢（歳）」	11
図表 10	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での子どもの実親との交流への不安の有無」	12
図表 11	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での実親の子ども引取希望の有無」	13
図表 12	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での実親の経済上の問題の有無」	14
図表 13	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での実親の障害の診断もしくは疑いの有無」	15
図表 14	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での実親の過去の有罪判決の有無」	16
図表 15	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での実親のDVの問題の有無」	17
図表 16	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「実親との面会・外出・外泊の交流の有無」	18
図表 17	「委託開始時点での目標がBもしくはCのケース」のみにおける「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「実親との交流の有無」	19
図表 18	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「実親との交流ありの理由」	21
図表 19	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「直近一年間における実親との交流の平均回数（回）」	22
図表 20	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「家族再統合支援に関わった機関」	23
図表 21	「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「家族再統合支援に関わった機関」（個々の機関別）	24
図表 22	「その他の機関」のカテゴリ別集計（ケース票全体）	24

図表 23 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「自立支援計画作成に対する 里親の意向を確認する方法」	25
図表 24 家族再統合支援の項目	27
図表 25 家族再統合支援の項目別の各機関の関わり (n=123)	28
図表 26 家族再統合支援の項目別の各機関の関わり (n=123) (続き)	29
図表 27 家族再統合支援の項目別の各機関の関わり (n=123) (続き)	30
図表 28 家族再統合支援の項目別の各機関の関わり (n=123) (続き)	31
図表 29 「その他の機関」のカテゴリ別集計	31
図表 30 「フォスタリング機関の有無」別の「里親専任職員一人あたり里親世帯数 (平 均)」	32
図表 31 「家族再統合支援における現状の課題」についての因子分析結果 (因子負荷量)	33
図表 32 「フォスタリング機関の有無」別の「家族再統合支援における現状の課題」に ついての各因子の得点 (平均)	34
図表 33 ヒアリング調査の対象	35
図表 34 家族再統合支援における現状の課題	36

第1章 調査の考え方

1.1 本調査研究の背景・目的

1.1.1 本調査研究の目的

平成 28 年に改正された児童福祉法では、児童が家庭において心身ともに健やかに養育されるよう、保護者を支援することを原則とした上で、実家庭での養育が困難または適当でない場合に、里親等「家庭における養育環境と同様の養育環境」での養育を進める家庭養育優先の理念が規定された。そのため、国においては、設置した検討会での議論を踏まえ、「概ね 7 年以内（3 歳未満は概ね 5 年以内）に乳幼児の里親等委託率 75%以上」「概ね 10 年以内に学童期以降の里親委託率 50%以上」の実現に向け、取組を進めている。また、都道府県（政令指定都市及び児童相談所設置市を含む）においては、都道府県社会的養育推進計画の策定要領に基づき、「家庭養育優先原則」を踏まえた計画を策定し、里親委託の推進を行っている。

家庭養育優先原則のもと里親委託を推進していくと、例えば、被虐待を背景として実家庭から分離した場合等で、親子関係調整を行い、家族再統合の取組を進める事例が増えるものと思われる。しかしながら、現状では、実家庭から分離した事例において親子関係調整や家族再統合を進める際には、様々な問題が生じうると考えられる。

本調査研究では、里親養育における親子関係調整や家族再統合支援について、取組の現状を把握し、課題の分析や参考となる取組を紹介することにより、実家庭との親子関係調整や家族再統合支援を円滑に実施する上で、必要となる取組内容について検討する。

1.1.2 里親養育の実態について（本調査研究の背景）

「里親委託ケースにおける親子関係調整や家族再統合支援」については、施設入所ケースと比べて先行研究も少なく、実態はほとんど明らかになっていない。

里親委託ケースに関する状況をみると、里親等委託率（施設入所もしくは里親・ファミリーホーム委託となった児童における里親・ファミリーホーム委託児童の割合）は、現状では全国で 2 割弱（平成 30 年 3 月末時点で 19.7%¹）であり、その中で親子関係調整や家族再統合支援に向けた取組を進めているケースはさらに少ないと考えられるため、現時点で家族再統合に関する明確な効果を把握することは困難である。また、保護者がいない、あるいは、長期にわたって連絡がない等、そもそも家族再統合を望めないケースが里親委託措置となっていることから、結果として家族再統合が進まない可能性もあると考えられる。

また、里親委託ケースにおける家族再統合支援については、児童相談所・フォスタリン

¹資料集「社会的養育の推進に向けて（平成 31 年 4 月）」

グ機関・里親会・施設等の関係機関や里親が連携して支援を行うことが必要であるが、里親養育における親子関係調整や家族再統合支援を円滑に進めるためのポイントが明確になっていないことにより、連携が難しくなっている、等の課題があると考えられる。

このような状況を踏まえた上で、「里親養育における家族再統合支援」について、実態を把握しつつ、関連する要因や必要な取組について検討していく必要がある。

1.1.3 本調査における「家族再統合」について

本調査では、「平成 27 年度先駆的ケア策定・検証調査事業「社会的養護関係施設における親子関係再構築支援の取組に関する調査報告書」に基づいて「里親養育における家族再統合支援の目標」を以下の A～C と設定した。

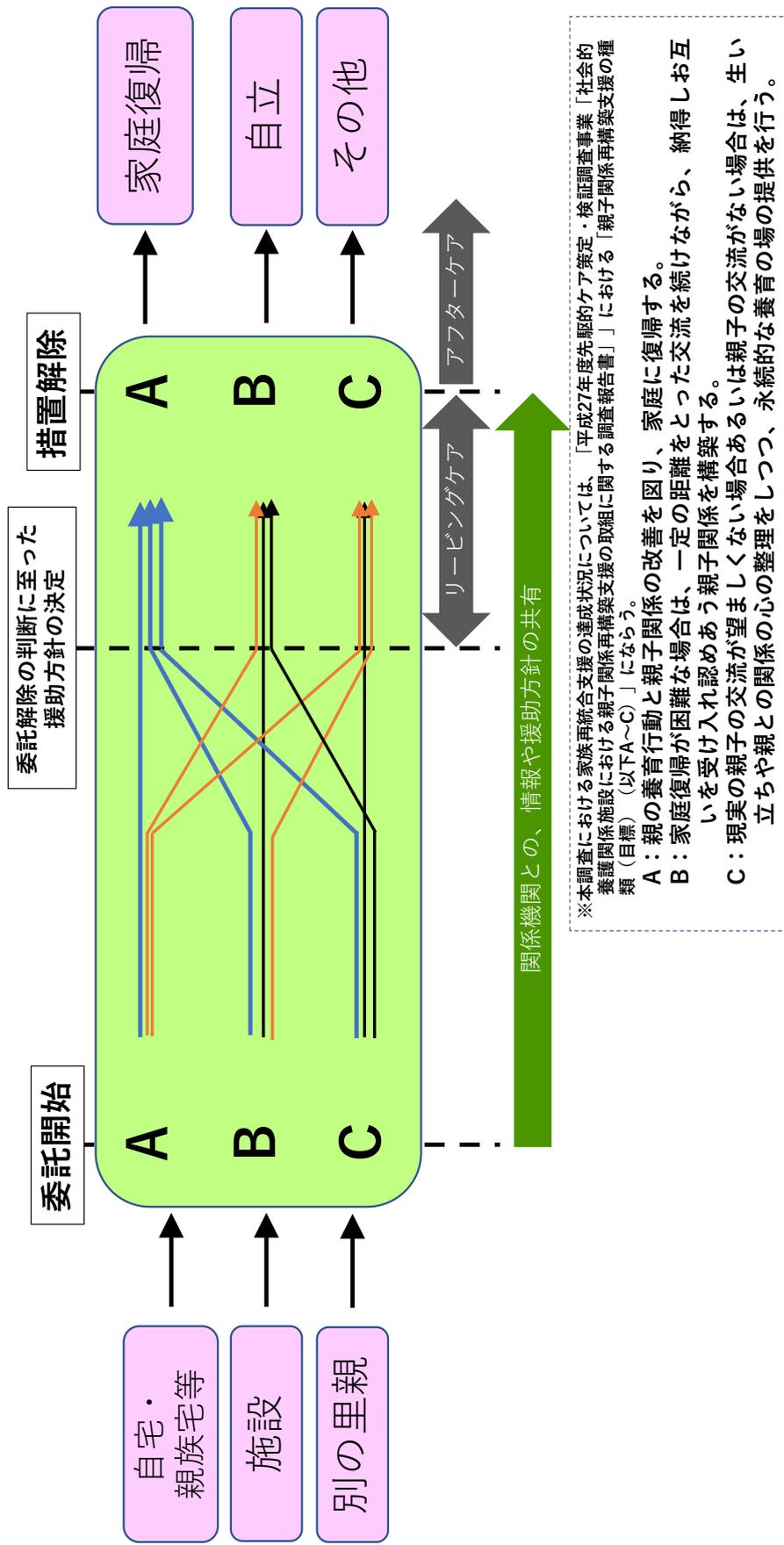
図表 1 里親養育における家族再統合支援の目標

A	親の養育行動と親子関係の改善を図り、家庭に復帰する。
B	家庭復帰が困難な場合は、一定の距離をとった交流を続けながら、納得しお互いを受け入れ認めあう親子関係を構築する。
C	現実の親子の交流が望ましくない場合あるいは親子の交流がない場合は、生い立ちや親との関係の心の整理をしつつ、永続的な養育の場の提供を行う。

(次ページに「里親養育における家族再統合支援」のモデルを示す)

その上で、里親委託されたケースのうち「委託解除の判断に至った援助方針の決定時点での家族再統合支援の目標」が「A（親の養育行動と親子関係の改善を図り、家庭に復帰する。）」であったケースを「家族再統合が達成されたケース」とみなし、家族再統合の達成状況に関連する子どもや実親、里親側の要因や支援する機関側の要因について探ることとした。

里親養育における家族再統合支援



図表 2 「里親養育における家族再統合支援」のモデル

1.2 本調査研究の流れ

1.2.1 検討委員会の開催

本調査研究を進めるに当たっては、有識者や関係機関等から構成される検討委員会を開催し、調査の方法や内容、調査結果の分析等について検討・助言をいただきながら進めることとする。

1.2.2 取組状況の調査

(1) アンケート調査

全国の児童相談所（215 か所）を対象として、里親養育における家族再統合の達成状況やその要因、家族再統合支援の取組状況や課題等について、各児童相談所の管轄地域全体の状況ならびに個々の里親委託ケースの状況に関するアンケート調査を行う。

(2) ヒアリング調査

児童相談所、里親支援機関、里親会、施設等を対象として、それぞれの機関における家族再統合支援の取組状況や課題等について、ヒアリング調査を行う。

1.2.3 報告書の作成

調査結果を踏まえ、里親養育における親子関係調整や家族再統合支援に関する取組の実態や課題、および参考となる好事例等について、解説を加え、報告書にとりまとめる。

第2章 アンケート調査

2.1 調査対象

2.1.1 児童相談所票

全国の児童相談所（215箇所）を対象として、自治体及び児童相談所における里親養育や家族再統合支援等に関する状況について調査を行った。

2.1.2 ケース票

各児童相談所において、相談を受け付けた後、養育里親あるいは専門里親への委託となったケース（措置変更により里親委託となったケースを含む）のうち、以下の1～2のいずれかに該当するケースを対象として、個々のケース単位における家族再統合の達成状況および家族再統合支援の取組に関する調査を行った。

図表3 ケース票の対象となる里親委託ケース

1	2018年度下半期（2018年10月～2019年3月）に里親委託措置解除（措置変更を除く）となったケース
2	2018年度末（2019年3月31日）時点で里親委託が継続しているケース

ケース票では、各ケースについて、「2019年3月31日時点での措置解除／継続の状況」「里親委託開始時点での家族再統合支援の目標」「委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（「措置継続」の場合は2019年3月31日時点）での家族再統合支援の目標」等のケース全体の概要や、子ども・実親・里親それぞれの状況、および家族再統合支援の実施状況、等について調査を行った。

なお、「里親委託開始時点での家族再統合支援の目標」「委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（「措置継続」の場合は2019年3月31日時点）での家族再統合支援の目標」については、それぞれの時点における目標として、以下のA～Cのうち当てはまるものを選ぶ形とした。

図表4 里親養育における家族再統合支援の目標（再掲）

A	親の養育行動と親子関係の改善を図り、家庭に復帰する。
B	家庭復帰が困難な場合は、一定の距離をとった交流を続けながら、納得しお互いを受け入れ認めあう親子関係を構築する。
C	現実の親子の交流が望ましくない場合あるいは親子の交流がない場合は、生い立ちや親との関係の心の整理をしつつ、永続的な養育の場の提供を行う。

2.1.3 事例票

各児童相談所において、「ケース票」の対象ケースのうち、以下の①～③に該当する代表的なケース（①～③それぞれで1ケースずつ）を対象として、「家族再統合が達成されたケース」の詳細な状況に関する調査を行った。

図表5 事例票の対象となる里親委託ケース

	里親委託開始時点での 家族再統合支援の目標	委託解除の判断に至った援助方針の決定時点 （「措置継続」の場合は2019年3月31日時点） での家族再統合支援の目標
①	A	A
②	B	A
③	C	A

2.2 調査方法

電子ファイル上で回答し、Web ページ上にアップロード、あるいはメールにて提出する形とした。

2.3 調査期間

2019年12月9日～2020年2月10日

2.4 調査項目（詳細は第6章を参照）

2.4.1 児童相談所票

- 管轄地域の概要について（2019年3月31日時点あるいは一番近い時点）
- 里親専任の児童福祉司の配置の有無と人数
- 施設入所措置児童数・里親等委託児童数について（2019年3月31日時点）
- 貴児童相談所にて相談を受け付けた後、養育里親あるいは専門里親への委託となった児童（措置変更により里親委託となったケースを含む）のうち、2018年度下半期（2018年10月～2019年3月）に里親委託措置解除（措置変更を除く）となった児童数について
- 管内の、里親や関係機関の数について（2019年3月31日時点）
- 貴児童相談所にて相談受付を行った里親委託ケース（措置変更により里親委託となったケースを含む）における家族再統合支援に対する、各機関の関わりについて（2018年度の一年間）

- 里親養育における家族再統合を進めていく上で支障となっている課題について

2.4.2 ケース票

- 本ケース全体の概要について
- 子どもについて
- 実親について
- 里親について
- 本ケースにおける、里親委託開始時点～委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（※「措置継続」の場合は里親委託開始時点～2019年3月31日時点）の間の、実親との面会等の交流について
- 本ケースに対する、里親委託開始時点～委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（※「措置継続」の場合は里親委託開始時点～2019年3月31日時点）の間の、各機関による家族再統合支援について
- 本ケースにおける自立支援計画の作成についての、里親の意向について

2.4.3 事例票

- ケース全体について
- 措置解除時点における、子どもの状況について
- 措置解除時点における、実親の状況について
- 措置解除時点における、里親の状況について
- 本ケースに対し、各機関において実施していた家族再統合支援の内容について
- 各機関における、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を対象とする支援プログラムの実施について
- 本ケースに対する家族再統合支援において工夫した点や、効果があった理由について（自由記述）

2.5 回収状況

回収状況は以下の通りであった。

- 児童相談所票：123票（回収率 57.2%）
- ケース票：2,313票
- 事例票A：40票
- 事例票B：9票
- 事例票C：1票

2.6 調査結果

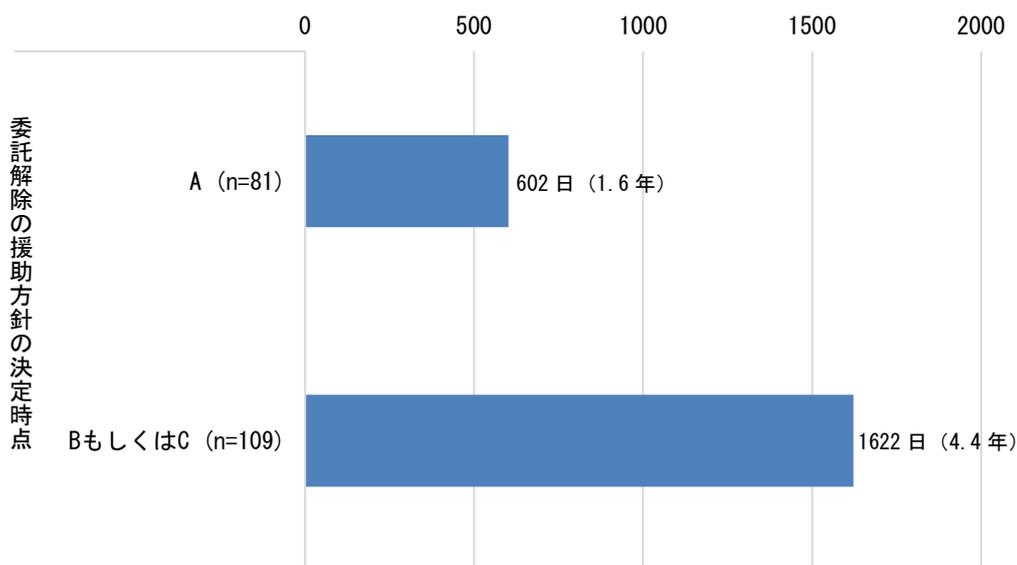
2.6.1 措置解除ケースにおける「家族再統合の達成状況」に関連する要因について

里親委託措置が解除となったケースにおける「家族再統合の達成状況」に関連する要因について検討するため、「ケース票」における「措置解除」ケース（問 1-2 で「1. 措置解除」と回答）のうち、「委託解除の判断に至った援助方針の決定時点での家族再統合支援の目標（以後、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」とする）」が「A」のケース（問 1-8 で「A」と回答）と、「B もしくは C」のケース（問 1-8 で「B」「C」と回答）の間で、関連する様々な要因についての比較を行った。

「委託解除の援助方針の決定時点での目標」は、委託終了間際における目標であることから、「家族再統合の達成状況」に関連するアウトカム（結果、成果という意）の一つとして設定した。

分析においては、問 3-3-1～3-3-5 のいずれかに「○」が付いたケース（＝実親が措置解除まで「親権停止」「失踪」「死亡」となっていた等、家族再統合が確実に望めなかったと考えられるケース）は、分析対象から外すこととした。

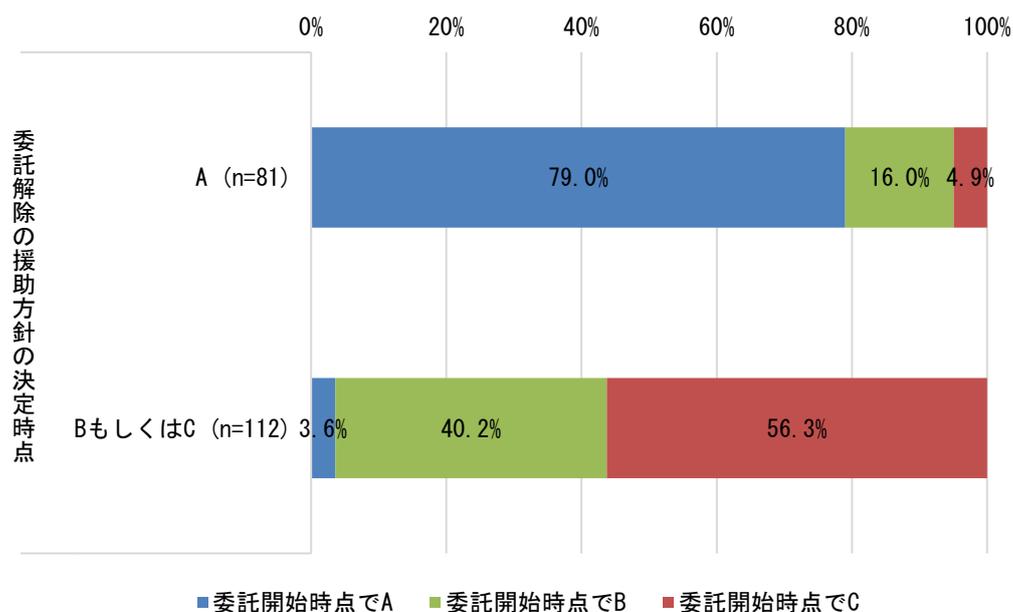
まず、アウトカムとして設定した「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「里親委託期間の平均日数³」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「B もしくは C」のケースに比べて、平均日数が短くなっていた。



図表 7 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「里親委託期間の平均日数」

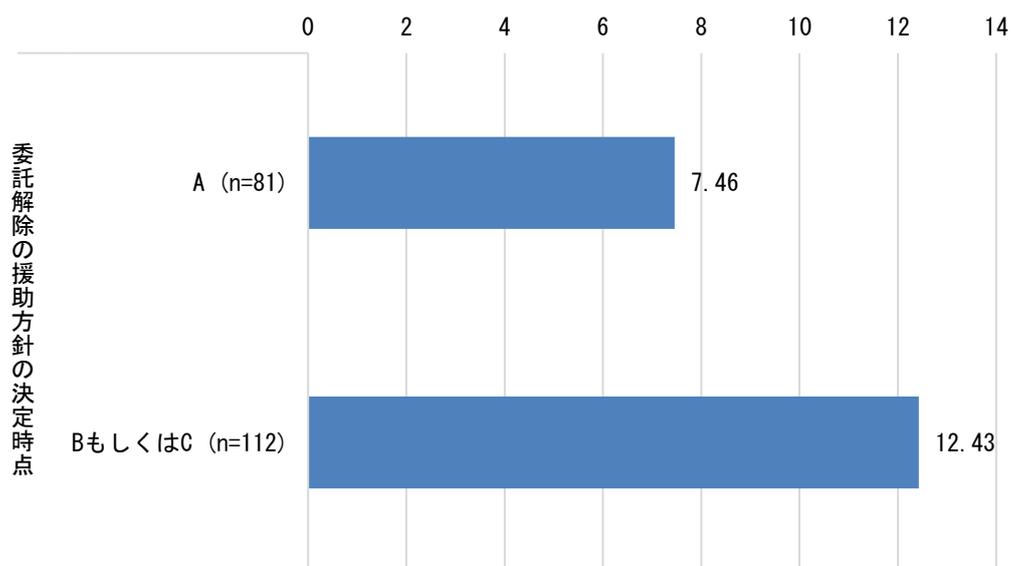
³ 「ケース票」の問 1-1（委託開始日）と問 1-4（措置解除日）から算出した。

次に、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「委託開始時点での目標（「ケース票」問 1-7）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「B もしくは C」のケースに比べて、「委託開始時点で A」の割合が大きく、「委託開始時点で B もしくは C」の割合が小さくなっていたことから、委託開始時点での目標と、家族再統合の達成状況との間に関連がみられることが示唆された。



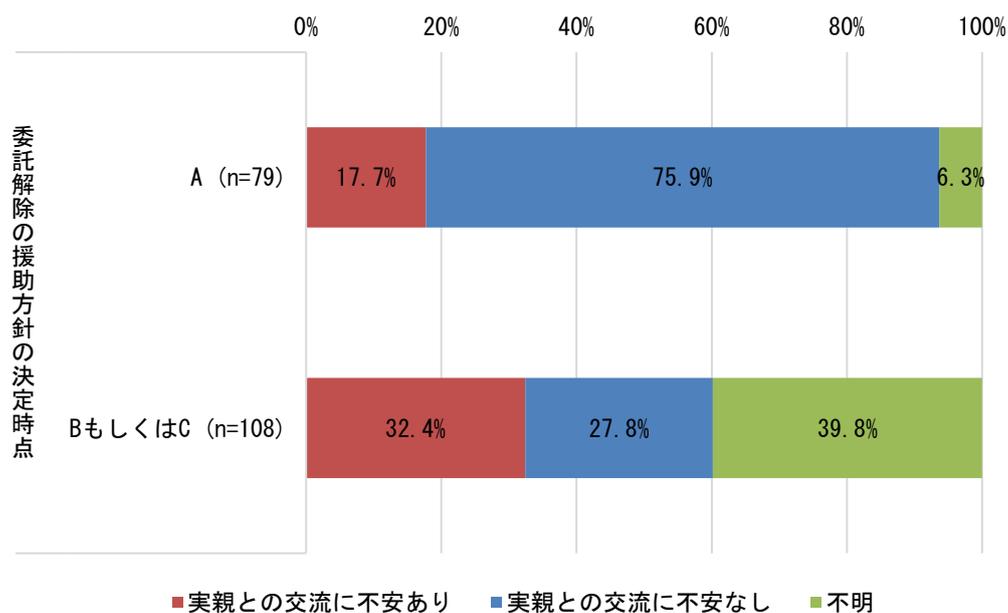
図表 8 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での目標」

続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「委託解除の援助方針の決定時点での子どもの平均年齢（「ケース票」問 2-2）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「B もしくは C」のケースに比べて、平均年齢が低くなっていた。



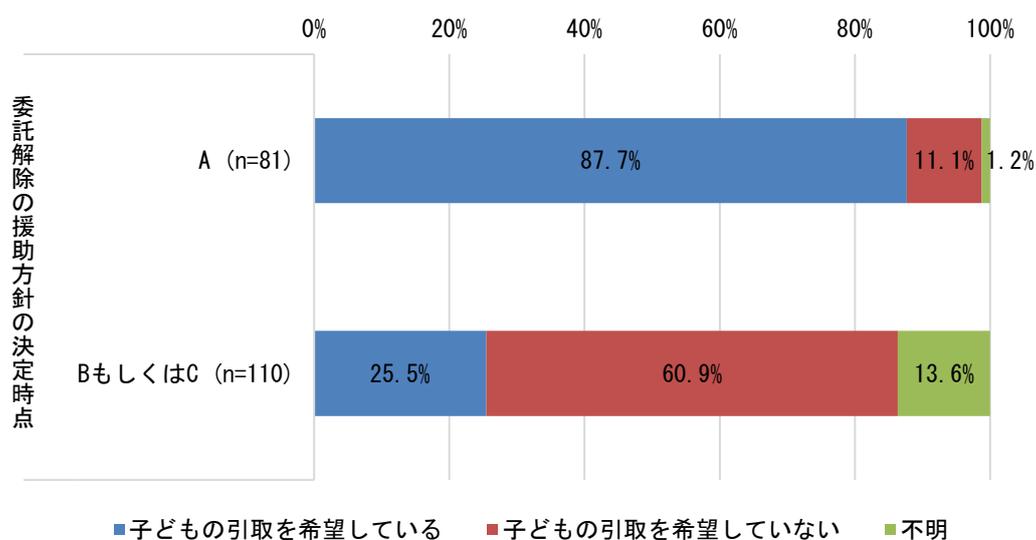
図表 9 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「子どもの平均年齢 (歳)」

続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「委託開始時点での子どもの実親との交流への不安の有無（「ケース票」問 2-3-3）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「B もしくは C」のケースに比べて、「実親との交流に不安なし」の割合が大きく、「不安あり」の割合が小さくなっていたことから、子どもが実親との交流に不安を抱いているかどうかと、家族再統合の達成状況との間に関連がみられることが示唆された。



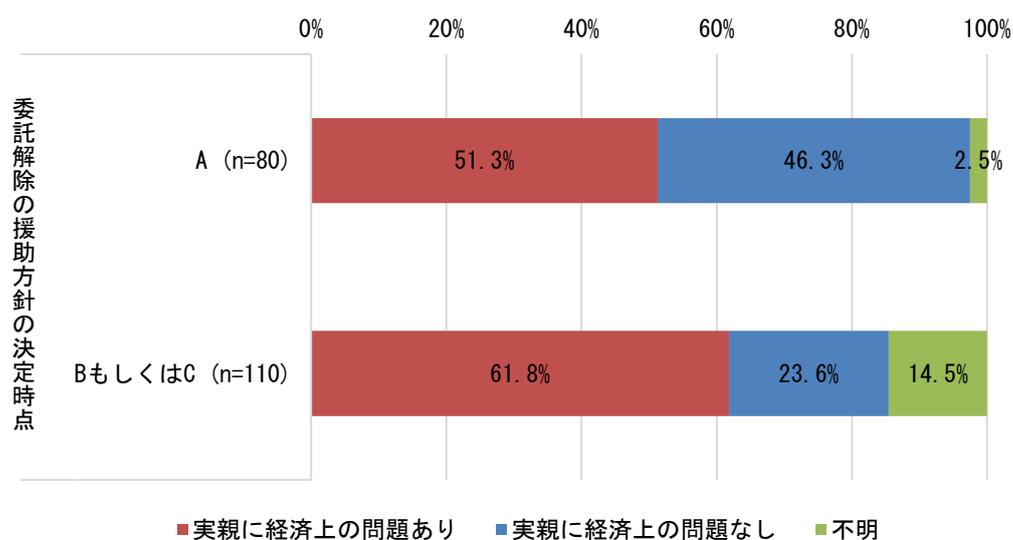
図表 10 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での子どもの実親との交流への不安の有無」

続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「委託開始時点での実親の子ども引取希望の有無（「ケース票」問 3-1-2）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「BもしくはC」のケースに比べて、「子どもの引取を希望している」の割合が大きく、「希望していない」の割合が小さくなっていったことから、実親が子どもの引取を希望しているかどうかと、家族再統合の達成状況との間に関連がみられることが示唆された。



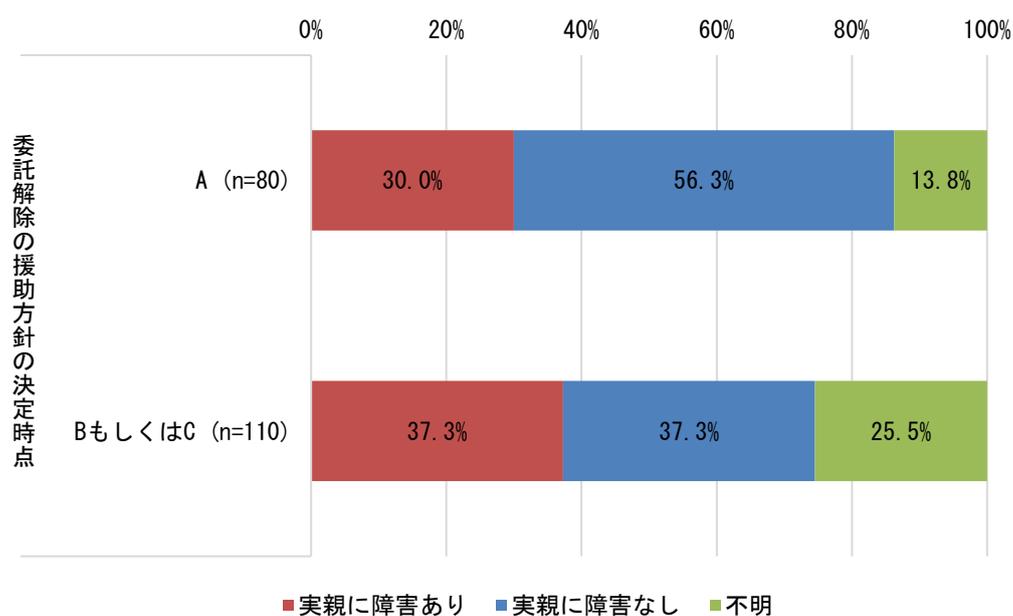
図表 11 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での実親の子ども引取希望の有無」

続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「委託開始時点での実親の経済上の問題の有無（「ケース票」問 3-1-3）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「B もしくは C」のケースに比べて、「実親に経済上の問題なし」の割合が大きく、「問題あり」の割合が小さくなっていたことから、実親に経済上の問題があるかどうかと、家族再統合の達成状況との間に関連がみられることが示唆された。



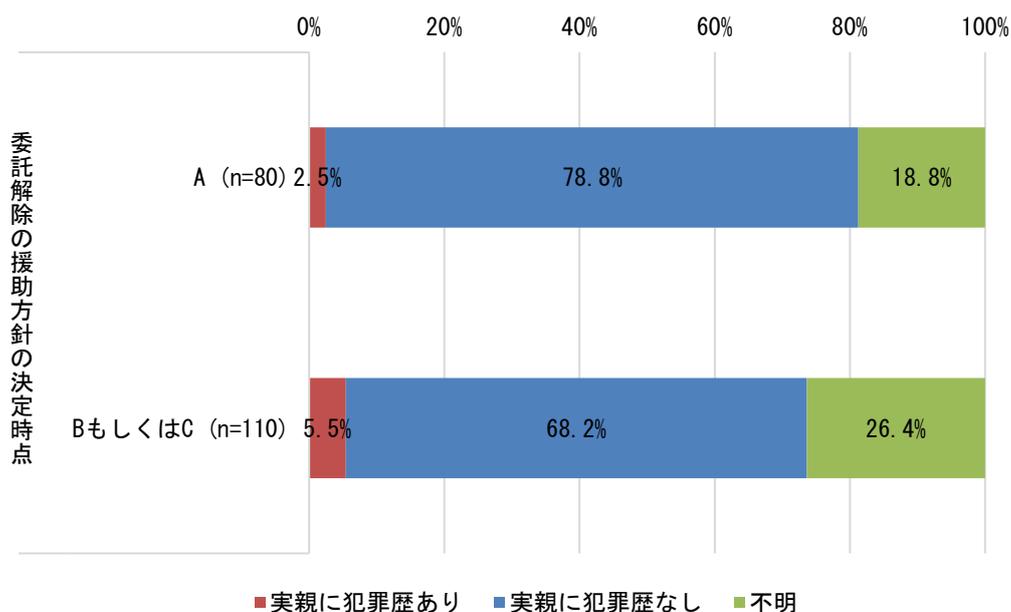
図表 12 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での実親の経済上の問題の有無」

続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「委託開始時点での実親の障害の診断または疑いの有無（「ケース票」問 3-1-4）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「BもしくはC」のケースに比べて、「実親に障害の診断もしくは疑いなし」の割合が大きく、「障害の診断もしくは疑いあり」の割合が小さくなっていたことから、実親に障害の診断・疑いがあるかどうかと、家族再統合の達成状況との間に関連がみられることが示唆された。



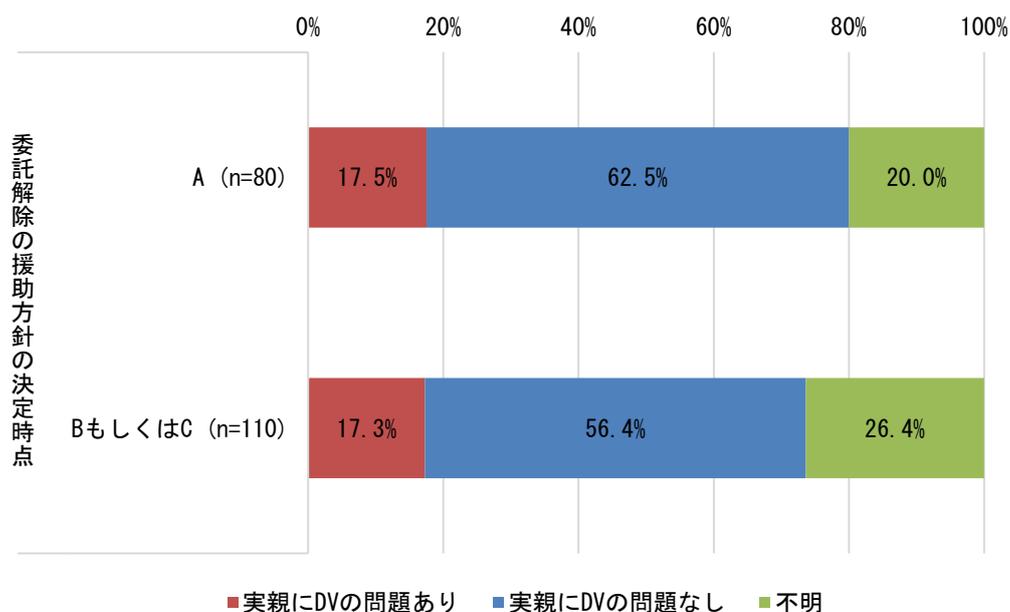
図表 13 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での実親の障害の診断もしくは疑いの有無」

続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「委託開始時点での実親の過去の有罪判決の有無（「ケース票」問 3-1-5）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「B もしくは C」のケースに比べて、「実親に犯罪歴なし」の割合が大きくなっていたが、他の設問と比較するとその差は小さく、家族再統合の達成との関連はみられないことが示唆された。



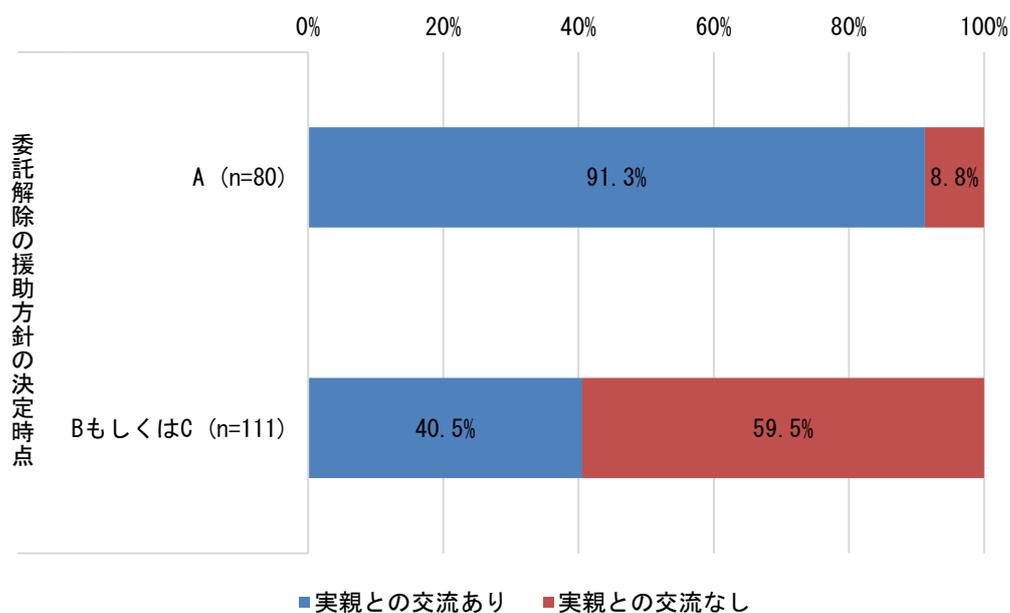
図表 14 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での実親の過去の有罪判決の有無」

続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「委託開始時点での実親のDVの問題の有無（「ケース票」問 3-1-6）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「BもしくはC」のケースに比べて、「実親にDVの問題なし」の割合が大きくなっていたが、他の設問と比較するとその差は小さく、家族再統合の達成との関連はみられないことが示唆された。



図表 15 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「委託開始時点での実親のDVの問題の有無」

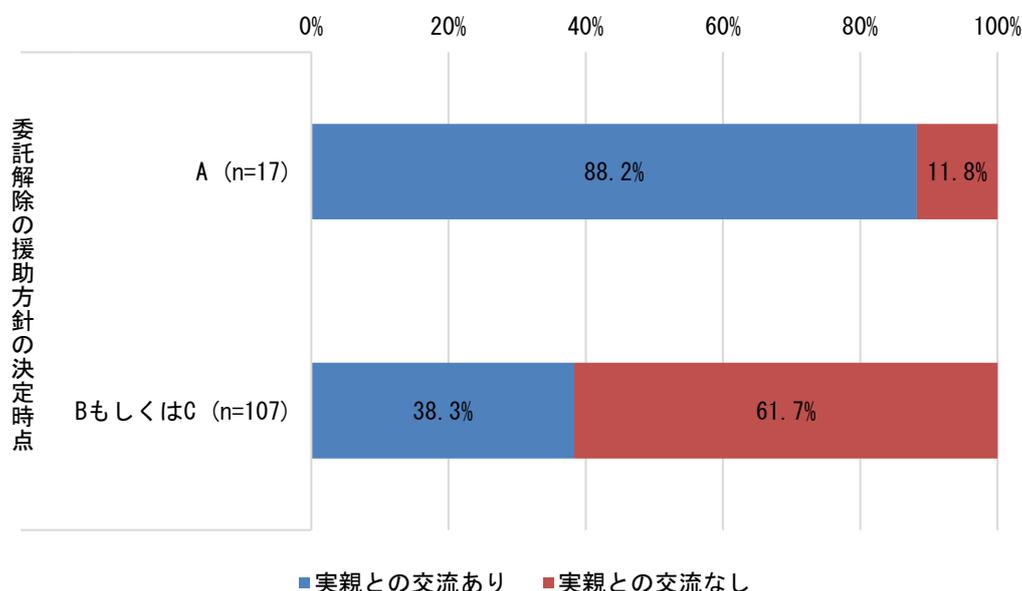
続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「実親との面会・外出・外泊の交流の有無（「ケース票」問 5-1）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「BもしくはC」のケースに比べて、「実親との交流あり」の割合が大きく、「交流なし」の割合が小さくなっていたことから、実親と子どもとの交流が行われているかどうかと、家族再統合の達成状況との間に関連がみられることが示唆された。



図表 16 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「実親との面会・外出・外泊の交流の有無」

なお、「委託開始時点での目標がBもしくはC」であったケースに限っても、やはり「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「BもしくはC」のケースに比べて「実親との交流あり」の割合が大きくなっていました。

委託開始時点での目標が「A（家庭復帰）」であったケースにおいては、もともと面会交流において支障の少ない事例が多いことから、「実親との交流あり」の割合が大きくなるのは当然と考えられる。しかし、委託開始時点での目標が「BもしくはC（家庭復帰が困難）」であったケースにおいても、委託解除の援助方針の決定時点で「A（家庭復帰）」となる場合には、面会交流が重要な要素となっていたことから、いずれのケースにおいても、面会交流に向けた支援を行っていくことが効果的であると考えられる。

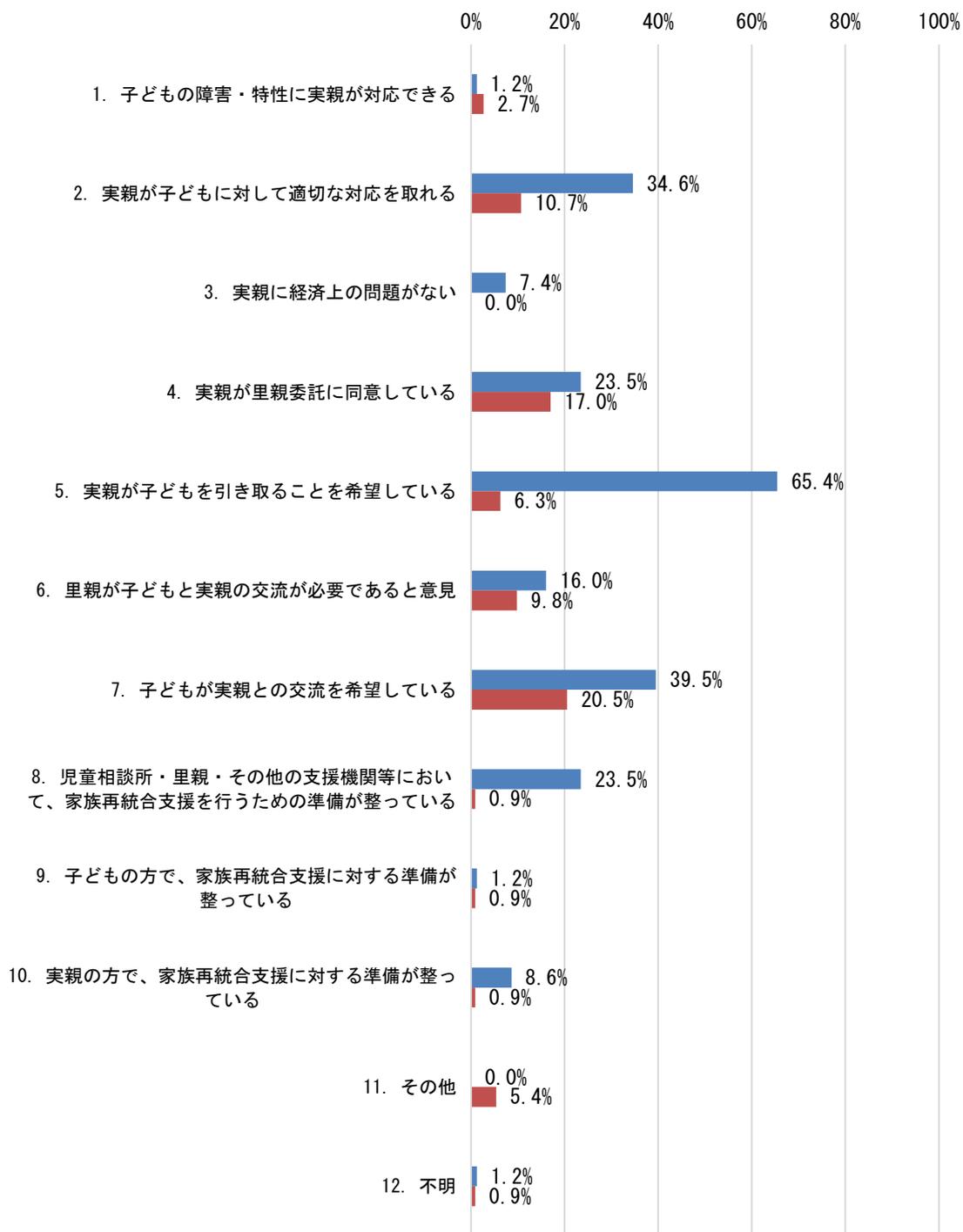


図表 17 「委託開始時点での目標がBもしくはCのケース」のみにおける「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「実親との交流の有無」

続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「実親との交流ありの理由（「ケース票」問 5-4⁴）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「B もしくは C」のケースに比べて、「実親が子どもを引き取ることを希望している」「子どもが実親との交流を希望している」「実親が子どもに対して適切な対応を取れる」「児童相談所・里親・その他の支援機関等において、家族再統合支援を行うための準備が整っている」「実親が里親委託に同意している」「里親が子どもと実親の交流が必要であると意見」「実親の方で、家族再統合支援に対する準備が整っている」「実親に経済上の問題がない」を選ぶ割合が大きくなっていた。

以上の結果から、ここまでの結果とも整合するように、実親が子どもを引き取る上で支障が生じにくい状況にある、実親が里親委託に同意している、実親と子どもが互いに交流を希望している、里親も交流が必要であるという意見を表明している、等の条件が整っているかどうかと、家族再統合の達成状況との間に関連がみられることが示唆された。

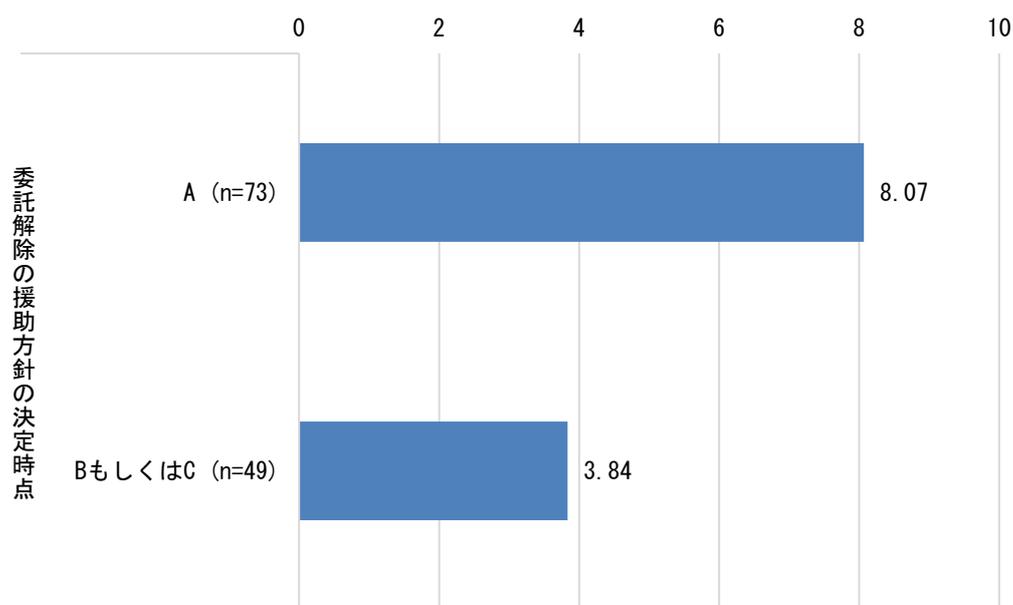
⁴ 「ケース票」問 5-4 における上位 3 つの回答を統合させて、選択肢別の複数回答の変数として用いた。



■援助方針の決定時点での目標 A (n=81) ■援助方針の決定時点での目標 BもしくはC (n=112)

図表 18 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「実親との交流ありの理由」

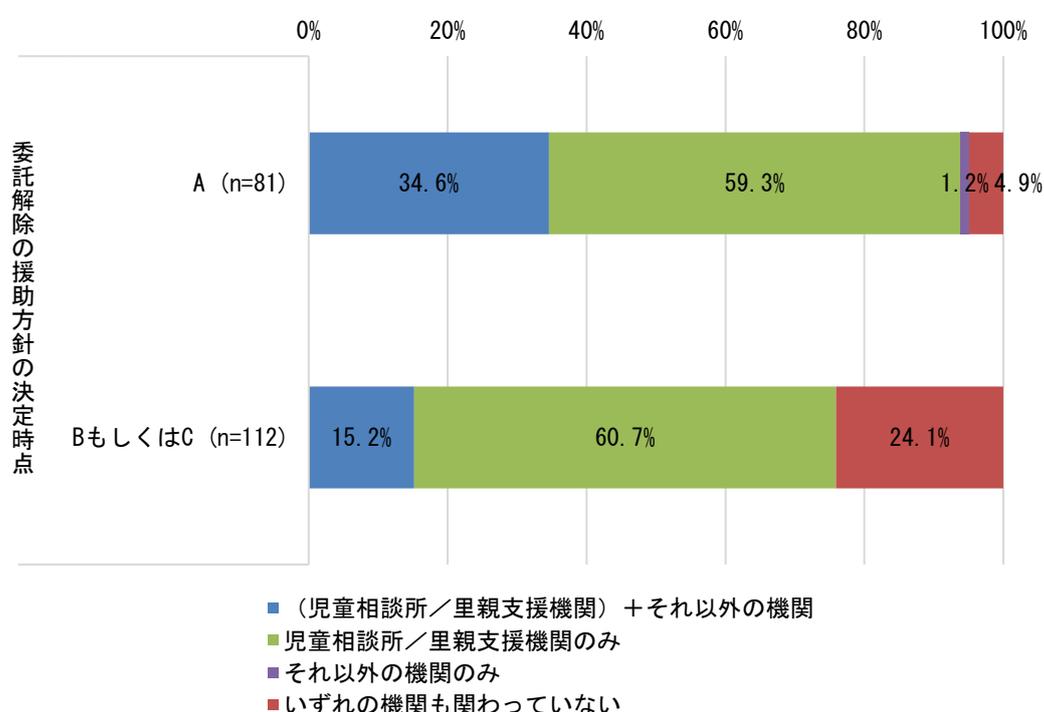
続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「直近一年間における実親との面会・外出・外泊の平均回数（「ケース票」問 5-3）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「BもしくはC」のケースに比べて、面会・外出・外泊の平均回数が多くなっていた。



図表 19 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「直近一年間における実親との交流の平均回数 (回)」

続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「家族再統合支援に関わった機関⁵」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「B もしくは C」のケースに比べて、「児童相談所」もしくは「里親支援機関」と「それ以外の機関」とが共に支援に関わっている割合が大きく、「いずれの機関も関わっていない」の割合が小さくなっていった。

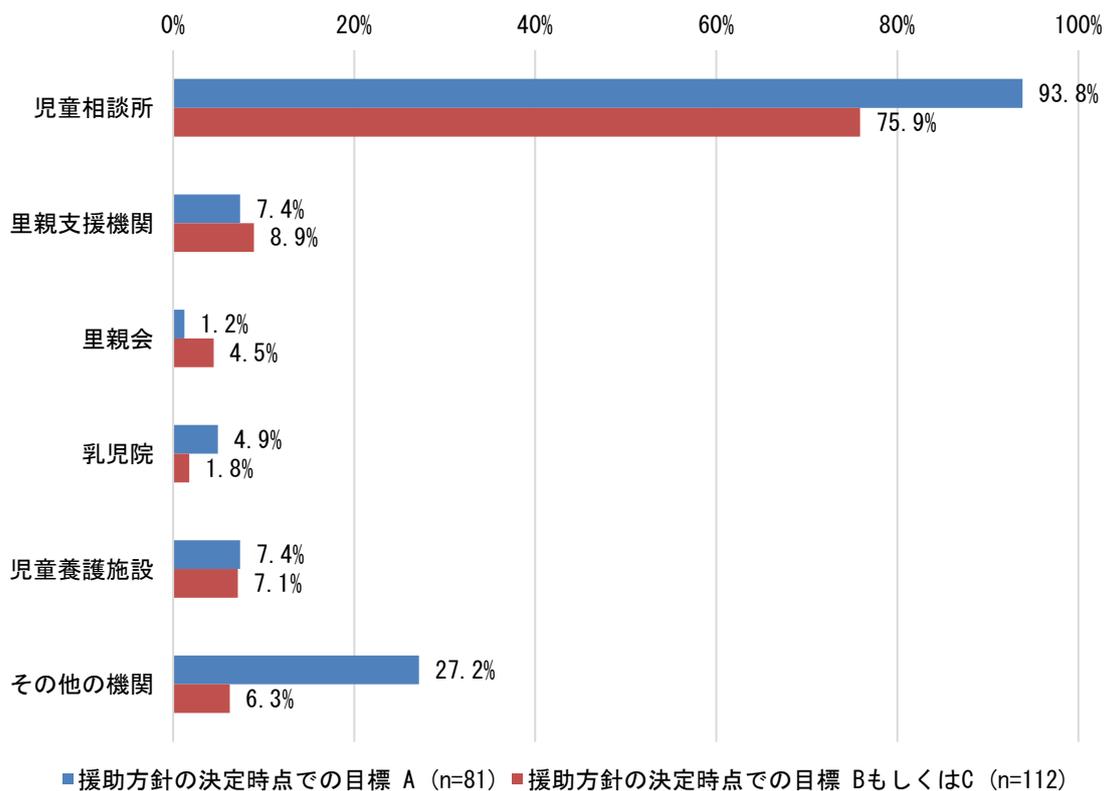
家族再統合支援における関係機関の関わりについては、児童相談所や里親支援機関と、それ以外の機関とが共に支援に関わっているかどうかと、家族再統合の達成状況との間に関連がみられることが示唆された。



図表 20 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「家族再統合支援に関わった機関」

⁵ 「ケース票」問 6-1 の回答をもとに、「児童相談所」もしくは「里親支援機関」と「それ以外の機関」とに共に○が付いているケースを「①（児童相談所／里親支援機関）＋それ以外の機関」、「児童相談所」もしくは「里親支援機関」のみに○が付いているケースを「②児童相談所／里親支援機関のみ」、「それ以外の機関」のみに○が付いているケースを「③それ以外の機関のみ」にカテゴリ化し、①～③のいずれにも該当しないケースを「④いずれの機関も関わっていない」とした。

また、個々の機関別にみると、「その他の機関」が支援に関わっている割合は、「援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「BもしくはC」のケースの4倍程度になっていた。「その他の機関」の自由記述の内容をみると、5割以上が「市区町村および市区町村の施設」であったため、「家族再統合の達成」において市区町村の果たす役割が大きいことが示唆された。



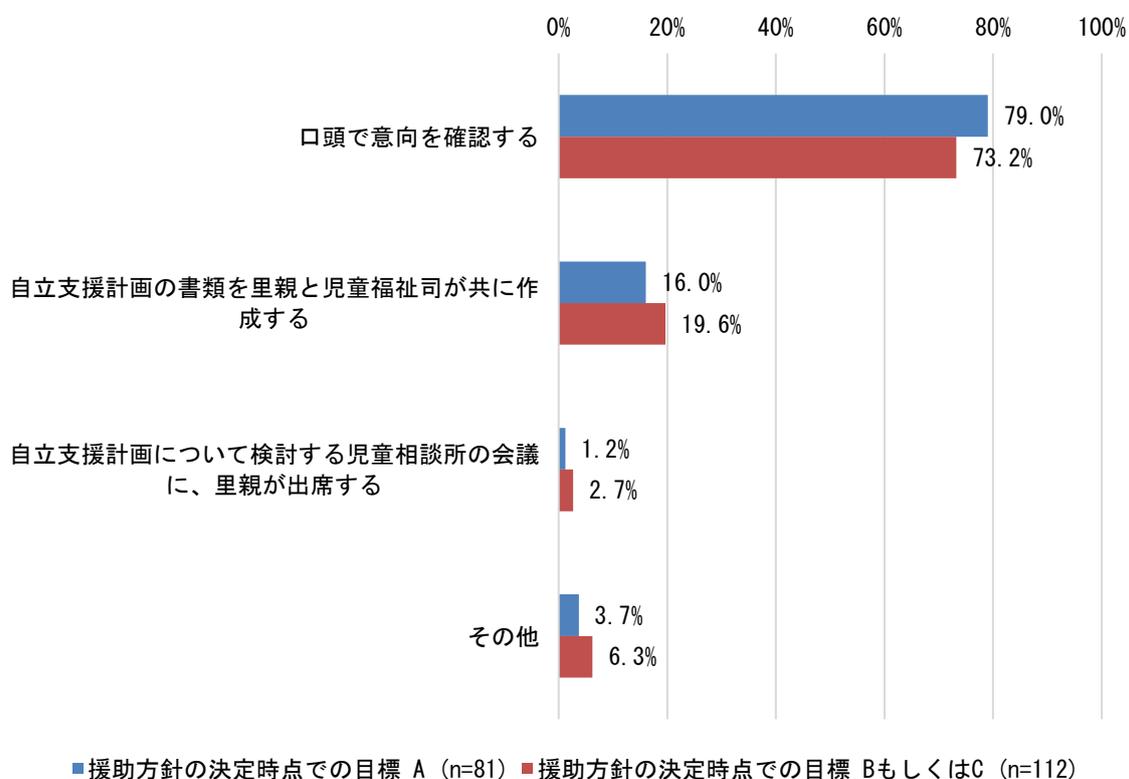
図表 21 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「家族再統合支援に関わった機関」（個々の機関別）

図表 22 「その他の機関」のカテゴリ別集計（ケース票全体）

	市区町村および 市区町村の施設	他自治体の児童 相談所	学校・保育所等
該当する記述数（「その他の機関」全体での割合）	94 (53.7%)	2 (1.1%)	34 (19.4%)

続いて、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」と「自立支援計画に対する里親の意向を確認する方法（「ケース票」問 7-2）」との関係についてみると、「委託解除の援助方針の決定時点での目標」が「A」のケースでは、「BもしくはC」のケースに比べて、「口頭で意向を確認する」の割合は大きくなっていったものの、「自立支援計画の書類を里親と児童福祉司が共に作成する」「自立支援計画について検討する児童相談所の会議に里親が出席する」の割合は小さくなっていった。

自立支援計画に対する里親の意向確認については、単なる口頭での確認だけでなく計画作成やそのための会議に関わっていることと、家族再統合の達成状況との関連はみられないことが示唆された。



図表 23 「委託解除の援助方針の決定時点での目標」別の「自立支援計画作成に対する里親の意向を確認する方法」

2.6.2 家族再統合支援の項目別の実施状況について

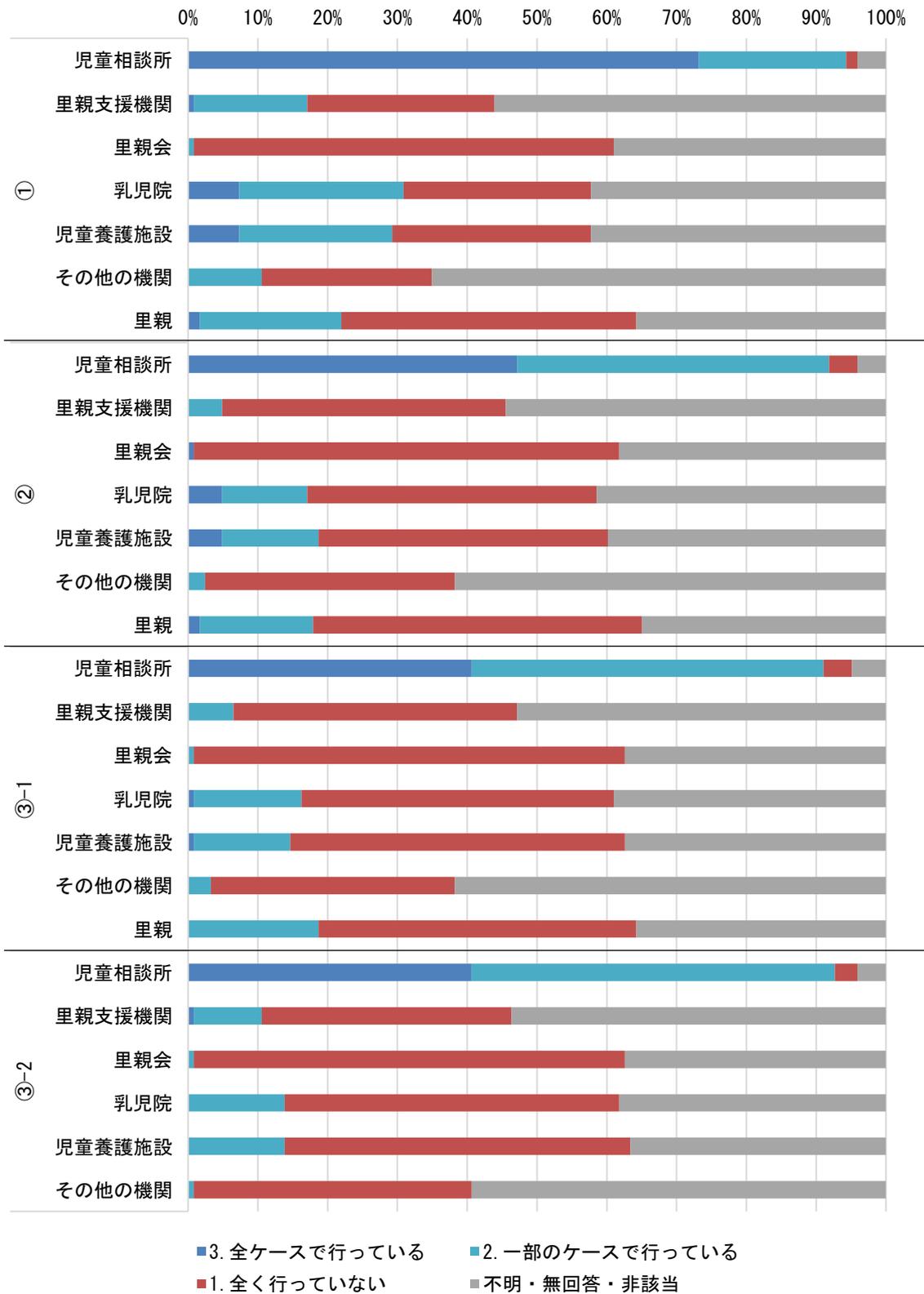
「児童相談所票」の問6-3の回答から、各児童相談所単位での「家族再統合支援の項目別の各機関の関わり」を並べて比較した。

「児童相談所」の関わりについてみると、次ページの図表のほとんどの支援項目（①～⑩）において、「児童相談所」が「全ケース／一部のケース」で支援を行っている割合が8割以上となっていた。「④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援」については「児童相談所」が関わっている割合が7割未満となっていたものの、全体的には、児童相談所を中心に支援が進められている、という傾向が示唆された。

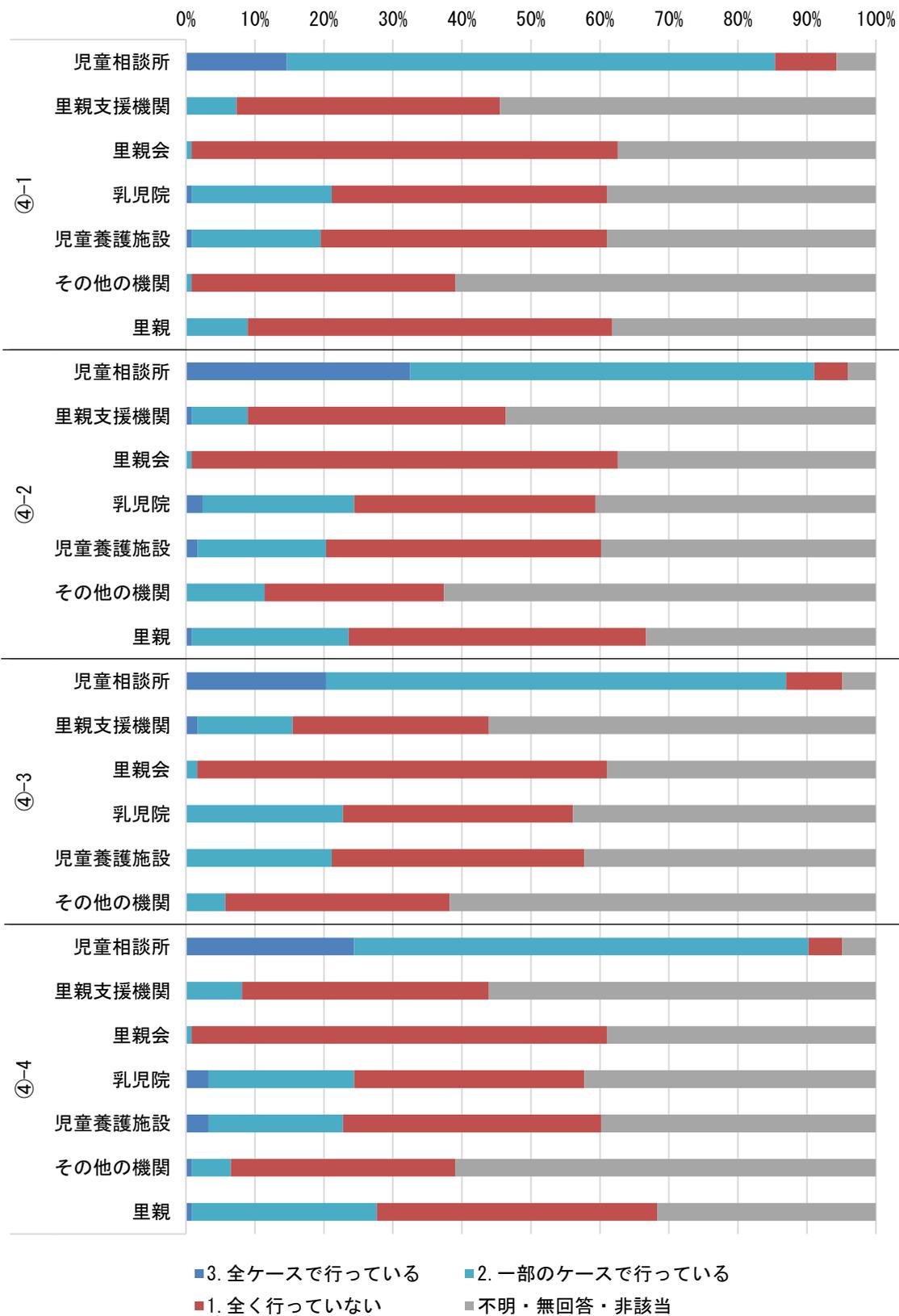
それ以外の機関の関わりについてみると、ほとんどの支援項目では、いずれの機関についても、関わっている割合が3割未満となっていたが、「① 家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント」では「乳児院」、「④-6 実親・子どもでの外出による交流」「⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊」では「里親」が関わっている割合が3割以上となっており、支援の内容に応じた役割分担の可能性が示唆された。

図表 24 家族再統合支援の項目

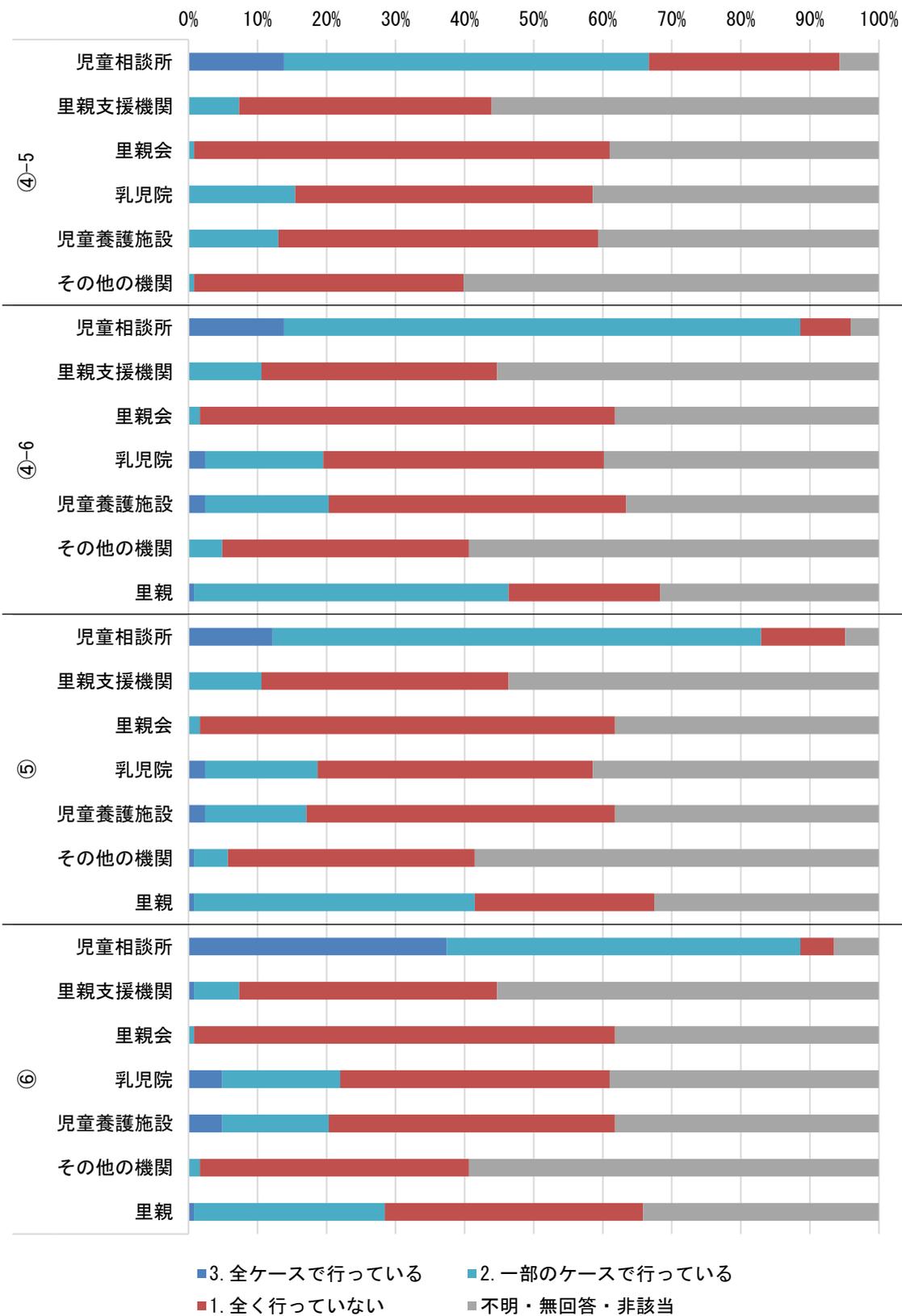
①	家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント
②	自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する
③-1	実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする
③-2	里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をする
④-1	子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援（例：プレイセラピー、心理面接、SST、等）
④-2	実親に対する家族再統合支援についての直接的支援（例：親子関係改善を意識した関わり、養育指導、親グループ等を家庭訪問、面接、電話等で実施）
④-3	里親に対する家族再統合支援についての直接的支援（例：親子面会の際の子どもの送迎、親子面会に里親が同席する際の関係機関による同席、親子の外出による交流を里親が支援する際の関係機関による支援）
④-4	実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援（例：親子面接、親子活動等を家庭訪問、面接、電話等で実施）
④-5	里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援
④-6	実親・子どもでの外出による交流
⑤	実親・子どもでの帰宅外泊
⑥	自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する実施計画の評価・見直し
⑨-1	子ども・実親への家庭復帰後の支援の準備 （例：※子どもへの支援：相談できる人、場所の確保、心理療法等の継続。 ※親等への支援：退所後の相談関係の確立、ペアレント・トレーニング、書面により復帰後に守るべき事項の確認。 ※親子等への支援：親子の気持ちの橋渡し、遊べる場、時間の確保、地域の支援機関と連携。）
⑨-2	里親への家庭復帰後の支援の準備（例：措置解除に向けた里親の気持ちの整理、など）
⑩	要保護児童対策協議会との情報共有



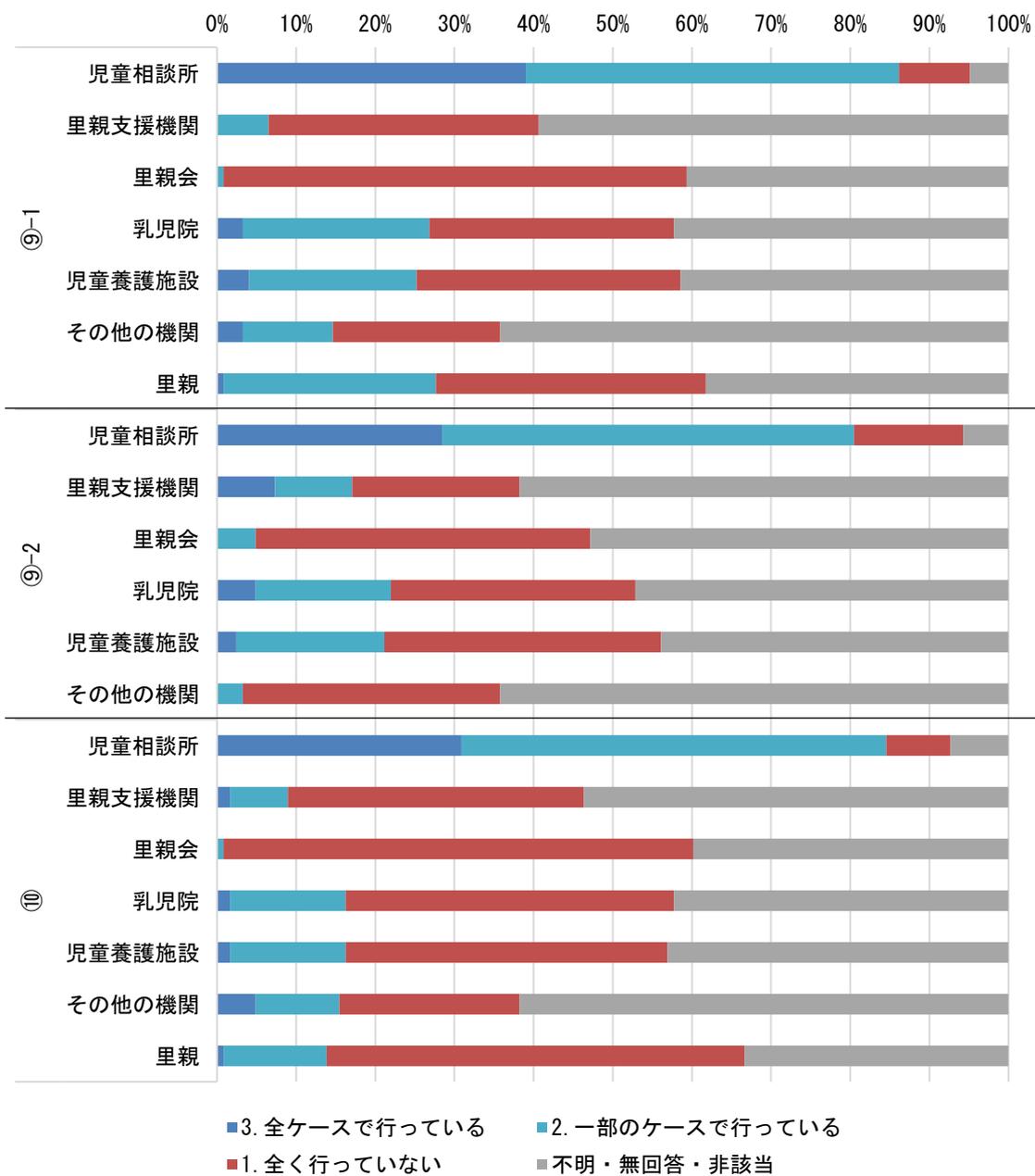
図表 25 家族再統合支援の項目別の各機関の関わり (n=123)



図表 26 家族再統合支援の項目別の各機関の関わり (n=123) (続き)



図表 27 家族再統合支援の項目別の各機関の関わり (n=123) (続き)



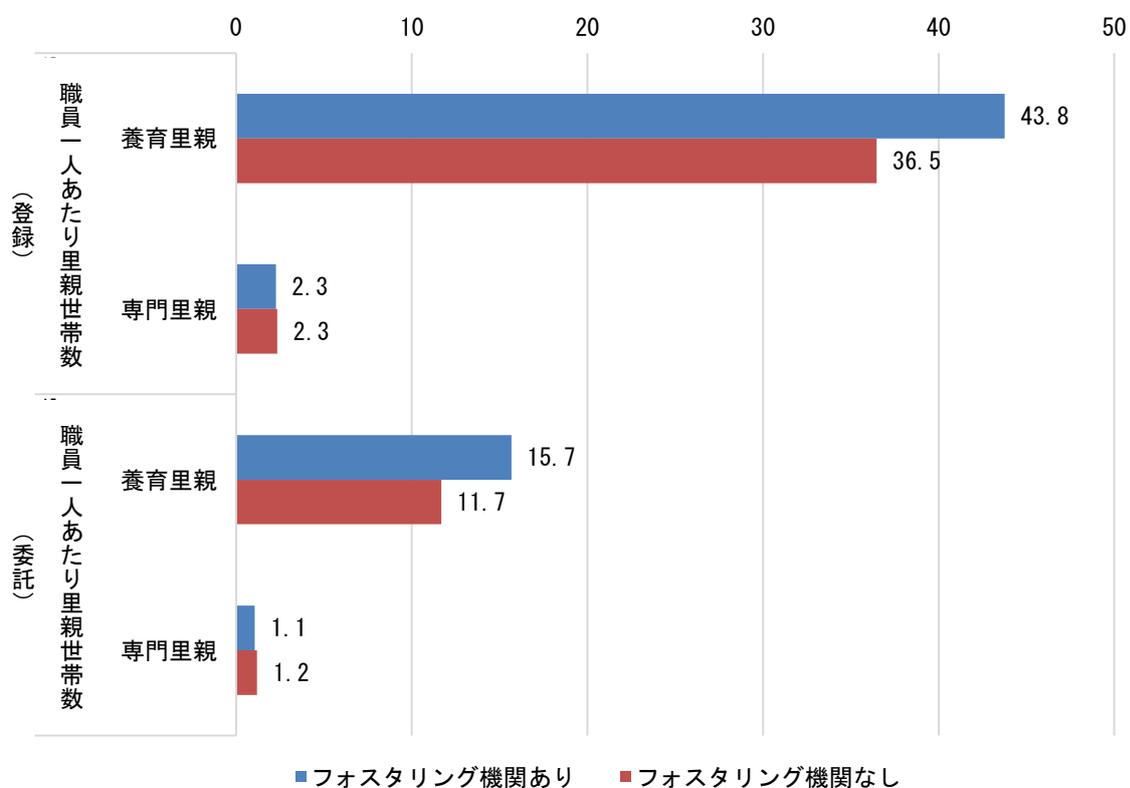
図表 28 家族再統合支援の項目別の各機関の関わり (n=123) (続き)

図表 29 「その他の機関」のカテゴリ別集計

	市区町村および 市区町村の施設	他自治体の児童 相談所	学校・保育所等
該当する記述数（「その他 の機関」全体での割合）	35 (89.7%)	2 (5.1%)	9 (23.1%)

2.6.3 児童相談所およびフォスタリング機関における里親支援の状況について

各児童相談所単位での「里親専任職員一人あたり里親世帯数⁶」と「フォスタリング機関の有無⁷」との関連をみると、「フォスタリング機関あり」と回答した児童相談所では、「フォスタリング機関なし」の児童相談所に比べて「里親専任職員一人あたり里親世帯数」の平均値が大きくなっており、里親世帯数の増加やそれに伴う里親専任職員の負担の増加と、児童相談所以外の機関が「フォスタリング機関」の役割を担う等の里親支援に向けた体制整備との間に関連がみられることが示唆された。



図表 30 「フォスタリング機関の有無」別の「里親専任職員一人あたり里親世帯数(平均)」

⁶ 「児童相談所票」の問 5-1-2 (養育里親登録世帯数)、問 5-1-3 (専門里親登録世帯数)、問 5-2-2 (養育里親委託世帯数)、問 5-2-3 (専門里親委託世帯数) について、それぞれ、「問 2-2-1 (里親専任の児童福祉司(常勤)の数) + 問 2-2-2 (里親専任の児童福祉司(非常勤)の数)」で割った値を用いた。

⁷ 「児童相談所票」の問 5-4 (里親支援機関の有無) で「1.はい(里親支援機関あり)」と回答、かつ問 5-5 (里親支援機関がフォスタリング機関に位置づけられているか) で「1.はい(フォスタリング機関に位置づけられている)」と回答した場合は「フォスタリング機関あり」、それ以外は「フォスタリング機関なし」とした。

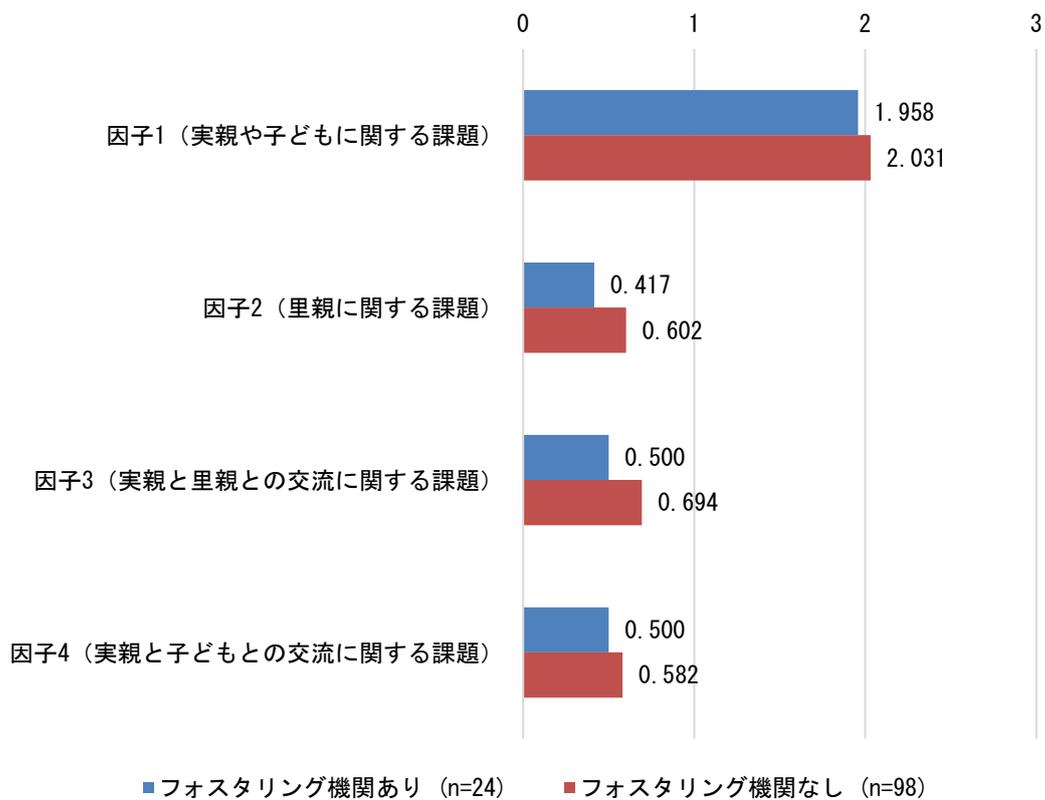
2.6.4 家族再統合支援における現状の課題について

各児童相談所単位での「家族再統合支援を進めていく上で支障となっている課題（「児童相談所票」問7）」について因子分析を行ったところ、以下の4因子構造が得られた。

また、フォスタリング機関の有無との関連をみると、いずれの因子の得点（因子負荷量が0.4以上の項目の合計得点）についても、「フォスタリング機関あり」と回答した児童相談所では、「フォスタリング機関なし」の児童相談所に比べて得点の平均値が低く、課題が少ない、という傾向がみられた。フォスタリング機関と連携することが、課題解決につながる可能性が示唆された。

図表 31 「家族再統合支援における現状の課題」についての因子分析結果（因子負荷量）

	因子 1	因子 2	因子 3	因子 4
障害・犯罪歴・貧困などを抱えている実親が多い	0.757	0.038	-0.125	0.118
子どもを引き取ることを望んでいない実親が多い	0.487	-0.168	0.095	-0.019
障害・犯罪歴などを抱えている子どもが多い	0.427	0.216	0.075	-0.188
児童相談所や関係機関と、子ども／実親／里親とのやり取りがうまくいかない	-0.067	0.779	-0.138	0.158
子どもを実親の元に帰すことを望んでいない里親が多い	-0.032	0.464	0.304	-0.158
実親と里親との交流がうまくいかない	-0.082	-0.015	0.629	0.119
児童相談所以外の関係機関がない（少ない）	0.184	-0.027	0.478	0.122
実親と子どもとの交流がうまくいかない	0.009	0.058	0.169	0.728



図表 32 「フォスタリング機関の有無」別の「家族再統合支援における現状の課題」についての各因子の得点（平均）

第3章 ヒアリング調査

3.1 調査対象

ヒアリング調査の対象は、里親養育における家族再統合支援に取り組んでいる機関として、児童相談所、里親支援機関、里親会、児童養護施設、乳児院等からそれぞれ選定を行った。

図表 33 ヒアリング調査の対象

	機関の種類
機関 1	児童相談所
機関 2	里親支援機関
機関 3	児童相談所
機関 4	里親支援機関
機関 5	里親会
機関 6	児童相談所
機関 7	乳児院、里親支援機関
機関 8	児童養護施設

3.2 調査方法

半構造化面接の手法を用いて、3.4の項目を中心に調査を行った。

3.3 調査期間

2019年11月～2020年1月。

3.4 調査項目

調査は、主に以下の項目について行った。

1. 各機関の家族再統合支援に関する体制や関係機関との連携について
2. 家族再統合支援の効果があつた事例について（主な支援機関と支援内容、工夫した点、効果があつた理由 等）
3. 家族再統合支援における課題について（実施が円滑に進まない取組とその理由、今後に向けて解決すべき課題、等）

3.5 調査結果

個々の機関単位での詳細な状況は第5章で示すこととし、ここでは、ヒアリング結果全体から得られた「家族再統合支援における現状の課題」の概要について述べる。

図表 34 家族再統合支援における現状の課題

カテゴリ	ヒアリング結果の該当する内容
実親への支援に関する現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実親に対し、アタッチメントの視点からも子どもにとって里親委託が必要であることへの理解を求めていくべきである。 ・家族再統合においては、里親の支援だけでなく、実親の家庭が子どもを引き取れる状況を作ることが大切である。 ・再統合後の子どもの行動等について、養育力が十分でない実親には対応が難しいこともあるため、子どもとの生活について実親にきちんと伝えておき、丁寧につなげていく必要がある。 ・子どもの養育に問題を抱える実親が里親委託を検討しやすいよう、こちらから、どういうときに里親制度を利用できるか広めていく必要がある。
里親への委託や支援に関する現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・里親登録者には、養子縁組を希望し養子縁組里親とダブル登録を行っている方も多く、社会的養護に対する理解を促すことが難しい。 ・施設が少ない場合、家族再統合が難しいケースでも里親委託となるため、里親への負担が大きくなる。 ・(委託数が増えたため)子どもに最適な里親をマッチングできず、無理にマッチングしても不調に陥るケースが多い。 ・再統合後、里親は必ず喪失感を覚えるため、里親が養育したことで、子どもと里親双方にとって良かった点等を里親と確認し合い、喪失感のケアをしていくことが重要である。 ・児童相談所の方針変更で、里親が納得のいかないまま再統合となった場合には、里親が実親や児童相談所に対する不信感を抱くことにつながるため、里親の意向を丁寧に確認しながら再統合支援を進めていく必要がある。 ・再統合後も、里親が実親をサポートするケースはあるが、里親個人の力だけに任せてしまわないよう、支援する制度があると望ましい。 ・里親を増やす上では、里親の成功体験や意義があった取組等を伝えていく機会を設けることが必要である。

<p>面会交流に関する現状の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所が、実親からの要望だけで突然面会を実施すると、里親や子どもの混乱を招いてしまう。子どもの現在の状況を考慮し、里親と情報共有しながら面会のスケジュールを設定する必要がある。 ・面会交流の第一歩を踏み出すことができれば再統合の可能性が高まるため、面会交流に向けて、児童相談所を中心とした各支援機関による、実親や子ども、里親それぞれとの関係づくりやサポートが重要となる。 ・児童相談所に里親担当が少ない場合、緊急のケースが入ると、面会交流に立ち会えないことがある。 ・面会交流の場所が児童相談所の面会室の場合、子どもがなじめないことが多いため、交流の場の設定における工夫が必要となる。 ・交流の中で、実母が里親に頼りすぎている場合、児童相談所等が間に入って、距離を保ちながら関係を築けるようにしていくことも必要となる。 ・円滑な面会交流のために、里親と実親の間に入ってくれるファミリーソーシャルワーカーのような立場の人がいると望ましい。
<p>体制や関係機関との連携に関する現状の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所に里親担当がいない場合、里親支援機関等に頼ることとなり、児童相談所がイニシアチブを持って動きづらいのではないか。 ・再統合後の子どもや実親のケアにおいては、全て児童相談所が担当するよりも、地域の子育て支援センター等の方が家族とのつながりを持ちやすいと思われるため、子育て支援センター等とも連携するべきである。 ・児童相談所と里親支援機関の間で、進め方についての考え方の不一致が生じる。 ・児童相談所の担当者が忙しく連絡が取りにくいいため、里親の状況をタイムリーに伝えることが難しい。 ・児童相談所のカンファレンスに里親支援機関も参加する等、児童相談所だけで進めず、多くの関係者を取り込んでいくべきである。 ・里親によるアセスメントに対して、児童相談所以外からも意見をもらえるような体制が望ましい。 ・里親には親権がなく、子どもにとって最善のことを提案しても

	制限がかかってしまうため、里親と児童相談所との間に入って調整を行う第三者的な機関が必要である。
--	---

第4章 考察

本調査研究では、主に家庭復帰に至るか否かに焦点をあて、分析を行うことで、それに関連する要因の明確化を試みたが、家庭復帰には至らないが実親と交流を継続したケースや里親の元から自立したケースも対象に含めた多様な家族再統合支援が実際には必要である。本調査研究の限界として、先行研究の少なさ等もあり、そのような多様な家族再統合支援の在り方について十分に検討するところまでは至っていない点が挙げられる。そうした限界点に留意しつつ、今後里親委託数の増加が見込まれる中において、本調査研究から見えてきた下記の考察を取組の参考としていただければ幸いである。

4.1 里親養育における実親との面会交流について

ヒアリング調査では、児童相談所や里親支援機関が里親と協働して体制を構築し、支援に当たった事例を把握することができた。また、数は少ないものの、専門里親等養育経験が豊富なベテランの里親が子どもと実親の双方に対して面会交流の調整や支援を行った事例についても把握することができた。

アンケート調査の結果からは、面会交流において重要な要素である面会交流の方法や内容、面会後の子ども・里親・実親への支援については十分に把握できていないものの、面会交流に関する要因が、里親委託から実家庭への復帰を達成する上で、重要な条件となりうることが示唆された。

里親委託ケース全体の状況としては、家庭復帰との関連が示唆された項目として、委託開始時点から家庭復帰を目指した目標が立てられていた、比較的短期間・低年齢のうちに措置解除となった、実親と子どもとの交流が頻繁に行われていた、等が挙げられた。

また、実親や子ども、里親それぞれの状況としては、実親に経済上の問題や障害の診断・疑い等がなく、子どもを引き取る上で支障が生じにくい状況にあった、子どもにとって里親委託が必要であると実親が理解していた、実親と子どもが互いに交流を希望しており、里親も交流が必要であるという意見を表明していた、等の状況にある場合、家庭復帰との関連が示唆された。

以上の結果を踏まえ、里親委託ケースにおいては、上記の条件がある程度整ったケースについて、子ども・実親それぞれについてのアセスメントを十分行い評価した上で、家庭復帰に向けた支援を積極的に行っていくことが望ましいと考えられる。また、「実親と子どもとの交流」については、援助方針決定時点において子どもが実親との交流に不安を抱いていても、支援を行う機関等の働きかけや支援によって家庭復帰がなされたケースも17.7%あることから、支援を行う機関等からの働きかけが可能と考えられるため、以上の条件にかかわらず、実親・子ども・里親の交流意欲を引き出し、安定して継続できるよう支援を行っていくことが求められる。

4.2 家族再統合支援プランの子ども、実親、里親等への説明の充実

アンケート結果より、家族再統合支援に関する計画の子ども・実親・里親への説明については、ほとんどの地域（児童相談所の管轄を指す、以下同様）で「児童相談所」もしくは「里親支援機関」が担当しており、地域の実情に合わせた様々な支援体制で比較的円滑に進められていると考えられる。

一方で、実際に支援を進める中での、計画に関する里親への意向確認や情報共有がそれ程進んでいないことも調査結果から示唆されており、説明自体は行われても、家族再統合支援の進め方にそのことが反映されていない可能性がある。

児童相談所側が里親に伝えたつもりの内容が、里親側では伝わっていないと認識されることが少なくないことが、ヒアリング結果からは浮き彫りになったと指摘できる。児童相談所と里親との認識に相違がみられた場合に、第三者的立場にある里親支援機関等が両者の橋渡しをすることで、児童相談所、里親、子ども間でのコミュニケーションを円滑にできる可能性がある。

アンケート結果からは、自立支援計画の子どもに対する説明者として、里親支援機関が関わっているものは6%程度にとどまっており、今後の課題と言える。

今後は、子どもの意向を丁寧に確認した上で自立支援計画を策定すること、児童相談所が進め方の方針についてスケジュールを含めて明確に示していくこと、里親の意向との相違を調整するために里親支援機関等の第三者的立場の機関が調整を行うこと等により、家族再統合支援に関する計画および見直しについて関係者との情報共有に努め、子ども、実親、里親の全員が納得した上で支援を進めるようにしていく必要がある。

4.3 里親の家族再統合支援への関わり

アンケート結果より、家族再統合支援への里親の関わりと「家庭復帰の達成」との関連において、里親が実親と子どもとの交流が必要であるという意見を表明することはそれなりに関連していた。

一方で、家族再統合支援の計画に対する里親の意向確認、特に単なる口頭での確認だけでなく計画作成やそのための会議に関わっているかどうかは、そのようなケースの割合が少ないためか、本調査においては「家庭復帰の達成」との関連がみられなかった。記述統計をみると、里親が計画の作成に関わっているケースは2割弱程度、里親が計画作成のための会議に関わっているケースは1%に満たず、家族再統合支援に対する里親の意向確認はそれ程進んでいないと思われることから、今後は里親の意向が適切に反映されるよう取組を進めていくとともに、家庭復帰の達成との関連について引き続き検討を行っていく必要がある。

また、実際の支援において里親が果たす役割については、「実親と子どもとの交流」への関与が他の支援と比べて多い傾向にあり、ヒアリング調査においても、少数ではあるが、里親による実親と子どもとの交流支援が有効な事例があることが確認された。里親は子どもの状況を良く知る立場にあり、実親と良好な関係を築くことができれば、両者の状況を考慮しながら交流を支援することができると考えられる。また、子どもはこういう状況の中で、里親と実親とどちらに忠誠を尽くすかという葛藤を抱えることがあるが、里親が実親と良好な関係を持ち親子双方をサポートすることができれば、その葛藤を弱めて実親との関係改善を進めることができる。ただ、どのケースでも同様に進められるわけではなく、実親と子どもとの交流の必要性について里親が十分理解できるようにすること、実親が約束を守るかどうか等の実親の状況に関する的確なアセスメントに基づいて進めること、あるいは子どもに負担のない交流の場を慎重に設定すること等、留意すべき点は多い。家族再統合支援全体を円滑に進めていくためにも、関係機関および里親との間で適切な役割分担を行っていくことが求められる。

4.4 実親や子ども、里親に対する家族再統合の直接的支援の充実

4.4.1 実親や里親等に対する家族再統合支援の充実

アンケート結果より、里親委託中の子ども・実親・里親に対する直接的支援については、ほとんどの地域で「児童相談所」もしくは「里親支援機関」等の様々な機関が担当・連携しており、体制的には比較的円滑に進められていると考えられる。

また、ヒアリング結果からは、主に面会交流における支援上の工夫として、実親が子どもを引き取れる状況になるための支援を合わせて行うこと、子どもに負担のない交流の場を設定すること、交流のスケジュールについては児童相談所と里親が共有し納得した上で進めること、里親と実親が適切な距離を保ちながら関係を築けるように関係機関が配慮・調整すること、等が必要であると示唆されている。そのため、実際に支援を行う際には、先述のように、実親が約束を守るかどうか等の実親の的確なアセスメント及び里親との合意を経た上で、それらの点に留意しながら進めていくことが求められる。

4.4.2 家庭復帰後の支援（アフターケア）の準備の充実と支援の連続性の重要性

アンケート結果より、家庭復帰後の子ども・実親・里親への支援については、ほとんどの地域で「児童相談所」もしくは「里親支援機関」が担当しており、体制的には比較的円滑に進められていると考えられる。

ヒアリング結果からは、具体的に求められる支援として、家庭復帰後に問題が生じないよう養育力が十分でない実親をサポートすること、特に4.5にて後述するように、地域の子育て支援と連携し実親と地域とをつなぐことの必要性が示唆されている。また、里親に

関しては、登録の継続に向けて里親の喪失感のケアを行うことの必要性も示唆されている。家庭復帰後もこれらの取組を継続して行っていく必要がある。

4.5 関係機関の関わりや児童相談所との連携

アンケート結果より、家族再統合支援における関係機関の関わりについては、児童相談所や里親支援機関と、それ以外の機関とが共に支援に関わっている方が「家庭復帰の達成」が行われやすいことが示唆された。ヒアリングやアンケートの結果から面会交流の重要性も指摘されていることから、面会交流を安定して継続できるよう支援する体制づくりにおいても、児童相談所や里親支援機関が中心的・主導的役割を果たすのが望ましいと考えられる。

一方で、支援の項目別にみると、児童相談所以外の機関が関わっているものはそれほど多くないという結果も得られているため、今後、どのようにして様々な機関が支援に関わっていくかを検討することが課題である。

また、市区町村や保育所・学校等が、家族再統合支援において大きな役割を果たしていることも示唆された。ヒアリング結果からも、保育所が実親との交流を仲介する役割を担う事例があることや、家庭復帰後の実親への支援においては地域の子育て支援に関わる機関との連携が有効であること、等が示唆されたため、里親支援機関、里親会、施設に加えて、市区町村や保育所・学校・地域子育て支援機関等とも連携を進めていくことが必要である。

4.6 関係機関における今後の検討課題

アンケート結果より、家族再統合支援を進めていく上での現状の課題としては、「実親に関する課題」「里親に関する課題」「実親と里親との交流に関する課題」「実親と子どもとの交流に関する課題」に分類され、地域によってそれぞれ課題となる内容が異なる可能性があることが示唆された。

ヒアリング結果においては、児童相談所等における「実親に関する課題」の具体的な内容として、支援を必要とする実親が里親制度について正しく理解し利用できるような積極的に広めていく必要があること、実親に対しアタッチメントの視点からも子どもにとって里親委託が必要であることへの理解を求めること、家庭復帰に向けて実親の家庭が子どもを引き取れる状況にしていく必要があること、家庭復帰後に問題が生じないよう養育力が十分でない実親をサポートする必要があること、等が挙げられていた。このような様々な課題に対応するための一つの工夫として、例えば児童相談所等において実施するペアレント・トレーニング等の支援プログラムについては、様々なケースに対応できるよう、支援方策と内容を選択できるバリエーションを備えておくことも考えられる。

また、「里親に関する課題」の具体的な内容としては、養子縁組を希望する里親が多い現状では社会的養護に対する理解を促すのが難しいこと、里親委託率増加により子どもと里親とのマッチングに丁寧さが欠けうまくいかなくなっていること、里親登録の継続のためには家庭復帰後の里親の喪失感のケアが必要であること、里親を増やすためには里親委託の意義等を伝えていく機会を設ける必要があること、里親からの提案を支援に活かすためには児童相談所との間に立って調整する第三者機関が必要であること、等が挙げられていた。

「実親との交流に関する課題」の具体的な内容としては、子どもがなじみやすい交流の場を設定する必要があること、交流のスケジュールについては里親と共有し納得した上で進める必要があること、里親と実親が適切な距離を保ちながら関係を築けるように調整役を配置する等の工夫を行う必要があること、等が挙げられていた。

「体制や関係機関との連携に関する課題」の具体的な内容としては、主に児童相談所と他の機関との連携について、児童相談所と里親支援機関とでは家族再統合支援の進め方についての考え方の不一致が生じること、児童相談所および里親支援機関が多忙なため互いにタイムリーな情報共有が難しいこと、家庭復帰後の支援においては家族とのつながりを持ちやすい地域の子育て支援機関等と連携が必要であること、等が挙げられていた。

以上の結果を踏まえ、家族再統合支援を進める上では、それぞれの地域において課題となっている内容に応じた対応を行っていく必要がある。

また、家庭復帰よりも里親養育の中での実親との交流継続が子どもにとって望ましい場合もあることから、今後は、家庭復帰に限定しない場合においても、実親との交流の在り方について検討していく必要がある。

第5章 事例集

5.1 機関 1

5.1.1 機関の概要（2019年3月31日時点）

機関の種類	児童相談所
支援している里親世帯数	87世帯
委託を受けている世帯数	48世帯
未委託世帯数	39世帯
問題があって委託を受けられない世帯数	4世帯
問題はないが、里親側の事情で委託を受けていない世帯数	35世帯

5.1.2 各機関の家族再統合支援に関する体制や関係機関との連携について

- ・里親専任担当はいないが、家族再統合に関しては各ケースワーカーが行っている。
- ・正職員17人、非常勤2人。
- ・自立支援計画の作成は、2019年度からは里親支援機関に委託している。
- ・里親支援機関と連携し、里親会がネグレクトや精神疾患を患っている実親が行う諸手続きに同行したり、子育てを教えたりする支援を行っている。
- ・子どもを預ける期間の見通しが立たない、急な措置解除がある等で、里親の納得が得られず、摩擦が生じるケースがある。
- ・里子にぴったりの里親がなかなか見つからない。毎回、ひねり出して出てくる感じ。

5.1.3 家族再統合支援の効果があつた事例について

- ・17歳で出産した実母は中学生の頃から引きこもりで、児相のケースになっていた。不登校のまま中学を卒業し、水商売で成功。仕事で出会った男性の子を妊娠し、出産。他地域で仕事に挑戦したいのでしばらく子どもを預けたいと児相に相談にやってきた。児相は施設と里親委託の両方についてそれぞれの特徴（定期的な面会を希望するなら「乳児院」と「養護施設」、愛着障害が起こる可能性を考えると「里親委託」のほうが明らかに優れている）を実母に時間を掛けて説明。実母は迷わず里親委託を希望した。里親は登録間もない実子のいない40代の専門里親。実母は他地域でパートナーと出会い、安定した生活を築くことができたため、引き取りを希望してきた。児相は新しい家庭は子どもの養育にふさわしい家庭かどうかを担当地区の児相に確認依頼をした。問題がなかったため、少しずつ時間を掛けて面会交流に取り組み、再統合ができた。

5.1.4 家族再統合支援における課題について

- ・里親登録者には養育里親に加え、養子縁組も希望するダブル登録者が多い。子どもが授からず、子どもとの暮らしを夢見ている人も多く、研修時には社会的養護について詳しく説明をしているが、なかなか理解してもらえないこともある。
- ・里親支援機関と今後は里親が実親を支援することが必要になるだろうと話してはいるが、具体的にどういう形でやるべきなのかは、まだなんとも言えない状況。
- ・行政職員としては、里親は個人なので危険等も考慮し、実親とはできれば接触させたくないのが本音。
- ・実親が子どもを里親に預け、生活の安定をはかり、子どもを受け入れる体制を作る。子どもが複数いる場合では、一人ずつ帰していくというやりとりの中で、里親が支援をしながら実親宅の養育環境を整えていくという形を確立していくのがいいのではないか。

5.2 機関 2

5.2.1 機関の概要（2019年3月31日時点）

機関の種類	里親支援機関
支援している里親世帯数	87世帯
委託を受けている世帯数	49世帯
未委託世帯数	38世帯
問題があつて委託を受けられない世帯数	2世帯
問題はないが、里親側の事情で委託を受けていない世帯数	27世帯

5.2.2 各機関の家族再統合支援に関する体制や関係機関との連携について

- ・家族再統合支援の専門担当はいない。
- ・正職員3人、非常勤3人。
- ・児相から里親支援（フォスタリング）業務の委託を受けている。2019年度からは自立支援計画作成も委託業務に含まれている。
- ・現在、児相からの提案で、里親も同席する面会交流（里親に小さなおにぎりを作ってもらい、公園に一緒に出掛けながら、子どもの様子を伝える等）を実施。
- ・児相の方針に基づき、どのような理由で実親との交流を始めるのかを確認し、児相の方針の説明とは別に、家庭の中の様子を理解した上、説明するという形から交流に向けていく。
- ・家庭復帰を進めるに当たり、どういう考え方をしていくのがいいのか、子どもにとって何がプラスになるのかについて里親に話をするところから、面会交流に持って行く。
- ・人員不足が課題。現在、機関の運営は里親会の協力があつてこそ成り立っている。研修は里親相談員（里親会のベテラン里親）が行い、啓発活動や出前講座等もお願いしている。また、里親相談員には養育が安定している里親や委託ができていない里親等への訪問と報告をお願いしている。
- ・自立支援計画の作成が業務に追加されたが、まだ実現できていない。実現すれば素晴らしいが、現状、児相の持っている子どものデータ（心理相談、医師や一時保護所の判断、社会的判断等）をすべてもらっているわけではない。
- ・支援計画を立てる会議等に里親も参加できるといいと思う。実親と里子の面会交流が始まる前に里親の気持ちは複雑になることが多い。実親が子どもに会いたいと言っているから会わせるという説明のみであるのと、実親の状況や生活、気持ち等を踏まえながら説明するのとでは違うと思う。
- ・里親登録者の多くは子どもが授からず、子どもとの生活を夢見ている人が多い。社会

的養護について理解しているものの、突然の措置解除でやっと手に入れた子どもとの生活を失った際は、気持ちの切り替えが困難。国の方針が里親委託から家族再統合を目指すもの変わったからといっても、なかなか納得できるものではない。

5.2.3 家族再統合支援の効果があつた事例について

- ・軽度の知的障害を持つシングルマザー。同家庭から4人兄弟のうち、2人を里親に委託。実親宅の状況を見ながら、一人ずつ帰し、家族再統合を果たした。長男を預かった里親はとても面倒見のいい人で社会的養護についてよく理解を示していた。再統合後も子どもを通して実親と交流。長男は月に一度、里親宅に髪を切りにもやって来る。その際に家の状況を報告している。実母が子どもに連れられて、里親宅を訪問し、食事をしていくこともある。ある日、長男が家の電気が止められ、どうしたらいいのかを里親に相談しにやってきた。里親は「お母さんが何とかするまで待つか、あなたが貯めたお金を使うか」と問い、長男は「今回は自分で貯めたお金で支払いたい」と決断し、里親は振り込みの手続きを手伝った。里親からも、時々「最近、どう？」と連絡を入れたり、手作りの惣菜を持って訪問したりもしている。

5.2.4 家族再統合支援における課題について

- ・児相に里親担当がないため、里親支援機関が里親関連業務を全て委託されている。相談は頻繁に行われているが、児相の中に里親支援に関わる人があまりいないため、イニシアチブを持って動きづらいのではないかと感じる。
- ・里親が里子と分離された後の支援が大変。児相の方針変更で、里親が納得いかないまま措置解除となった場合、里親は喪失感とともに実親や児相に対して、不信感を抱くことが多々ある。児相は、ただ子どもを親元に帰すだけでなく、その後の里親をどうすればいいのかを考えてほしい。「一つの委託が終わると、そこで一つの里親が消える」のはよくない。里親が傷ついて、辞めてしまうのを絶対にしないようにしたい。
- ・児相は「子どものため」と言いながら、実親を何とかして子どもに受け入れてもらおうと必死で、実親との関わりが強くなる。一方、里親側に立つ支援機関は、同じように「子どものため」と言っても、微妙に比重の置き方の違い、温度差が生じる。
- ・児相からの面会交流実施のタイミングが、突然すぎる時がある。児相から実親の元に帰す目的、目標をどのような方法で、いつごろに向けて、どういうタイミングでやっていくのが具体的に出てこない。里親との愛着関係が形成されて、安心できるような時期を狙って面会するのが理想的だと考えている。児相は実親からの要望を聞いただけで、子どもの現在の様子を考えず、面会をしたいと言ってくるが多いため、里親の混乱を招いている。
- ・児相は子どもの切り取った「いま」しか見ていないが、里親は動画でずっと成長を見てきている。

- 里親と実親の交流がうまくいっているからといって、家庭復帰に移行されていくわけではない。逆に、うまく行かないかと思ったら、意外にも子どもの力なのか、周りの力なのか、実親が子どもが来たことで力を得たのか、なぜかうまくいくケースもあるし、本当にわからない。
- 交流は家庭復帰のためというよりも、家庭復帰が可能かを見極める第一歩にすべき。実親との交流については、ただ会うだけではなく、動いて走り回る子どもを実際に見て、日々の養育を想像してもらえそうな面会交流の時間にしたほうがいいと感じている。
- 里子が実家庭に戻る条件についてのチェックリストがあるといい。児相職員は異動もあるため、後任者がすぐにわかるような基本ラインがあればいいと思う。あとはもう、ケース・バイ・ケース。その上席の意見も聞いたり、ほかの関係機関の意見も聞いたりしてやっていく中で、その「基準」が一つあると、実親に「こうなれば家に帰すことができる」と話ができると思う。成功事例ばかりでなく、失敗事例を踏まえながら、リストのようなものができてくるとありがたい。
- 里親が再統合後の子どもについて知る機会を国が作ってほしい。里親の養育があったからこそ、羽ばたくことができた子どもたち。子どもたちのその後の様子を知ることができたら、里親の自信につながると思う。

5.3 機関3

5.3.1 機関の概要（2019年3月31日時点）

機関の種類	児童相談所
支援している里親世帯数	38世帯
委託を受けている世帯数	19世帯
未委託世帯数	19世帯
問題があつて委託を受けられない世帯数	2世帯
問題はないが、里親側の事情で委託を受けていない世帯数	7世帯

5.3.2 各機関の家族再統合支援に関する体制や関係機関との連携について

- ・フォスタリング機関とはとてもよく連携をしている。児相の里親担当以上に里親宅に足を運び日々、養育の話聞きながら、実親に対する不満まで受け止める。「腹が立つね」で終わらせず、「なぜ腹が立つのかな？ どういうふうにしたら、次できるかな」と一緒に考えるスタンスを持って対応してくれている。

5.3.3 家族再統合支援の効果があつた事例について

- ・経済的困窮の若い夫妻。家族再統合に向けて、面会交流中。子どもの参観、健診等の機会に里親だけでなく、実親も巻き込んで、経験してもらうようにしている。養育者としては離れているが、親としての役割を果たしやすいようにしている。里親宅に里親支援専門員と里親と実親に行ってもらって、食事を食べさせることを一緒に体験。客観性を持たせるためにも、専門員が立会いの下、行っている。今後、実親のところへ場所を移して交流をすすめていきたい。
- ・若年で出産した母親。子どもは0歳で乳児院に預けられ、実母が行方不明になったため、生後6カ月で里親委託される。その後、実母が現れ、面会交流を希望。里親は子どもの支援だけでなく親の支援もしたい人。実母と会うたびに、細やかに子どもの様子を伝え、実母の心配もしてくれた。実母は子どもが乳児院にいるときは面会に来なかったが、里親と会えたことによってモチベーションが上がったのか、月に1回の面会には必ず来ている。
- ・乳児期から実母は行方不明になり、子どもは乳児院に入所し、フォスタリング機関を通じて里親に委託された。実母が現れ、現在面会交流をしている。3歳目前で理解力ある子どもだったため、「いま暮らしている家族」と「これから暮らす家族」について写真を使ってワーク形式で作業し、里親もいるなかで面会をスタートさせた。実親には血縁を越えて関係性を築いた里親に対し、嫉妬心を抱かないよう、アタッチメントの考え方

(子どもは不快な感情を取り除いてくれ、適切な関わりをしてくれる養育者を求めているだけ。里親は実親の邪魔をしているわけではない、等)を説明した。

- ・実親の自宅での面会交流を実施している。里親が子どもを連れて実親の自宅へ訪問。最初は里親、子ども、両親、それからフォスタリング機関、児童相談所というメンバーが揃って親子の面会交流を見守る。実親と子どもとの関係性が少しついてくるようなら、里親に少し部屋から出してもらい、里親が外に出ている時間を少しずつ延ばしていく。最初は、ちょっとトイレに行く等短時間から始め、やがては外出に持って行く。実親だけで子どもが安心して過ごせる時間、親子の関係性を築くという時間を試みた。里親からは実親に養育上のアドバイス等をしている。
- ・SNSを使った交流を試みている。児相は時間によっては電話がつながらないことがあるため、実母と里親にLINEを使った交流をさせてみた(ルールが守れる人のみ)。里親だけがアドバイスをするとつらいこともあるので、一人にはさせないように、里親からフォスタリング機関に24時間電話で連絡が取れる体制を整えている。
- ・フォスタリング機関と児相から実母と里親に対して、子どもが安心感を持って過ごせる関係性として、アタッチメントの考え方を一緒に伝える機会を設けている。

5.3.4 家族再統合支援における課題について

- ・里親に「チーム養育」の実感をもっといただくには経験が必要。
- ・児相に里親担当が一人しかいないため、面会交流に立ち会えないことがある。
- ・面会交流の場所が児相の面会室の場合、子どもがなじめないことが多い。
- ・家族再統合は里親支援だけではなく、実親家庭が子を引き取れる状況を作ることが大切だと思う。
- ・面会交流の際、里親ではなく、フォスタリング機関に子どもの移送をお願いすることができるように里親の負担が減るのではと感じている。

5.4 機関 4

5.4.1 機関の概要（2019年3月31日時点）

機関の種類	里親支援機関
支援している里親世帯数	33世帯
委託を受けている世帯数	8世帯
未委託世帯数	25世帯
問題があつて委託を受けられない世帯数	0世帯
問題はないが、里親側の事情で委託を受けていない世帯数	3世帯

5.4.2 各機関の家族再統合支援に関する体制や関係機関との連携について

- ・再統合の支援担当はとくにいない。ソーシャルワーカーは常勤3人（社会福祉士）と非常勤1人。リクルーターは常勤3人。
- ・所在都道府県の3地域のフォスタリング事業を委託されている。
- ・実親支援は主に児相が行っているが、一部実親の支援も実施。
- ・人員増が必要。本当に里親が必要としているときにタイムリーに動きたいとは思っているが、なかなか難しいときもあるため。里親からの問い合わせを24時間365日緊急に対応できるようにはしているが、実際きっちりとした体制を整える必要がある。
- ・児相を通じて、保育所や学校との連携もしている。とてもよい連携が取れている。

5.4.3 家族再統合支援の効果があつた事例について

- ・若年出産の実母（自身も適切な養育を受けて育っていなかった）。精神的にも不安定だったため、乳児院に子どもを預けた。自身の親世代のパートナーと出会い、共に過ごすことで心身ともに安定し、子どもを引き取ろうとした。パートナーとともに引っ越したため、現在の家の状態が把握できるまでの間は、里親委託をすることになった。実母は乳児院の頃から定期的な面会交流を続け、里親委託に移行後、お泊り交流に進展した。里親はフルタイムで働くシングルマザー。20歳の長女がいて、前年も3歳の子の委託を経験した。子どもは4歳で、乳児院からは繊細で人見知りが激しく、頑固なところがある、と申し送りがあつた。
- ・児相は保育園途中入園に対し、意見書を提出して入園を後押ししてくれた。
- ・実母との外泊交流を開始していたため、園に送るのが里親、迎えに来るのが実親という日があり、保育園は双方に一通ずつ手紙を用意してくれたり、懇談の時間も実親と里親に別々の時間を取ってくれたり等、細やかな配慮をしてくれた。
- ・交流の際、本来実親への連絡は児相、里親への連絡はフォスタリング機関が担当すると

ころ、双方ともフォスタリング機関が行うことで1本化。時差を解消し、スムーズな調整ができるようになった。

- ・実親と里親子交流の際は、できるだけフォスタリング機関が同席。お互いがママ友のような会話をしてもらえるように、フォスタリング機関が事務的な連絡事項を伝えるように役割分担を徹底した。
- ・実親と里親で連絡ノートのやりとりをしてもらった。はじめは「鼻水が出ています」等の連絡事項だけだったが、のちに実母が絵文字を入れて、日記のように楽しく子育てについての相談をするようになったところ、里親も丁寧に応じて交流が円滑に進むようになった。
- ・里親との交流の中で当初、実母は様々な判断をパートナーに頼ってきたが、現在は自分で決めることができるようになった。また、ペアレント・トレーニングを積極的に受けて、子どもの受け入れ準備を着々と進めている。
- ・若年出産の実母には軽度の知的障害があり、無職だった。当初は自分で育てることを希望したが断念。一緒に暮らす祖父母のすすめで特別養子縁組を希望していたが、現在は引き取りの方向で交流を続けている。里親は初委託の40代の夫婦。里母は日本人で里父はカナダ人。実子は3人（中3、中2、小5の男子）。家族ぐるみで新生児を世話し、実親が訪ねてきたときも、ホスピタリティーの精神で迎えた。
- ・交流の回数が多いので、児童相談所とフォスタリング機関が手分けをしながら、立ち会いをしている。日々の子どもの発達状態、「首が座りました」「寝返りしました」等ちょっとしたエピソードや、日々の写真等で紹介。子どもの存在を実親家庭でも感じてもらえるようになるべく細やかな報告をした。
- ・里親宅の家族ぐるみの養育が、実親や祖父母にも伝わり、再統合の方向で進んでいる。予定を立てるのが苦手な実母は、交流開始当初、待ち合わせ時間に2時間遅れたこともあったが、徐々に1時間遅れ、いまでは5分前に到着するようになり、意識の高まりが感じられた。
- ・20代半ばのシングルマザーで無職。祖母と叔父と同居。妊娠・出産について、二人からの賛成得られず、育児は不可能な環境だったため、子どもは病院から直接乳児院に入所。2歳で養護施設に入所後、フォスタリング機関がマッチングを行い、里親へ委託となった。実母は養護施設では月2回の交流を実施していたため、交流を継続してくれる里親への委託を希望した。就学前までに引き取れるよう現在、準備中。里親は40代の夫妻。大学1年生の娘、高校1年生の息子（他都府県で寮生活）。体力のある夫妻で、週末の休みもある方。里母は結婚前に保育士をしていて、現在は学童の先生。実子が順調に育っているのを余った時間と気持ち、体力を何かのために使いたいと里親を希望したという。

- ・保育所には社会的養護について理解していただいた上で連携してくれている。
- ・現在、定期的な交流として2週間に1回の交流を始めたばかり。施設から里親への委託がわりとうまくいったのと保育園の空き状況があって早く進んだため、実親の不安と気持ちがまだついていけない状況。安心してもらえるよう、里親との子どもの様子について写真等を共有している。

5.4.4 家族再統合支援における課題について

- ・再統合後に生じる里親の喪失感に対するサポートが必要。どんなに良い前向きな再統合であっても、里親の子どもを帰したという喪失感はずきもの。振り返りをきちんと行う等、なんらかの対応は必要だと思っている。子どもを養育した経験の中で、すごく子どもにとってもよかった点は必ずあるし、逆に子どもがその家庭に持ち込んだ良い文化もあることを里親と一緒に確認しあう等をしている。それでもやはり喪失感はなかなか消えるものではないのではない。
- ・里親に再統合後の子どもの様子を知らせてあげたい。里親は子どもが離れて行ったあと、どうしているのかが一番気になる場所。知り得た情報は伝えることができるし、児相からも必要に応じて教えてほしいと思う。
- ・再統合につながる可能性が大きくなる、面会交流の第一歩が大切。実親は問題を抱えている人が多い。面会交流までのサポートは児相の役割だが、その一歩が踏み出せなければ再統合にはつながらない。里親はすごく世話好きで、子どものためにも実母のサポートが必要だと思っている人が多い。
- ・再統合後のサポートが必要。再統合で子どもが家に帰ったあと、里親と実親をつなぐ制度がなければ、児相も離れてしまい、フォスターリング機関もそこに入れない。里親とつながり、再統合後も実親をサポートするケースはあるが、里親個人の力だけに任せてしまわないように社会保障のようなものが必要。地域の要保護対象とつないでいくので、そこに地域のサポートとして里親が入るといいのではと思う。

5.5 機関5

5.5.1 機関の概要（2019年3月31日時点）

機関の種類	里親会
支援している里親世帯数	531世帯
委託を受けている世帯数	228世帯
未委託世帯数	303世帯

5.5.2 児童相談所との連携（うまくいっている点、課題点）

<うまくいっている点>

- ・ケースワーカーが積極的に実親のケア（生活保護の申請に同行、就職のサポート等）と同時に、里親と里子を実親につなぐ活動（面会等の設定）を熱心に行ってくれた。
- ・ケースワーカーと里親が常に子どもの気持ちに寄り添うことで、希望に沿う形で、相談しながらできた。

<課題点>

- ・里親が子どもを「まだ帰すべき時期ではない」と考えているときに、児相からの突然の措置解除宣告。児相の考えが理解できず、動揺した。簡単に「返せ」と言ってくるのは問題ではないのか。
- ・実親が子どもとの面会を望んでも、会わせてはいけないケースがあることを児相が理解していなかった。
- ・ケースワーカーが変わり、援助方針が「養子縁組できる」から「養子縁組できない」に突然変更になり戸惑った。家族になれるかもしれないと思って育てるのと、再統合を視野に入れて育てるのでは、目的も育て方も違う。
- ・行政の都合（児相の分割）で突然の措置解除。再統合を果たすも結局、実母は子どもを育てられずに施設に預けてしまった。里親は一度手放した里子との再会ができないはずだったが、グループホームへ入所する際に実母を頼れず、周囲の取り計らいで再会し、見守りながら支援を続けている。安易な再統合で、里子は傷つき、実母を恨む結果になってしまった。
- ・児相は子どもの希望と里親の意見に耳を貸さず、実親の希望しか聞かない。実父の涙ながらの訴えで、措置解除となり再統合を果たすも結局、一緒に暮らせなかったことを風のうわさで知った。
- ・里子が実家で同居の男性に性的虐待を受けていたことを児相が話してくれず、子育てに苦労した。
- ・措置解除で里子とのつながりをすべて絶たれてしまうのはつらい。

5.5.3 他の機関との連携

<児相以外の他機関との連携に関する意見>

- ・児相以外にもアセスメントに対して意見をもらえるところが必要。児相が忙しい場合は、里親支援専門相談員等により、2カ月に1回程度、定期的に養育されている状況について相談する機会があればいいと思う。里子が落ち着いてきた等、里親が感じていることを裏付ける人がいてもいいかもしれない。
- ・児相と里親の間に入る調整役、第三者的なソーシャルワーカーの存在が必要。
- ・子どもたちにも弁護士のような代弁者が大切になってくると思う。
- ・児相を評価する第三者委員会もこれからは重要になってくると思う。
- ・里親には親権がないので、里子にとって最善のことを提案しても制限がかかってしまう。第三者のアセスメントが必要。
- ・児相は措置解除をする際に、子どもが帰る家庭のある自治体とよく連絡しあってほしい。今後、子どもが通う教育機関との連携を密にして、十分に調べてからの措置解除が望ましい。
- ・里子を最高に幸せな子どもに育て上げていくためには、児相、里親、里親会、学校、実親等のつながりが大切。子ども会、自治会等。

<その他>

- ・里親を続ける上での悩みは里親会のサロン等で、先輩方に相談できるのがありがたい。児相に相談しようにも、専門家がない。

5.5.4 児童相談所との連携における里親・里子・実親の意向の調整方法

<里親が考える児相の問題点>

- ・実親の家の状況を児相が把握していないにも関わらず、実親の求めに応じて措置解除を提案してくる。そんな児相が理解できない。
- ・再統合には実親の家庭の安定度、経済力を見て判断してほしい。
- ・里親はせめて里子を大学まで行かせて、学力をつけて帰したいと思っている。一人で食べていけないうちに帰す場合は、せめて里子との交流を保たせて欲しい。勉強が不得意な子はお茶でも踊りでも何でもいい。その子が得意で食べていけることにつながるものを身につけさせて、帰したい。せめて教育は受けさせて、戻してあげたい。
- ・里子に対して性的虐待をしていた内夫と母親が別れ、措置解除になったが、実際はまた別の男性が家にいた。母親と妹と新しい父親と4人一部屋で寝なくてはならない状況。子どもは家に帰りたがっていたが、この状態で家に帰してよかったのか、と思う。
- ・里親は里子の健康で文化的な暮らしや環境を提供し、健やかな成長を願うが、再統合でそれが維持できるかが疑問。
- ・実親が子どもを返してと言ってくる場合、生活や精神的安定が得られたという裏付けがないのがほとんど。児相は子どもや里親の意見を聞かず、実親の希望ばかりを尊重する。

もっと総合的、複合的な判断が必要。

- ・戻る家庭の状況が安定していることが大切。子どもは里親にケアされ、成長しているが、実親はそのままの状態。一度は子どもを手放す決断をした実親のケアを確立させていけないといけないと思う。
- ・実親ではなく、まずは子どもの気持ちを優先してあげてほしい。実親の気持ち、児相の見立てで判断されることが多いのではないかと思う。
- ・里親委託率が増えている静岡県、福岡県、さいたま市、新潟県等は児相が里親のほうに近づいてきている。重なるところが増えている。
- ・児相と里親は協働とうたっているものの、実際には協働ではない。主導権はやはり児相。
- ・里親は児相とのつながりが一番強い。フレンドシップの気持ちで、フィフティーフィフティーでやっていきたい。連携が大切。
- ・1年ごとに必要な「自立支援計画」をきちんと提出してくれる児相もあるが、請求しなければ出してこない児相もある。
- ・児相には「行政処分」があるから、フレンドシップにはなりえない。客観性を持たせる仕組みが必要。
- ・児相について、どんな仕事をしていて、どことつながっているのか、どう里親や里子に接し、行動しているのか全貌が見えない。透明性がもっとあってもいい。
- ・児相のケースワーカーの担当がすぐ変わるのは問題。
- ・児相はケースワーカーによって、方針が違っているところも問題。
- ・方針が変わったときは本来ならばケース会議があるはずのところ、行われていないところもある。
- ・実親と里親の間を児相が取り持って、意見の食い違いが生じている。里親と実親を会わせないというところが問題かもしれない。

<再統合後の里子とのつながりについて>

- ・再統合したあと、家族がどこかにつながって、誰かが継続的に支援しているという様子は見られない。何かのシステムが必要。再統合したあとも、数年はその家族に寄り添うシステムが必要。
- ・再統合した場合は、児相だけではなく基礎自治体と学校、子ども会、少年団等が弱い家庭を守っていけるようにしないといけないと思う。また実親がしんどくなったとき、一時的に里親に預かってもらうようにするといいいのではないかと思う。
- ・実親は地域のつながりが薄いので、再統合してもうまくいかないケースもあると思う。いろいろな人が実親をサポートする体制が地域で必要。
- ・里親家庭に実親が面会にやってきて、一緒に夕食を食べる等、子どもと一緒に親の面倒も見ることがあってもいいかなと思う。実親次第だが。
- ・子どもの日常を伝えられるのは現状、里親だけ。子どもの状況を里親や児相だけでなく、地域でも基礎自治体でもいいから、複数の目で子どもの将来を考える連携が必要。実親

のところに戻ったときに連携できる教育機関や基礎自治体等も含めて、相談できるようにしたい。

- 一度関わった里親と里子が切れずにつながっていることが、子どもにとって大人を信頼できることにつながるのでは？
- 里親は里子の歴史の一部を知っている人物。里子が小さかった場合には、里親宅にいたころのエピソードを伝え、記憶をつなげてあげることができる。前に進むためには過去が必要。「あなたはこんなに頑張った。こんなにかわいかった。こんな遊びをしていた」等、実親の元に帰すなら、それも伝えてあげたい。
- 高齢児委託が増えているため、地域の絡みが必要。
- 措置解除となった後も地域で見守るシステム（情報共有、子ども食堂）が必要。モデルとなる大人が親だけでなく、他の大人もいたほうがいい。

<その他>

- 里子が自立したら、行政から里子に、実親の生活を保障してほしいという話があるらしい。そんなときに、里親に力になってもらえますかという話があるケースがあると聞いた。

5.6 機関6

5.6.1 機関の概要（2019年3月31日時点）

機関の種類	児童相談所
支援している里親世帯数	55世帯
委託を受けている世帯数	22世帯
未委託世帯数	33世帯
問題があつて委託を受けられない世帯数	9世帯
問題はないが、里親側の事情で委託を受けていない世帯数	14世帯

5.6.2 各機関の家族再統合支援に関する体制や関係機関との連携について

- ・専任の親子支援担当は3名。常勤は児童心理司で心理班の所属。里親担当は、常勤2名、非常勤特別職1名（班長と上司と動くこともある）。※再統合支援の中心は親子支援担当である。
- ・里親に対する支援は同地域にある児童養護施設と乳児院が里親支援機能を自治体から委託を受けて担当している。里親支援、普及活動を行い、児相と一緒に里親をサポートする体制を取っている。
- ・月1回、児相の里親担当と支援センターで連絡会を開催。里親家庭の里親と子どもの状況について情報共有を行っている。
- ・月1回、児相で「里親推進委員会」を開催。里親の情報共有、最近の委託状況、一時保護等具体的にどう支援していくか、困っているケースに対し、どこがどう支援するのか（支援の役割分担、里子候補はどこに委託するか、委託の際はどんなサポートが必要か等）を検討。ベテラン里親による里親相談員3名および里親会の会長、当該市町村の子ども家庭課も出席している。
- ・里親支援の中心になっているのは施設にある支援センターという機能。同センターはフォスタリング機関の位置づけではなく、自治体が古くから行っている里親サポートの役割を担い、児相と連携している。
同センターはフォスタリング機関の位置づけではなく、自治体が古くから行っている里親サポートの役割を担い、児相と連携している。
- ・里親相談員には里親経験の立場から意見をいただいている。
- ・自立支援計画の作成は、初回のみ児相が作成。2回目以降、作り変えるときは必ず里親宅に家庭訪問して、意見をいただきながら、話し合いながら作る。その際に実親の最新情報も共有していく。
- ・子どもの幼稚園、小学校入学のタイミングに、「ネットワークミーティング」を教育施

設内で行う。里親を応援する意味も含めて新しい所属と新しいカンファレンスをして入園・入学をしてもらうにしている。里親、里親相談員、支援センターの職員も出席し、「皆で子どもをサポートしましょう」と学校等に伝える。

- ・家族再統合となったときは、主に児童福祉司と親子支援で進めて、里親担当は里親の気持ちの揺れをサポートしている。
- ・里親委託率を上げるには、里親には家庭に帰る前提の子の養育をお願いすることになる。いまはやんわりとした役割分担だが、今後はしっかり決めていかななくてはならないと思う。いまはケースが少ないので、仕組みを作っていく方がいい。
- ・里親には、家族再統合の子どもを引き受けていくという意識が低い人もいる。今後は養育里親増やしていくことが必要。
- ・里親が負担にならないようなサポートを充実させていかなければ、里親をやってもいいという人は増えないと思う。

5.6.3 家族再統合支援の効果があつた事例について

- ・里母が病気で体調不良のため、やむを得ず措置解除となった。子どもは当時小1だった。親子面会をずっとしていたので、ちょっと子どもを帰してみてもどうかかと里親からの提案で始まった再統合だった。実父は精神疾患歴あり、うつ気味。実母は手帳を持っていないが軽度の知的障害がある。子どもが生まれたと同時に育てる自信がないと訴え、乳児院へ預けた。その後、里親委託となった。子どもは生まれてから一度も自宅に帰ったことがなかったが、小学1年から2年になるタイミングで家庭復帰。親子支援と里親、里親担当、ケースワーカーとチームで再統合に取り組んだ。実親は毎週のように面会に来ていて、子どもへの思いは途切れなかった。自宅の環境は荷物が多い、片付かない、衛生面が不安等の問題があり、当初はすぐには家庭復帰をすすめられないと考えていたが、実母の子どもに対する愛情は確かなものだったので、「家庭復帰はできないことはない」との判断に至った。実母は里母をかなり頼っていて、よく相談にのってもらっていた。里親と実親の交流は安心だと認められた場合のみ許可している。通常は面会のときから会わせないことになっている。
- ・実母から養育が途中で負担になり、子どもがみられないと申し出があつたケース。母はまじめな性格で、生まれた子に対し、ヒステリックになってしまうことがあつたという。施設でなく、最初から里親にお願いしたいと申し出があつた。実親は実子がいる再婚同士。それぞれの子どもたちは独立している。現在、里親が児相に子どもを連れてきて、ケースワーカーが仲介し、実親と面会交流をしている。子どもは最初、実親の前で硬直し、里親のところに帰りたいと泣いていたという。親子支援担当は「本当にいま帰しても大丈夫か」と検討している。ケースワーカーはできるだけ早く帰したいと思い、実父も早く引き取りたいと思っている一方、実母は慎重に関係をきちんと作ってから引き取りたいと準備をしている段階。

- ・ファミリーホームはベテランの方でハード面もある方でないと運営できない。一方、面会がしやすく、経験豊富な人が運営しているため、社会的養護について理解してもらいやすいので、再統合には向いている。
- ・里親は再統合の際、胸にぽっかり穴があくという喪失体験をする。里親ではあるが子どもとは本当の親子のように過ごすのだから当然のこと。施設の職員とはぜんぜん違う体験をするからこそ、そこをケアできないと里親を育成していくのは難しい。
- ・支援センターでは里親のケアという点でも力になってくれる。家族再統合後も、児相は里親宅に通って、いい形で子どもを帰しても「さみしいですよ」と寄り添う。また、里親体験が話し合える場所（里親サロン、里親会主催の会等）を用意している。

5.6.4 家族再統合支援における課題について

- ・再統合後のケアがすごく必要と感じる。里親のロスもあるが、帰ったあとの子どもは新しい養育者に対しての試し行動が絶対にある。ただでさえ、養育力のあまりない実親がそれにどう対応できるのか、そこのケアが必要だと思う。児相だけだとやりきれるかどうか。他の関係機関も巻き込んでいかなければならない。
- ・フォスタリング機関ができれば、里親へのアフターケアが充実する。それで里親の成功体験やすごく意義のある経験だったこと等を伝えていく機会があれば、里親も増えていくと思う。里親も子どもを帰した喪失感だけではなく、多くの人に認めてもらう機会が必要でプラスの経験にもなる。現状では里親はつらいばかりなので、「さみしい。次の子来ないかな」と感じるような寂しい体験で終わらせてはいけない。
- ・里親に対する期待が2018年度から高まっている。施設が少ないため、里親には無理だとは思いつつも、お願いしなければならないことが増えている。うまく行かず里親から子どもが離れていく体験ばかりが大きいと里親の数も増えない。またそのような状況だと、里親から家庭に帰っていくのも難しいと思う。
- ・里親の言うことには、とても重みがある。「家庭復帰はまだ無理」、「こうしたほうがいい」という里親の言葉に、児相は耳を傾ける必要がある。子どもも実親と里親の間に挟まってつらい思いをすることがないようにしたい。児相では実親からの主張や話を聞いた上で、子どもの安全はどちらなのかを精査している。
 - ・2回目以降の自立支援計画には里親の意見を取り入れるようにしている。内容は子どもの日々の成長の様子を中心となっている。親子面会を実施しているのだが、実親のドタキャンが増えた場合、子どもの不安を代弁し「もっと来てほしい」等の意見をいただく。また、交流の中で、実母が里親に頼りすぎだと感じている場合、「児相が間に入って、距離を保って関係を取れるようにしてほしい」等の要望をいただくこともある。
- ・児相がひとつしかないため、里親確保が急務となっている。2018年度から養育里親と養子縁組里親のダブル登録を始めた理由としては、一人目は縁組で、二人目を養育里親として受託したいという方もいるので、そこを少し狙っているところもある。

5.7 機関7

5.7.1 機関の概要（2019年3月31日時点）

機関の種類	乳児院、里親支援機関
支援している里親世帯数	115世帯
委託を受けている世帯数	71世帯
未委託世帯数	44世帯

5.7.2 各機関の家族再統合支援に関する体制や関係機関との連携について

- ・家族再統合の専門職員はいない。正職員3人と事務職員が1人。
- ・所在都道府県から委託され、全体の統括的な役割を担う。大きな事業としては里親制度の普及促進事業、強化事業、里親委託推進事業を行う。
- ・スタッフは全員、近隣の乳児院の出身者。乳児院とも連携している。面会交流の場には家庭的な雰囲気のある事務所を提供。

5.7.3 家族再統合支援の効果があつた事例について

- ・両親が離婚。母親が親権を持っていたが、育てられず子どもを乳児院に入所させた。その後、実父が再婚し、引き取り希望となり、親権が移動。実父は子どもが小さいときに面会に何回か来たただけだった。まったく子どもとつながらず空白の長い時間があることに問題を感じたので、丁寧に再統合につなげていくためにまずは里親委託に踏み切った。面会は子どもを中心に行う必要があるため、里親支援機関が間に入って、何回か実施した。現在は児相での面会期を終え、外出という段階に入っている。この先どう進めていこうかと児相と意見交換している。乳児院が間に入ることで、子どもが赤ちゃんだったときのことも実親に伝えることができ、その役割の大きさを実感できた。
- ・子どもは現在5歳。今後、養育上のことで実親は里親に聞きたいことが出てくると思うので、これから交流はあるかもしれない。実父の新しい妻（養母）にとっても、さまざま思いや不安を感じることもあるかと察し、児相が単独で養母との面談の機会を3回設けた。

5.7.4 家族再統合支援における課題について

- ・短期間でも1年は養育して、帰している里親がいる。その後、子どもはどうしているのか等の心配はあると思う。里親支援機関が里親の気持ちを軽くするだけではどうなのかと思う。子どものその後の様子がわかって、伝えられる場合は児相が伝えてくれるはず。支援機関が何かするというよりは、同じ経験した里親同士が話を聞いてあげたらいいのではと思う。「こういうことで悩んでいるからサロンやろうよ」と実際に会を開催している。そういったサロンや支援機関、児相等色々な人が、里親をフォローして

いければいいと思う。

- 再統合で子どもが帰った後の家族の支援がかなり重要。実親はどこか「平気、大丈夫」と思っているところがある。子どもと過ごしていない空白の時間があるのに。一方、里親は登録の際、すごく勉強しているし、マッチングも丁寧に行っている。委託期間中、里親が子どもとどんな生活をしてきたか等を実親にもきちんと伝えて、新しい生活につなげてあげる必要がある。実親が子どもを引き取った後、里親なら「試し行動が出る」とわかっているけれど、実親にはそういうことはわからない。そういうことをしっかり関係者が実親に伝えてあげているのだろうか。そこをきちんとしていかないと、帰ったあとの子どもが荒れるとか、実親も「こんなはずじゃなかった」とギャップを感じることもあるかもしれない。
- 里親に委託された子どもは別れを何回も経験している子が多い。それがどういうことなのか、里親は勉強する機会があるが、実親は勉強する機会がない。
- 里親に委託するときは、施設でその子どもが習得していることは、里親には理解できないことがあるかもしれない。例えば乳児院から里親委託になったとき、子どもははじめ、一人の大人にずっと見られるのは慣れていないことも。「この人は安心」と思うのに時間がかかるかもしれない。最初は窮屈に感じることもあると思う。施設、里親間の生活のギャップも現実にはある。
- 実親のフォローは児相のケースワーカーが担当することになる。フォロー体制は必要だと声高に言いたい。再統合後もしばらくは定期的に家庭訪問するので、「引き取ります」でぶつっと切れることはないはず。
- 今後の課題は子どもの育ちをつなげるというところに力点をおいて丁寧に進めるということ。ケースによっては児相のカンファレンスに参加させてもらえることもあり、ありがたいと感じる。再統合は児相だけで進めるのではなく、多くの人を取り込んでやっていくべきだと思う。

5.8 機関 8

5.8.1 機関の概要（2019年3月31日時点）

機関の種類	児童養護施設
支援している里親世帯数	55世帯
委託を受けている世帯数	22世帯
未委託世帯数	33世帯
問題があつて委託を受けられない世帯数	9世帯
問題はないが、里親側の事情で委託を受けていない世帯数	14世帯

5.8.2 各機関の家族再統合支援に関する体制や関係機関との連携について

- ・里親養育担当は常勤2人。専門職で、社会福祉士1人、保育士1人。
- ・児相には専任の里親担当2人。ほか非常勤1人がいて、常に一緒にやっている。情報共有のため、月に1回ミーティングを行い、家庭訪問等、役割分担しながら常に連携している。
- ・里親会とも連携している。同施設が里親会の事務局で、賛助会員となっている。運営は里親会なので、サポート的な役割を担っている。

5.8.3 家族再統合支援の効果があつた事例について

- ・家族再統合支援はまだ始まったばかりで成功事例はない。同地域にはフォスタリング機関がないので、できた暁には再統合支援が主流になってくると思う。

5.8.4 家族再統合支援における課題について

- ・施設の場合、定期的に面会にやってくる実親が多い。家庭専門相談員が間に入って再統合支援を始め、面会の次はステップアップして、外出、外泊、家庭引き取りになっている。おそらく里親もそうなるのだと思うが、施設でやっていることが里親家庭でできるのだろうかと感じることもある。里親の家では、面会交流は難しいので、施設の部屋を貸さねばならない等の課題が出てきそう。
- ・里親の家庭からの家庭復帰となると、実親との面会が必須となる。その際、里親の支援は施設の里親担当ができる。だが、子どもと実親の支援は誰がするのかという問題が生じてくる。子どもと実親の支援は、児相のケースワーカーが担当するのが望ましい。だが、担当ケースワーカーは、まず子どもと関係を作らないと面会に立ち会えない。それがケースワーカーにできればいいのだが。
- ・施設の里親担当の役割は、里親が実親の元に子どもを帰すときの不安や帰したあとの喪

失感のケアに重きを置いている。子どもはケースワーカーが見て行かないと、と思う。里親委託から家庭復帰を目指すならば、実親との面会にもケースワーカーが立ち会うことが必須。その際は子どもに負担を掛けないように配慮してもらいたい。

- 当施設は、児童養護施設が100%、乳児院が95%埋まっている。本来なら数ヶ月後に家庭復帰する場合は施設入所が望ましい。里親委託の場合は、実親のサポートが難しいと思う。施設ならば実親を支援しながら、子どもとの関わりを見ながら帰していくことができる。里親委託の場合は、おそらく子どもが慣れていない、施設以外の場所での面会になるはず。そうすると時間もかかるし、関係も作りづらいのではないかと思う。
- 施設だと一人が担当するのではなく、チームでかかれる。一方、里親委託の場合は、里母が中心になって負担になるのではと思う。施設だと急な面会日時の変更にも対応できるが、里親の場合、対応は難しいのではないか。
- 再統合が進まないのは保護者側の理由が大きい。障害のある子は家庭引き取りが進みにくい。障害に対する受け止めができないため、施設に任せきりになり、面会も滞ってしまっているのが現状。
- 子どもが家庭復帰したあと、地域にある子育て支援センターと児相がもっと連携すればいいと思う。全部児相が面倒を見るのではなく、子どもを引き取った家庭にとっては、子育て支援センター等とのほうが連携もしやすいと思うのだが、いまのところ連携している感じはない。
- 子どもを帰すときのカンファレンスでは、実親と地域とをつなげてあげるのが大切。保育園等とネットワークを作って、地域で見守る体制を作って帰すといいと思う。
- 施設では家庭に帰すときに保育園をつけて帰すことがよくある。一日一緒にお母さんが疲れちゃう。保育園が決まったところで、家庭に帰すことはよくある。ただ、保育園は家庭の中にまで介入できないので、それぞれの地域にいる主任児童委員が見守りをする等、連携すれば細かいところまで見守ってもらえるかもしれない。ケースによっては家庭に入ってお母さんと話すこともできるので、ちゃんとネットワークをつないでいけるといいと思う。
- 精神科に通う子どもが増えている。里親は専門的なスキルを身につけて子どもと関わるが必要になってくると思う。里親会が主催する研修は年に3~5回はある。ところが、里親は興味のある分野の研修だけしか受けないのが現状。いまの研修体制では、専門的なスキルを学ぶには不十分なのではないかと思う。これからは精神疾患を抱えた子どもを受け入れることが多くなるので、里親の対応力が問われる。養育里親は養子縁組里親とは違う。それぞれ意識の差がある。養育里親はスキルをあげていくのが大切。フォスターリングチェンジプログラムも必要。精神疾患を持つ子どもに対応できる里親を育てていかないと、不調になって施設に戻る子どもが増えてしまう。

第6章 資料

6.1 検討委員会の概要

6.1.1 メンバー

委員(五十音順)		
一般社団法人埼玉県里親会 理事長	石井 敦	
大正大学 客員教授	犬塚 峰子	
大阪府 池田子ども家庭センター 育成支援課 総括主査	川中 梨津子	
明星大学 人文学部 福祉実践学科 常勤教授	川松 亮	※座長
NPO 法人キーアセット オペレーションマネージャー	吉川 昭代	
関東学院大学 社会学部 現代社会学科 教授	澁谷 昌史	
東京都 立川児童相談所 所長	鈴木 香奈子	
児童養護施設 報恩母の家 施設長	花田 悦子	
善友乳児院 施設長	松尾 みさき	
事務局		
厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課		
株式会社政策基礎研究所		

6.1.2 各回の概要

	日時	議事概要
第1回	令和元年9月30日(月) 15:00~17:00	<ul style="list-style-type: none">・本調査研究の概要について・アンケート調査の設計について・ヒアリング調査対象の候補について
第2回	令和元年10月30日(水) 15:00~17:30	<ul style="list-style-type: none">・調査全体のスケジュールについて・アンケート調査について・ヒアリング調査について
第3回	令和2年2月5日(水) 18:00~20:00	<ul style="list-style-type: none">・調査結果(速報版)の報告・調査結果に関する論点について・報告書について
第4回	令和2年3月11日(水) 16:00~19:00	<ul style="list-style-type: none">・報告書素案について

6.2 アンケート調査票

6.2.1 児童相談所票

(次ページ以降を参照)

里親養育における親子関係調整及び家族再統合支援のあり方に関する調査研究

児童相談所票



自治体名（「〇〇県（市）」まで記入）（※必須回答）	
児童養育相談所名（「〇〇児童相談所」まで記入）（※必須回答）	
ご担当者名	
電話番号	
メールアドレス	

1. 管轄地域の概要についてお答えください。（2019年3月31日時点あるいは一番近い時点）

1-1. 人口	人
1-2. 児童数	人

2. 里親専任の児童福祉司を配置していますか？（2019年3月31日時点）

2-1. 1.配置している / 2.配置して いない	
2-2. (2-1で「1.配置している」場合) 里親専任の児童福祉司の数	
2-2-1. 常勤	人
2-2-2. 非常勤	人

3. 施設入所措置児童数・里親等委託児童数についてお答えください。
(2019年3月31日時点での福祉行政報告例の件数をお答えください。)

3-1. 里親委託児童数	
3-1-1. 養育里親	人
3-1-2. 専門里親	人
3-1-3. 養子縁組里親	人

	3-1-4. 親族里親		人
	3-2. ファミリーホーム委託児童数		人
	3-3. 乳児院入所児童数		人
	3-4. 児童養護施設入所児童数		人
<p>4. 貴児童相談所にて相談を受け付けた後、養育里親あるいは専門里親への委託となった児童（措置変更により里親委託となったケースを含む）のうち、2018年度下半期（2018年10月～2019年3月）に、里親委託措置解除（措置変更を除く）となった児童数についてお答えください。</p>			

<p>5. 管内の、里親や関係機関の数についてお答えください。（2019年3月31日時点）</p>			
5-1. 里親登録世帯数			
5-1-1.	総数（※親族里親も含める。また、重複して登録しているケースは、1と数える。）		世帯
5-1-2.	養育里親（※同一世帯で「専門里親」と重複登録している場合（夫が専門里親、妻が養育里親など）は計上しない。）		世帯
5-1-3.	専門里親（※同一世帯で「養育里親」と重複登録している場合（夫が専門里親、妻が養育里親など）も計上する。）		世帯
5-1-4.	養子縁組里親		世帯
5-2. 委託を受けている里親の世帯数			
5-2-1.	総数（※親族里親も含める。また、重複して登録しているケースは、1と数える。）		世帯
5-2-2.	養育里親（※専門里親の世帯に養育里親としての委託のみであった場合は、「専門里親」として計上する。）		世帯

<p>5-2-3. 専門里親（※専門里親の世帯に養育里親としての委託のみであったとしても計上する。）</p> <p>世帯</p>	<p>5-2-4. 養子縁組里親</p> <p>世帯</p>
<p>5-3. ファミリーホームの数</p> <p>箇所</p>	
<p>5-4. 里親支援機関の数 （※貴自治体において委託契約を締結している機関に限る）</p>	
<p>5-4-1. 貴児童相談所を担当する里親支援機関はありますか？ （1.ある / 2.ない）</p>	<p>箇所</p>
<p>5-4-2. (5-4-1で「1.ある」の場合) この里親支援機関は（貴児童相談所を含め）いくつの児童相談所を担当していますか？</p>	<p>箇所</p>
<p>5-5. 5-4の里親支援機関は、貴自治体において民間フォースタリング機関に位置づけられているでしょうか？ （1.はい / 2.いいえ）</p>	
<p>5-6. 乳児院の数</p>	
<p>5-6-1. 総数</p>	<p>箇所</p>
<p>5-6-2. うち、里親支援専門相談員を配置している施設数</p>	<p>箇所</p>
<p>5-7. 児童養護施設の数</p>	
<p>5-7-1. 総数</p>	<p>箇所</p>
<p>5-7-2. うち、里親支援専門相談員を配置している施設数</p>	<p>箇所</p>

6. 貴児童相談所にて相談受付を行った里親委託ケース（措置変更により里親委託となったケースを含む）における家族再統合支援に対する、各機関の関わりについてお答えください。（2018年度の年間）
 （※乳児院、児童養護施設、里親会は、里親支援機関事業を受託していない機関に限る。また、管外の機関による関わりが必要なケースがあった場合には、その機関も対象とする）

6-1. 家族再統合支援に関わっている機関についてお答えください（当てはまるものすべてに○）。

6-1-1. 里親支援機関	
6-1-2. 里親会	
6-1-3. 乳児院	
6-1-4. 児童養護施設	
6-1-5. その他の機関	

6-2. 「6-1-5. その他の機関」の名称（自由記述）

--

6-3. 各機関において、実施している支援の内容についてお答えください。（※⑦、⑧のみ、各機関と児童相談所との間で、どの程度実施しているかをお答えください）

※以下①～⑥の支援の実施について、以下の4つの選択肢のうち、当てはまるもの一つを選択

1. 全く行っていない 2. 一部のケースで行っている 3. 全ケースで行っている 4. わからない

	児童相談所	里親支援機関	里親会	乳児院 （※当該施設から措置変更となったケース以外への支援も含む）	児童養護施設 （※当該施設から措置変更となったケース以外への支援も含む）	その他の機関
①家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント						
②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する						
③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする						
③-2 里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をする						
④-1 子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援（例：プレイセラピー、心理面接、SSI、等）						
④-2 実親に対する家族再統合支援についての直接的支援（例：親子関係改善を意図した関わり、養育指導、親グループ等を家庭訪問、面接、電話等で実施）						
④-3 里親に対する家族再統合支援についての直接的支援（例：親子面会の際の子どもの送迎、親子面会に里親が同席する際の関係機関による同席、親子の外出による交流を里親が支援する際の関係機関による支援）						
④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援（例：親子面接、親子活動を家庭訪問、面接、電話等で実施）						
④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援						
④-6 実親・子どもでの外出による交流						

	7-1-5. 子どもが実親の元に帰るための準備が整っていない	
	7-1-6. 実親と子どもとの交流がうまくいかない	
	7-1-7. 実親と里親との交流がうまくいかない	
	7-1-8. 児童相談所以外の関係機関がない (少ない)	
	7-1-9. 児童相談所や関係機関と、子ども/実親/里親とのやり取りがうまくいかない	
	7-1-10. 児童相談所と関係機関との連携ができていない	
	7-1-11. その他	
	7-1-12. 不明	
	7-2. 「7-1-9. 児童相談所や関係機関と、子どもへのやり取りがうまくいかない」の具体的な内容 (自由記述)	
	7-3. 「7-1-10. 児童相談所と関係機関との連携ができていない」の具体的な内容 (自由記述)	
	7-4. 「7-1-11. その他」の具体的な内容 (自由記述)	

以上で質問は終了です。
ご協力ありがとうございました。

6.2.2 ケース票

(次ページ以降を参照)

里親養育における親子関係調整及び家族再統合支援のあり方に関する調査研究

ケース票

数字や文字を直接記入する設問
単数回答の設問
複数回答の設問

本調査票の対象：
貴児童相談所にて相談を受け付けた後、養育里親あるいは専門里親への委託となったケース（措置変更により里親委託となったケースを含む）のうち、以下の1～2のいずれかに該当するケースについてお答えください。
1. 2018年度下半期（2018年10月～2019年3月）に里親委託措置解除（措置変更を除く）となったケース
2. 2018年度末（2019年3月31日）時点で里親委託が継続しているケース
※該当するケースが複数ある場合は、ファイルをコピーしてお使いください（同一ファイル内でのシート追加は絶対にはいりません、ようお願い申し上げます）。

貴自治体名（「〇〇県（市）」まで記入） （※必須回答）	
貴児童相談所名（「〇〇児童相談所」まで記入） （※必須回答）	
ケース識別番号 （※必須回答） ※貴児童相談所で、各ケースに通し番号を割り振った名簿を作成していただいた上で、その番号をご記入ください。	

1. 本ケース全体の概要についてお答えください。

1-1. 今回の委託措置の開始年月日についてお答えください。	年	
	月	
	日	
1-2. <u>2019年3月31日</u> 時点で、里親委託措置解除/継続のいずれになりますでしょうか。 （当てはまるもの一つ選択）		
1-3. (1-2で「1.措置解除」の場合) 委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（＝委託解除を具体的に見越してプログラム等を行うことを決めた時点）の年月日についてお答えください。	年	
	月	
	日	
	年	
	月	
	日	
1-4. (1-2で「1.措置解除」の場合) 措置解除年月日についてお答えください。		
1-5. (1-2で「1.措置解除」の場合) 措置解除後の状況についてお答えください。（当てはまるもの一つ選択）		
1-6. 1-5で「3.その他」の具体的な内容（自由記述）		
1-7. 里親委託開始時点における、家族再統合に関する目標についてお答えください。（当てはまるもの一つ選択）		

		<p>1-8. 措置解除の判断に至った援助方針の決定時点（＝同上）（※「措置継続」の場合は2019年3月31日時点）における、家族再統合に関する目標についてお答えください。（当てはまるもの一つ選択）</p>
<p>2. 子どもについてお答えください。</p>		
<p>2-1. 性別（当てはまるもの一つ選択）</p>		
<p>2-2. 年齢（委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（＝同上）（※「措置継続」の場合は2019年3月31日時点））</p>		<p>歳</p>
<p>2-3. 以下の項目について、里親委託開始時点での状況をお答えください。</p>		
	<p>2-3-1. 子どもに障害の診断もしくは疑いがある</p>	
	<p>2-3-2. 子どもに非行（盗み、喫煙、飲酒、暴力、その他刑法や特別法に触れる行為）歴がある</p>	
	<p>2-3-3. 子どもが実親との交流に不安を抱いている</p>	
<p>3. 実親についてお答えください。</p>		
<p>3-1. 以下の項目について、里親委託開始時点での状況をお答えください。</p>		
	<p>3-1-1. 実親の里親委託に対する同意</p>	
	<p>3-1-2. 実親が子どもを引き取ることを希望している</p>	
	<p>3-1-3. 実親の経済上の問題</p>	
	<p>3-1-4. 実親に障害の診断もしくは疑いがある</p>	
	<p>3-1-5. 実親が過去に有罪判決を受けたことがある</p>	
	<p>3-1-6. 実親におけるDVの問題</p>	
<p>3-2. 児童福祉法第27条第1項第2号の規定による措置が採られましたか？</p>		
<p>3-3. （「措置解除」かつ「自立」となったケースのみ）措置解除の時点で、当てはまるもの全てに○をつけてください。</p>		
	<p>3-3-1. 実親が親権停止となっている</p>	
	<p>3-3-2. 実親が親権喪失となっている</p>	
	<p>3-3-3. 実親への接近禁止命令が出ている</p>	
	<p>3-3-4. 実親が死亡もしくは失踪宣告を受けている</p>	
	<p>3-3-5. 実親への連絡がつかない</p>	
<p>4. 里親についてお答えください。</p>		
<p>4-1. 以下の項目について、里親委託開始時点での状況をお答えください。</p>		
	<p>4-1-1. 里親が、今回の里親委託とは別に、もともと養子縁組を希望している</p>	

		4-1-2. 里親が子どもを実親の元に帰すことに同意している	
		4-1-3. 里親が子どもと実親との交流に同意している	

5. 本ケースにおける、里親委託開始時点～委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（＝同上）（※「措置継続」の場合は里親委託開始時点～2019年3月31日時点）の間の、実親との面会等の交流についてお答えください。

5-1. 実親と面会・外出・外泊の交流がありましたか？		
5-2. 実親と子どもが、電話やSNS等で直接連絡を取ることがありましたか？		
5-3. (5-1で「1.交流あり」の場合) 面会・外出・外泊の回数（直近の一年間）		回/年
5-4. (5-1で「1.交流あり」の場合) 「交流あり」の理由として、当てはまる主なものを3つまでお答えください。		
5-5. 5-4で「11.その他」の具体的な内容（自由記述）		
5-6. (5-1で「2.交流なし」の場合) 「交流なし」の理由として、当てはまる主なものを3つまでお答えください。		
5-7. 5-6で「16.その他」の具体的な内容（自由記述）		

6. 本ケースに対する、里親委託開始時点～委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（＝同上）（※「措置継続」の場合は里親委託開始時点～2019年3月31日時点）の間の、各機関による家族再統合支援についてお答えください。

<支援内容の例>

- ・家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント
- ・自立支援計画の中に位置つけた家族再統合支援に関する実施計画の策定
- ・子ども/実親/里親に対する家族再統合支援のプランの説明
- ・子ども/実親/里親に対する直接的支援
- ・実親・子どもでの外出による交流/帰宅外泊
- ・家族再統合支援に関する実施計画の評価・見直し
- ・児童相談所と他機関との間での定期的情報交換・共有/家庭復帰に向けたアセスメント
- ・子ども/実親/里親への家庭復帰後の支援の準備
- ・要保護児童対策協議会との情報共有 等

6-1. 本ケースに対する家族再統合支援に関わった機関（当てはまるものすべてに○）	6-1-1. 児童相談所	
	6-1-2. 里親支援機関	
	6-1-3. 里親会	
	6-1-4. 乳児院	
	6-1-5. 児童養護施設	
	6-1-6. その他の機関	
6-2. 「6-1-6.その他の機関」の名称（自由記述）		

6-3. (6-1)で「6-1-1. 児童相談所」以外にも○をつけた場合) 児童相談所以外で、本ケースに対する家族再統合支援に最も多く関わった機関 (当てはまるもの一つ選択)		

7. 本ケースにおける自立支援計画の作成についての、里親の意向についてお答えください。		
7-1. 本ケースにおける自立支援計画の作成に、里親の意向が反映されましたか？(当てはまるもの一つ選択)		
7-2. 里親の意向を確認する方法についてお答えください。(当てはまるものすべてに○)	7-2-1. 口頭で意向を確認する	
	7-2-2. 自立支援計画の書類を里親と児童福祉司が共に作成する	
	7-2-3. 自立支援計画について検討する児童相談所の会議に、里親が出席する	
	7-2-4. その他	
7-3. 「7-2-4. その他」の具体的な内容(自由記述)		

以上で質問は終了です。
ご協力ありがとうございました。

6.2.3 事例票

※ここでは、事例票 A の調査票を掲載している。事例票 B・C の調査票は、「本調査票の対象」の内容以外は、事例票 A と同様である。

(次ページ以降を参照)

里親養育における親子関係調整及び家族再統合支援のあり方に関する調査研究

事例票 (委託開始時点A⇒援助方針の決定時点A)

数字や文字を直接記入する設問
単数回答の設問
複数回答の設問

本調査票の対象：

「ケース票」において、里親委託開始時点での目標（ケース票設問1-7）がA、委託解除の判断に至った援助方針の決定時点での目標（ケース票設問1-8）がAとなったケースのうち、代表的な1ケースについて、お答えください。

自治体名（「〇〇県（市）」まで記入）（※必須回答）	
貴児童相談所名（「〇〇児童相談所」まで記入）（※必須回答）	
ケース識別番号（※必須回答） ※ケース票と同じ番号をご記入ください。	

1. ケース全体についてお答えください。

1-1. 児童相談所で相談を受け付け付けた際の主訴についてお答えください。	
1-1-1. 主訴として当てはまるもの一つ選んでください。	
1-1-2. 主訴の詳細についてお答えください。（自由記述） <記述例> 近隣から子どもたちの泣き声および大人の怒鳴り声があると虐待通告を受け、母親は精神的に不安定となっており、子どもに対して養育困難な状況。	
1-2. 里親委託開始時点における、実親の親権停止についてお答えください。	
1-3. 里親委託開始時点における、実親の親権喪失についてお答えください。	
1-4. 里親委託開始時点における、実親への接近禁止命令についてお答えください。	
1-5. 今回の里親委託措置を決めた理由についてお答えください。（自由記述） <記述例> 母親の精神的不安定および養育上の問題が大きく、在宅での指導が困難なため。	
1-6. 今回の里親委託措置以前の状況についてお答えください。 （当てはまるもの一つ選択）	
1-7. それぞれの時点で、家庭復帰が望めそうであったか、についてお答えください。	
1-7-1. 里親委託開始時点（当てはまるもの一つ選択）	
1-7-2. 委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（＝委託解除を具体的に申請してプログラム等を行うことを決めた時点）（当てはまるもの一つ選択）	

1-8. それぞれの時点で、実親に対し、里親に関するどのような情報を伝えていたか、についてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

1-8-1. 里親委託開始時点	1-8-1-1. 住所		
	1-8-1-2. これまでの里親としての受託状況		
	1-8-1-3. 家族構成		
	1-8-1-4. 就業状況		
	1-8-1-5. 家の種類		
	1-8-1-6. その他		
	1-8-1-7. 不明		
	1-8-1-8. 何も伝えていなかった		
	1-8-2. 「1-8-1-6. その他」の具体的な内容（自由記述）		
	1-8-3. 委託解除の判断に至った理由等の決定時点（＝同上）		
1-8-3. 委託解除の判断に至った理由等の決定時点（＝同上）	1-8-3-1. 住所		
	1-8-3-2. 当該児童を含めた受託状況		
	1-8-3-3. 家族構成		
	1-8-3-4. 就業状況		
	1-8-3-5. 家の種類		
	1-8-3-6. その他		
	1-8-3-7. 不明		
	1-8-3-8. 何も伝えていなかった		
1-8-4. 「1-8-3-6. その他」の具体的な内容（自由記述）			

1-9. それぞれの時点で、里親に実親のことを伝えていたか、についてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

1-9-1. 里親委託開始時点	1-9-1-1. 住所	
	1-9-1-2. 実親の養育状況	
	1-9-1-3. 家族構成	
	1-9-1-4. その他	
	1-9-1-5. 不明	
	1-9-1-6. 何も伝えていなかった	
1-9-2. 「1-9-1-4. その他」の具体的な内容（自由記述）		

1-9-3. 委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（＝ <u>同上</u> ）	
1-9-3-1. 住所	
1-9-3-2. 実親の養育状況	
1-9-3-3. 家族構成	
1-9-3-4. その他	
1-9-3-5. 不明	
1-9-3-6. 何も伝えていなかった	
1-9-4. 「1-9-3.4. その他」の具体的な内容（自由記述）	
1-10. 里親委託開始時点～委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（＝ <u>同上</u> ）の間の、実親と子どもとの面会についてお答えください。	
1-10-1. 面会した回数（直近の一年間）	回/年
1-10-2. 面会した場所（当てはまるものすべてに○）	
1-10-2-1. 児童相談所	
1-10-2-2. 里親支援機関	
1-10-2-3. 里親の家	
1-10-2-4. 実親の家	
1-10-2-5. その他	
1-10-3. 「1-10-2.5. その他」の具体的な内容（自由記述）	
1-11. 里親委託開始時点～委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（＝ <u>同上</u> ）の間に、実親が里親と面会した回数（直近の一年間）についてお答えください。	回/年
1-12. 措置解除時点における、児童相談所の提示した家庭復帰プログラムなどの程度達成されたか、についてお答えください。（当てはまるものを一つ選択）	

2. 措置解除時点における、子どもの状況についてお答えください。	
2-1. 所属（当てはまるものを一つ選択）	
2-2. 障害の有無	
2-2-1. 身体障害（当てはまるものを一つ選択）	
2-2-2. 知的障害（当てはまるものを一つ選択）	
2-2-3. 精神障害（当てはまるものを一つ選択）	
2-2-4. LD、ADHD、ASD（当てはまるものを一つ選択）	
2-2-5. 愛着障害（当てはまるものを一つ選択）	

2-3. 非行の有無（当てはまるものすべてに○）	
2-3-1. 盗み	
2-3-2. 喫煙	
2-3-3. 飲酒	
2-3-4. 暴力	
2-3-5. その他刑法や特別法に触れる行為	
2-4. 「2-3-5. その他刑法や特別法に触れる行為」の具体的な内容（自由記述）	

3. 措置解除時点における、実親の状況についてお答えください。	
3-1. 父親	
3-1-1. 年齢	歳
3-1-2. 障害の有無	
3-1-2-1. 身体障害（当てはまるものを一つ選択）	
3-1-2-2. 知的障害（当てはまるものを一つ選択）	
3-1-2-3. 精神障害（当てはまるものを一つ選択）	
3-1-3. 過去に有罪判決を受けたことがあるか（当てはまるものを一つ選択）	
3-2. 母親	
3-2-1. 年齢	歳
3-2-2. 障害の有無	
3-2-2-1. 身体障害（当てはまるものを一つ選択）	
3-2-2-2. 知的障害（当てはまるものを一つ選択）	
3-2-2-3. 精神障害（当てはまるものを一つ選択）	
3-2-3. 過去に有罪判決を受けたことがあるか（当てはまるものを一つ選択）	
3-3. 児童福祉法第56条に基づく階層区分（当てはまるものを一つ選択）	
3-4. 子どもを引き取ることを希望していたか（当てはまるものを一つ選択）	

4. 措置解除時点における、里親の状況についてお答えください。	
4-1. 年齢	
4-1-1. 里父	歳
4-1-2. 里母	歳

4-2. 親子の数		
4-2-1. 総数		人
4-2-2. 同居している人数		人
4-3. 他の委託児童の数		人
4-4. 子どもを実親の元に帰すことに同意していたか (当てはまるものを一つ選択)		
4-5. 子どもと実親との交流に同意していたか (当てはまるものを一つ選択)		
4-6. 援助方針の決定に参加していたか (当てはまるものを一つ選択)		

5. 本ケースに対し、各機関において実施していた家族再統合支援の内容についてお答えください。

児童相談所	里親支援機関	里親会	乳幼児 (※当該施設から措置変更となったケース以外への支援も含む)	児童養護施設 (※当該施設から措置変更となったケース以外への支援も含む)	その他の機関	里親
5-1. 里親委託開始時点～委託解除の判断に至った援助方針の決定時点 (= 回上) の間において、各機関で実施していた支援の内容で、以下①～⑧について当てはまるものをそれぞれ一つ選択してください。(※⑦、⑧のみ、各機関と児童相談所との間で実施しているかをお答えください)						
① 家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント						
② 自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する						
③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする						
③-2 里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をする						
④-1 子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援 (例：プレイセラピー、心理面接、SST、等)						
④-2 実親に対する家族再統合支援についての直接的支援 (例：親子関係改善を意識した関わり、養育指導、親グループ等を家庭訪問、面接、電話等で実施)						
④-3 里親に対する家族再統合支援についての直接的支援 (例：親子面会の際の子どもの送迎、親子面会に里親が同席する際の関係機関による同席、親子の外出による交流を里親が支援する際の関係機関による支援)						
④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援 (例：親子面接、親子活動を家庭訪問、面接、電話等で実施)						
④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援						
④-6 実親・子どもでの外出による交流						
⑤ 実親・子どもでの帰宅外出						
⑥ 自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する実施計画の評価・見直し						
⑦ 児童相談所以外の機関との定期的情報交換・共有 (家庭復帰に向けた評価) (※各機関との間で実施しているかをお答えください)						
⑧ 児童相談所以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議 (※各機関との間で実施しているかをお答えください)						

5-2. 委託解除の判断に至った援助方針の法定時点（＝回上）～措置解除時点の間において、各機関で実施していた支援の内容で、以下⑨～⑩について当てはまるものをそれぞれ一つ選択してください。

児童相談所	里親支援機関	里親会	乳児院 (※当該施設から措置変更となったケース以外への支援も含む)	児童養護施設 (※当該施設から措置変更となったケース以外への支援も含む)	その他の機関	里親
⑨-1子ども・実親への家庭復帰後の支援の準備 (例)： ※子どもへの支援：相談できる人、場所の確保、心理療法等の継続。 ※親等への支援：退所後の相談関係の確立、ペアレント・トレーニング、書面により復帰後に守るべき事項の確認。 ※親子等への支援：親子の気持ちの調整し、遊べる場、時間の確保、地域の支援機関と連携。 ⑨-2里親への家庭復帰後の支援の準備(例)：措置解除に向けた里親の気持ちの整理、など) ⑩要保護児童対策協議会との情報共有						

6. 本ケースに対する、委託解除の判断に至った援助方針の法定時点（＝回上）～措置解除時点の間における以下5つの支援について、実施していた支援の一月あたりの回数（実施していたすべての機関における総回数）を記入してください。

6-1. 子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援(例)：プレイセラピー、心理面接、SST、等)		回/月
6-2. 実親に対する家族再統合支援についての直接的支援(例)：親子関係改善を意識した関わり、養育指導、親グループ等を家庭訪問、面接等で実施)		回/月
6-3. 里親に対する家族再統合支援についての直接的支援(例)：親子面会の際の子どもの送迎、親子面会に里親が同席する際の関係機関による同席、親子の外出による交流を里親が支援する際の関係機関による支援)		回/月
6-4. 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援(例)：親子面接、親子活動等を家庭訪問、面接等で実施)		回/月
6-5. 里親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援		回/月

7. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を対象とする支援プログラムを実施していますか？

児童相談所	里親支援機関	里親会	乳児院 (※当該施設から措置変更となったケース以外への支援も含む)	児童養護施設 (※当該施設から措置変更となったケース以外への支援も含む)	その他の機関
7-1. 1.実施している/2.実施していない/3.不明 (各機関ごとに当てはまるもの一つ選択)					
7-2. 「7-1. 1.実施している」場合のプログラムの名称(自由記述) (例)「ライフストーリーワーク(生い立ちの整理)」、「ペアレントプログラム」等。独自のプログラム等がある場合もご記載ください)					

8. 本ケースに対する家族再統合支援において工夫した点や、効果があった理由についてお答えください。(自由記述)

8-1. 家族再統合支援において工夫した点 (自由記述)	
8-2. 家族再統合支援の効果があった理由として考えられること (自由記述)	

以上で質問は終了です。
ご協力ありがとうございました。

6.3 アンケート調査の設問別記述統計

6.3.1 児童相談所票

(次ページ以降を参照)

1-1. 管轄地域の人口 (2019年3月31日時点)

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
1-1. 管轄地域の人口 (2019年3月31日時点)	53539	2716400	592053.19	403691.288

1-2. 管轄地域の児童数 (2019年3月31日時点)

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
1-2. 管轄地域の児童数 (2019年3月31日時点)	5654	387056	89955.31	62161.552

2-1. 里親専任の児童福祉司を配置していますか？

度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	33.3	33.3	33.3
2. 配置していない	66.7	66.7	100.0
合計	100.0	100.0	

2-2-1. 里親専任の児童福祉司数_常勤

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
2-2-1. 里親専任の児童福祉 司数_常勤	0	6	1.49	1.121

2-2-2. 里親専任の児童福祉司数_非常勤

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
2-2-2. 里親専任の児童福祉 司数_非常勤	0	7	.56	1.307

3-1-1. 里親委託児童数_養育里親

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
3-1-1. 里親委託児童数_養 育里親	1	155	21.17	20.527

3-1-2. 里親委託児童数_専門里親

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
3-1-2. 里親委託児童数_専 門里親	0	14	1.34	1.953

3-1-3. 里親委託児童数_養子縁組里親

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
3-1-3. 里親委託児童数_養 子縁組里親	0	85	2.52	7.962

3-1-4. 里親委託児童数_親族里親

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
3-1-4. 里親委託児童数_親 族里親	0	29	3.54	4.811

3-2. ファミリーホーム委託児童数

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
3-2. ファミリーホーム委託 児童数	0	87	7.99	12.280

3-3. 乳児院入所児童数

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
3-3. 乳児院入所児童数	0	163	12.73	17.634

3-4. 児童養護施設入所児童数

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
3-4. 児童養護施設入所児童 数	8	810	121.20	110.031

4. 貴児童相談所にて相談を受け付けた後、養育里親あるいは専門里親への委託となった児童となった児童数についてお答えください。

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
4. 貴児童相談所にて相談 を受け付けた後、養育里親 あるいは専門里親への委託 となった児童となった児童 数についてお答えください。	0	19	2.71	3.041

5-1-1. 里親登録世帯数_総数

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-1-1. 里親登録世帯数_総 数	2	227	60.81	42.736

5-1-2. 里親登録世帯数_養育里親

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-1-2. 里親登録世帯数_養育里親	123	163	47.35	34.684

5-1-3. 里親登録世帯数_専門里親

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-1-3. 里親登録世帯数_専門里親	123	0	3.46	3.388

5-1-4. 里親登録世帯数_養子縁組里親

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-1-4. 里親登録世帯数_養子縁組里親	123	0	19.63	18.588

5-2-1. 里親委託世帯数_総数

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-2-1. 里親委託世帯数_総数	123	1	21.62	16.688

5-2-2. 里親委託世帯数_養育里親

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-2-2. 里親委託世帯数_養育里親	123	0	16.32	13.667

5-2-3. 里親委託世帯数_専門里親

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-2-3. 里親委託世帯数_専門里親	122	0	1.61	1.956

5-2-4. 里親委託世帯数_養子縁組里親

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-2-4. 里親委託世帯数_養子縁組里親	123	0	2.11	3.562

5-3. ファミリーホームの数

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-3. ファミリーホームの数	122	0	2.00	2.826

5-4-1. 貴児童相談所を担当する里親支援機関はありますか？

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. ある	60	48.8	49.2	49.2
2. ない	62	50.4	50.8	100.0
合計	122	99.2	100.0	
欠損値	1	.8		
合計	123	100.0		

5-4-2. (5-4-1で「1.ある」の場合) この里親支援機関は(貴児童相談所を含め)いくつの児童相談所を担当していますか？

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-4-2. (5-4-1で「1.ある」の場合) この里親支援機関は(貴児童相談所を含め)いくつの児童相談所を担当していますか？	59	1	10	3.07
				2.266

5-5. 5-4の里親支援機関は、貴自治体において民間フォスターリング機関に位置づけられているでしょうか？

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. はい	24	40.0	40.0	40.0
2. いいえ	36	60.0	60.0	100.0
合計	60	100.0	100.0	

5-6-1. 乳児院_総数

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-6-1. 乳児院_総数	122	0	.84	.823

5-6-2. 乳児院_うち、里親支援専門相談員を配置している施設数

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-6-2. 乳児院_うち、里親支援専門相談員を配置している施設数	112	0	.75	.811

5-7-1. 児童養護施設_総数

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-7-1. 児童養護施設_総数	123	0	18	3.34
				3.213

5-7-2. 児童養護施設うち、里親支援専門相談員を配置している施設数

施設数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
121	0	13	2.12	2.560

6-1-1. 家族再統合支援への関わりの有無_里親支援機関

度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効			
非該当	90	73.2	73.2
該当	33	26.8	100.0
合計	123	100.0	100.0

6-1-2. 家族再統合支援への関わりの有無_里親会

度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効			
非該当	110	89.4	89.4
該当	13	10.6	100.0
合計	123	100.0	100.0

6-1-3. 家族再統合支援への関わりの有無_乳児院

度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効			
非該当	62	50.4	50.4
該当	61	49.6	100.0
合計	123	100.0	100.0

6-1-4. 家族再統合支援への関わりの有無_児童養護施設

度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効			
非該当	63	51.2	51.2
該当	60	48.8	100.0
合計	123	100.0	100.0

6-1-5. 家族再統合支援への関わりの有無_その他の機関

度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効			
非該当	84	68.3	68.3
該当	39	31.7	100.0
合計	123	100.0	100.0

6-3. 支援の内容①家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント
_児童相談所

度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効			
1.全く行っていない	2	1.6	1.7
2.一部のケースで行っている	26	21.1	22.0
3.全ケースで行っている	90	73.2	76.3
合計	118	95.9	100.0
欠損値	5	4.1	
合計	123	100.0	

6-3. 支援の内容①家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント
_里親支援機関

度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効			
1.全く行っていない	33	26.8	49.3
2.一部のケースで行っている	20	16.3	29.9
3.全ケースで行っている	1	.8	1.5
4.わからぬ	13	10.6	19.4
合計	67	54.5	100.0
欠損値	56	45.5	
合計	123	100.0	

6-3. 支援の内容①家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント
_里親会

度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効			
1.全く行っていない	74	60.2	89.2
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.2
4.わからぬ	8	6.5	9.6
合計	83	67.5	100.0
欠損値	40	32.5	
合計	123	100.0	

6-3. 支援の内容①家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント
_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	33	26.8	38.4	38.4
2.一部のケースで行っている	29	23.6	33.7	72.1
3.全ケースで行っている	9	7.3	10.5	82.6
4.わからない	15	12.2	17.4	100.0
合計	86	69.9	100.0	
欠損値	37	30.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容①家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント
_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	35	28.5	41.7	41.7
2.一部のケースで行っている	27	22.0	32.1	73.8
3.全ケースで行っている	9	7.3	10.7	84.5
4.わからない	13	10.6	15.5	100.0
合計	84	68.3	100.0	
欠損値	39	31.7		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容①家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント
_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	30	24.4	47.6	47.6
2.一部のケースで行っている	13	10.6	20.6	68.3
4.わからない	20	16.3	31.7	100.0
合計	63	51.2	100.0	
欠損値	60	48.8		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容①家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント
_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	52	42.3	59.8	59.8
2.一部のケースで行っている	25	20.3	28.7	88.5
3.全ケースで行っている	2	1.6	2.3	90.8
4.わからない	8	6.5	9.2	100.0
合計	87	70.7	100.0	
欠損値	36	29.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画
を策定する_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	5	4.1	4.2	4.2
2.一部のケースで行っている	55	44.7	46.6	50.8
3.全ケースで行っている	58	47.2	49.2	100.0
合計	118	95.9	100.0	
欠損値	5	4.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画
を策定する_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	50	40.7	71.4	71.4
2.一部のケースで行っている	6	4.9	8.6	80.0
4.わからない	14	11.4	20.0	100.0
合計	70	56.9	100.0	
欠損値	53	43.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	75	61.0	90.4	90.4
1.全く行っていない	1	.8	1.2	91.6
2.一部のケースで行っている	7	5.7	8.4	100.0
3.全ケースで行っている	83	67.5	100.0	
4.わからない	40	32.5		
合計	123	100.0		
欠損値				
システム欠損値				
合計				

6-3. 支援の内容_②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	51	41.5	58.0	58.0
1.全く行っていない	15	12.2	17.0	75.0
2.一部のケースで行っている	6	4.9	6.8	81.8
3.全ケースで行っている	16	13.0	18.2	100.0
4.わからない	88	71.5	100.0	
合計	35	28.5		
欠損値	123	100.0		
システム欠損値				
合計				

6-3. 支援の内容_②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	51	41.5	57.3	57.3
1.全く行っていない	17	13.8	19.1	76.4
2.一部のケースで行っている	6	4.9	6.7	83.1
3.全ケースで行っている	15	12.2	16.9	100.0
4.わからない	89	72.4	100.0	
合計	34	27.6		
欠損値	123	100.0		
システム欠損値				
合計				

6-3. 支援の内容_②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	44	35.8	66.7	66.7
1.全く行っていない	3	2.4	4.5	71.2
2.一部のケースで行っている	19	15.4	28.8	100.0
3.全ケースで行っている	66	53.7	100.0	
4.わからない	57	46.3		
合計	123	100.0		
欠損値				
システム欠損値				
合計				

6-3. 支援の内容_②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	58	47.2	67.4	67.4
1.全く行っていない	20	16.3	23.3	90.7
2.一部のケースで行っている	2	1.6	2.3	93.0
3.全ケースで行っている	6	4.9	7.0	100.0
4.わからない	86	69.9	100.0	
合計	37	30.1		
欠損値	123	100.0		
システム欠損値				
合計				

6-3. 支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	5	4.1	4.2	4.2
1.全く行っていない	62	50.4	52.5	56.8
2.一部のケースで行っている	50	40.7	42.4	99.2
3.全ケースで行っている	1	.8	.8	100.0
4.わからない	118	95.9	100.0	
合計	5	4.1		
欠損値	123	100.0		
システム欠損値				
合計				

6-3. 支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの
説明をする_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	50	40.7	71.4	71.4
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	8	6.5	11.4	82.9
4.わからない	12	9.8	17.1	100.0
合計	70	56.9	100.0	
欠損値	53	43.1		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの
説明をする_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	76	61.8	91.6	91.6
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.2	92.8
4.わからない	6	4.9	7.2	100.0
合計	83	67.5	100.0	
欠損値	40	32.5		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの
説明をする_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	55	44.7	61.8	61.8
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	19	15.4	21.3	83.1
3.全ケースで行っている	1	.8	1.1	84.3
4.わからない	14	11.4	15.7	100.0
合計	89	72.4	100.0	
欠損値	34	27.6		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの
説明をする_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	59	48.0	65.6	65.6
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	17	13.8	18.9	84.4
3.全ケースで行っている	1	.8	1.1	85.6
4.わからない	13	10.6	14.4	100.0
合計	90	73.2	100.0	
欠損値	33	26.8		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの
説明をする_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	43	35.0	67.2	67.2
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	4	3.3	6.3	73.4
4.わからない	17	13.8	26.6	100.0
合計	64	52.0	100.0	
欠損値	59	48.0		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの
説明をする_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	56	45.5	65.9	65.9
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	23	18.7	27.1	92.9
4.わからない	6	4.9	7.1	100.0
合計	85	69.1	100.0	
欠損値	38	30.9		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-2里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をす
る_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	4	3.3	3.4	3.4
2.一部のケースで行っている	64	52.0	54.2	57.6
3.全ケースで行っている	50	40.7	42.4	100.0
合計	118	95.9	100.0	
欠損値	5	4.1		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-2里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をす
る_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	44	35.8	62.9	62.9
2.一部のケースで行っている	12	9.8	17.1	80.0
3.全ケースで行っている	1	.8	1.4	81.4
4.わからない	13	10.6	18.6	100.0
合計	70	56.9	100.0	
欠損値	53	43.1		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-2里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をす
る_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	76	61.8	91.6	91.6
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.2	92.8
4.わからない	6	4.9	7.2	100.0
合計	83	67.5	100.0	
欠損値	40	32.5		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-2里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をす
る_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	59	48.0	66.3	66.3
2.一部のケースで行っている	17	13.8	19.1	85.4
4.わからない	13	10.6	14.6	100.0
合計	89	72.4	100.0	
欠損値	34	27.6		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-2里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をす
る_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	61	49.6	67.8	67.8
2.一部のケースで行っている	17	13.8	18.9	86.7
4.わからない	12	9.8	13.3	100.0
合計	90	73.2	100.0	
欠損値	33	26.8		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_③-2里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をす
る_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	49	39.8	74.2	74.2
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.5	75.8
4.わからない	16	13.0	24.2	100.0
合計	66	53.7	100.0	
欠損値	57	46.3		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-1子ども単独に対する家族再統合支援についての直接
的支援_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	11	8.9	9.3	9.3
2.一部のケースで行っている	87	70.7	73.7	83.1
3.全ケースで行っている	18	14.6	15.3	98.3
4.わからない	2	1.6	1.7	100.0
合計	118	95.9	100.0	
欠損値	5	4.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-1子ども単独に対する家族再統合支援についての直接
的支援_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	47	38.2	69.1	69.1
2.一部のケースで行っている	9	7.3	13.2	82.4
4.わからない	12	9.8	17.6	100.0
合計	68	55.3	100.0	
欠損値	55	44.7		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-1子ども単独に対する家族再統合支援についての直接
的支援_親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	76	61.8	91.6	91.6
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.2	92.8
4.わからない	6	4.9	7.2	100.0
合計	83	67.5	100.0	
欠損値	40	32.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-1子ども単独に対する家族再統合支援についての直接
的支援_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	49	39.8	55.7	55.7
2.一部のケースで行っている	25	20.3	28.4	84.1
3.全ケースで行っている	1	.8	1.1	85.2
4.わからない	13	10.6	14.8	100.0
合計	88	71.5	100.0	
欠損値	35	28.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-1子ども単独に対する家族再統合支援についての直接
的支援_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	51	41.5	58.0	58.0
2.一部のケースで行っている	23	18.7	26.1	84.1
3.全ケースで行っている	1	.8	1.1	85.2
4.わからない	13	10.6	14.8	100.0
合計	88	71.5	100.0	
欠損値	35	28.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-1子ども単独に対する家族再統合支援についての直接
的支援_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	47	38.2	73.4	73.4
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.6	75.0
4.わからない	16	13.0	25.0	100.0
合計	64	52.0	100.0	
欠損値	59	48.0		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-1子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	65	52.8	76.5	76.5
2.一部のケースで行っている	11	8.9	12.9	89.4
4.わからない	9	7.3	10.6	100.0
合計	85	69.1	100.0	
欠損値	38	30.9		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	6	4.9	5.1	5.1
2.一部のケースで行っている	72	58.5	61.0	66.1
3.全ケースで行っている	40	32.5	33.9	100.0
合計	118	95.9	100.0	
欠損値	5	4.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	46	37.4	67.6	67.6
2.一部のケースで行っている	10	8.1	14.7	82.4
3.全ケースで行っている	1	.8	1.5	83.8
4.わからない	11	8.9	16.2	100.0
合計	68	55.3	100.0	
欠損値	55	44.7		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	76	61.8	91.6	91.6
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.2	92.8
4.わからない	6	4.9	7.2	100.0
合計	83	67.5	100.0	
欠損値	40	32.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	43	35.0	49.4	49.4
2.一部のケースで行っている	27	22.0	31.0	80.5
3.全ケースで行っている	3	2.4	3.4	83.9
4.わからない	14	11.4	16.1	100.0
合計	87	70.7	100.0	
欠損値	36	29.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	49	39.8	56.3	56.3
2.一部のケースで行っている	23	18.7	26.4	82.8
3.全ケースで行っている	2	1.6	2.3	85.1
4.わからない	13	10.6	14.9	100.0
合計	87	70.7	100.0	
欠損値	36	29.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-2 実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	32	26.0	50.0	50.0
2.一部のケースで行っている	14	11.4	21.9	71.9
4.わからぬ	18	14.6	28.1	100.0
合計	64	52.0	100.0	
欠損値	59	48.0		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-2 実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	53	43.1	59.6	59.6
2.一部のケースで行っている	28	22.8	31.5	91.0
3.全ケースで行っている	1	.8	1.1	92.1
4.わからぬ	7	5.7	7.9	100.0
合計	89	72.4	100.0	
欠損値	34	27.6		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-3 里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	10	8.1	8.5	8.5
2.一部のケースで行っている	82	66.7	69.5	78.0
3.全ケースで行っている	25	20.3	21.2	99.2
4.わからぬ	1	.8	.8	100.0
合計	118	95.9	100.0	
欠損値	5	4.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-3 里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	35	28.5	52.2	52.2
2.一部のケースで行っている	17	13.8	25.4	77.6
3.全ケースで行っている	2	1.6	3.0	80.6
4.わからぬ	13	10.6	19.4	100.0
合計	67	54.5	100.0	
欠損値	56	45.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-3 里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	73	59.3	88.0	88.0
2.一部のケースで行っている	2	1.6	2.4	90.4
4.わからぬ	8	6.5	9.6	100.0
合計	83	67.5	100.0	
欠損値	40	32.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-3 里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	41	33.3	47.7	47.7
2.一部のケースで行っている	28	22.8	32.6	80.2
4.わからぬ	17	13.8	19.8	100.0
合計	86	69.9	100.0	
欠損値	37	30.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-3 里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	45	36.6	52.9	52.9
2.一部のケースで行っている	26	21.1	30.6	83.5
4.わからない	14	11.4	16.5	100.0
合計	85	69.1	100.0	
欠損値	38	30.9		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-3 里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	40	32.5	61.5	61.5
2.一部のケースで行っている	7	5.7	10.8	72.3
4.わからない	18	14.6	27.7	100.0
合計	65	52.8	100.0	
欠損値	58	47.2		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	6	4.9	5.1	5.1
2.一部のケースで行っている	81	65.9	68.6	73.7
3.全ケースで行っている	30	24.4	25.4	99.2
4.わからない	1	.8	.8	100.0
合計	118	95.9	100.0	
欠損値	5	4.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	44	35.8	63.8	63.8
2.一部のケースで行っている	10	8.1	14.5	78.3
4.わからない	15	12.2	21.7	100.0
合計	69	56.1	100.0	
欠損値	54	43.9		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	74	60.2	90.2	90.2
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.2	91.5
4.わからない	7	5.7	8.5	100.0
合計	82	66.7	100.0	
欠損値	41	33.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	41	33.3	47.7	47.7
2.一部のケースで行っている	26	21.1	30.2	77.9
3.全ケースで行っている	4	3.3	4.7	82.6
4.わからない	15	12.2	17.4	100.0
合計	86	69.9	100.0	
欠損値	37	30.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	46	37.4	52.3	52.3
1.全く行っていない	24	19.5	27.3	79.5
2.一部のケースで行っている	4	3.3	4.5	84.1
3.全ケースで行っている	14	11.4	15.9	100.0
4.わからない	88	71.5	100.0	
合計	35	28.5		
欠損値	123	100.0		
合計				

6-3. 支援の内容_④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	40	32.5	61.5	61.5
1.全く行っていない	7	5.7	10.8	72.3
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.5	73.8
3.全ケースで行っている	17	13.8	26.2	100.0
4.わからない	65	52.8	100.0	
合計	58	47.2		
欠損値	123	100.0		
合計				

6-3. 支援の内容_④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	50	40.7	56.8	56.8
1.全く行っていない	33	26.8	37.5	94.3
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.1	95.5
3.全ケースで行っている	4	3.3	4.5	100.0
4.わからない	88	71.5	100.0	
合計	35	28.5		
欠損値	123	100.0		
合計				

6-3. 支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	34	27.6	29.1	29.1
1.全く行っていない	65	52.8	55.6	84.6
2.一部のケースで行っている	17	13.8	14.5	99.1
3.全ケースで行っている	1	.8	.9	100.0
4.わからない	117	95.1	100.0	
合計	6	4.9		
欠損値	123	100.0		
合計				

6-3. 支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	45	36.6	66.2	66.2
1.全く行っていない	9	7.3	13.2	79.4
2.一部のケースで行っている	14	11.4	20.6	100.0
3.全ケースで行っている	68	55.3	100.0	
4.わからない	55	44.7		
合計	123	100.0		
欠損値				
合計				

6-3. 支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	74	60.2	89.2	89.2
1.全く行っていない	1	.8	1.2	90.4
2.一部のケースで行っている	8	6.5	9.6	100.0
3.全ケースで行っている	83	67.5	100.0	
4.わからない	40	32.5		
合計	123	100.0		
欠損値				
合計				

6-3. 支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合
支援についての直接的支援_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	53	43.1	61.6	61.6
2.一部のケースで行っている	19	15.4	22.1	83.7
4.わからない	14	11.4	16.3	100.0
合計	86	69.9	100.0	
欠損値	37	30.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合
支援についての直接的支援_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	57	46.3	65.5	65.5
2.一部のケースで行っている	16	13.0	18.4	83.9
4.わからない	14	11.4	16.1	100.0
合計	87	70.7	100.0	
欠損値	36	29.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合
支援についての直接的支援_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	48	39.0	73.8	73.8
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.5	75.4
4.わからない	16	13.0	24.6	100.0
合計	65	52.8	100.0	
欠損値	58	47.2		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	9	7.3	7.6	7.6
2.一部のケースで行っている	92	74.8	78.0	85.6
3.全ケースで行っている	17	13.8	14.4	100.0
合計	118	95.9	100.0	
欠損値	5	4.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	42	34.1	61.8	61.8
2.一部のケースで行っている	13	10.6	19.1	80.9
4.わからない	13	10.6	19.1	100.0
合計	68	55.3	100.0	
欠損値	55	44.7		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	74	60.2	89.2	89.2
2.一部のケースで行っている	2	1.6	2.4	91.6
4.わからない	7	5.7	8.4	100.0
合計	83	67.5	100.0	
欠損値	40	32.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_乳児院

	有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1.全く行っていない	50	40.7	58.1	58.1	58.1
2.一部のケースで行っている	21	17.1	24.4	82.6	82.6
3.全ケースで行っている	3	2.4	3.5	86.0	86.0
4.わからない	12	9.8	14.0	100.0	100.0
合計	86	69.9	100.0		
欠損値	37	30.1			
合計	123	100.0			

6-3. 支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_児童養護施設

	有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1.全く行っていない	53	43.1	60.2	60.2	60.2
2.一部のケースで行っている	22	17.9	25.0	85.2	85.2
3.全ケースで行っている	3	2.4	3.4	88.6	88.6
4.わからない	10	8.1	11.4	100.0	100.0
合計	88	71.5	100.0		
欠損値	35	28.5			
合計	123	100.0			

6-3. 支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_その他の機関

	有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1.全く行っていない	44	35.8	67.7	67.7	67.7
2.一部のケースで行っている	6	4.9	9.2	76.9	76.9
4.わからない	15	12.2	23.1	100.0	100.0
合計	65	52.8	100.0		
欠損値	58	47.2			
合計	123	100.0			

6-3. 支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_里親

	有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1.全く行っていない	27	22.0	31.0	31.0	31.0
2.一部のケースで行っている	56	45.5	64.4	95.4	95.4
3.全ケースで行っている	1	.8	1.1	96.6	96.6
4.わからない	3	2.4	3.4	100.0	100.0
合計	87	70.7	100.0		
欠損値	36	29.3			
合計	123	100.0			

6-3. 支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_児童相談所

	有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1.全く行っていない	15	12.2	12.8	12.8	12.8
2.一部のケースで行っている	87	70.7	74.4	87.2	87.2
3.全ケースで行っている	15	12.2	12.8	100.0	100.0
合計	117	95.1	100.0		
欠損値	6	4.9			
合計	123	100.0			

6-3. 支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_里親支援機関

	有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1.全く行っていない	44	35.8	64.7	64.7	64.7
2.一部のケースで行っている	13	10.6	19.1	83.8	83.8
4.わからない	11	8.9	16.2	100.0	100.0
合計	68	55.3	100.0		
欠損値	55	44.7			
合計	123	100.0			

6-3. 支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	74	60.2	89.2	89.2
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	2	1.6	2.4	91.6
4.わからない	7	5.7	8.4	100.0
合計	83	67.5	100.0	
欠損値	40	32.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	49	39.8	57.0	57.0
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	20	16.3	23.3	80.2
3.全ケースで行っている	3	2.4	3.5	83.7
4.わからない	14	11.4	16.3	100.0
合計	86	69.9	100.0	
欠損値	37	30.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	55	44.7	62.5	62.5
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	18	14.6	20.5	83.0
3.全ケースで行っている	3	2.4	3.4	86.4
4.わからない	12	9.8	13.6	100.0
合計	88	71.5	100.0	
欠損値	35	28.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	44	35.8	66.7	66.7
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	6	4.9	9.1	75.8
3.全ケースで行っている	1	.8	1.5	77.3
4.わからない	15	12.2	22.7	100.0
合計	66	53.7	100.0	
欠損値	57	46.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	32	26.0	37.2	37.2
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	50	40.7	58.1	95.3
3.全ケースで行っている	1	.8	1.2	96.5
4.わからない	3	2.4	3.5	100.0
合計	86	69.9	100.0	
欠損値	37	30.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑥ 自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する実施計画の評価_見直し_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	6	4.9	5.1	5.1
1.全く行っていない				
2.一部のケースで行っている	63	51.2	53.8	59.0
3.全ケースで行っている	46	37.4	39.3	98.3
4.わからない	2	1.6	1.7	100.0
合計	117	95.1	100.0	
欠損値	6	4.9		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する
実施計画の評価・見直し_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	46	37.4	65.7	65.7
2.一部のケースで行っている	8	6.5	11.4	77.1
3.全ケースで行っている	1	.8	1.4	78.6
4.わからない	15	12.2	21.4	100.0
合計	70	56.9	100.0	
欠損値	53	43.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する
実施計画の評価・見直し_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	75	61.0	90.4	90.4
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.2	91.6
4.わからない	7	5.7	8.4	100.0
合計	83	67.5	100.0	
欠損値	40	32.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する
実施計画の評価・見直し_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	48	39.0	53.9	53.9
2.一部のケースで行っている	21	17.1	23.6	77.5
3.全ケースで行っている	6	4.9	6.7	84.3
4.わからない	14	11.4	15.7	100.0
合計	89	72.4	100.0	
欠損値	34	27.6		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する
実施計画の評価・見直し_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	51	41.5	57.3	57.3
2.一部のケースで行っている	19	15.4	21.3	78.7
3.全ケースで行っている	6	4.9	6.7	85.4
4.わからない	13	10.6	14.6	100.0
合計	89	72.4	100.0	
欠損値	34	27.6		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する
実施計画の評価・見直し_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	48	39.0	72.7	72.7
2.一部のケースで行っている	2	1.6	3.0	75.8
4.わからない	16	13.0	24.2	100.0
合計	66	53.7	100.0	
欠損値	57	46.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する
実施計画の評価・見直し_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	46	37.4	52.9	52.9
2.一部のケースで行っている	34	27.6	39.1	92.0
3.全ケースで行っている	1	.8	1.1	93.1
4.わからない	6	4.9	6.9	100.0
合計	87	70.7	100.0	
欠損値	36	29.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑦の児童相談所以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭
復帰に向けた評価）_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	38	30.9	56.7	56.7
2.一部のケースで行っている	9	7.3	13.4	70.1
3.全ケースで行っている	6	4.9	9.0	79.1
4.わからない	14	11.4	20.9	100.0
合計	67	54.5	100.0	
欠損値	56	45.5		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑦の児童相談所以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭
復帰に向けた評価）_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	77	62.6	90.6	90.6
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.2	91.8
4.わからない	7	5.7	8.2	100.0
合計	85	69.1	100.0	
欠損値	38	30.9		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑦の児童相談所以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭
復帰に向けた評価）_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	40	32.5	44.9	44.9
2.一部のケースで行っている	21	17.1	23.6	68.5
3.全ケースで行っている	11	8.9	12.4	80.9
4.わからない	17	13.8	19.1	100.0
合計	89	72.4	100.0	
欠損値	34	27.6		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑦の児童相談所以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭
復帰に向けた評価）_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	44	35.8	49.4	49.4
2.一部のケースで行っている	21	17.1	23.6	73.0
3.全ケースで行っている	8	6.5	9.0	82.0
4.わからない	16	13.0	18.0	100.0
合計	89	72.4	100.0	
欠損値	34	27.6		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑦の児童相談所以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭
復帰に向けた評価）_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	34	27.6	51.5	51.5
2.一部のケースで行っている	15	12.2	22.7	74.2
3.全ケースで行っている	1	.8	1.5	75.8
4.わからない	16	13.0	24.2	100.0
合計	66	53.7	100.0	
欠損値	57	46.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑦の児童相談所以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭
復帰に向けた評価）_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	42	34.1	48.3	48.3
2.一部のケースで行っている	28	22.8	32.2	80.5
3.全ケースで行っている	7	5.7	8.0	88.5
4.わからない	10	8.1	11.5	100.0
合計	87	70.7	100.0	
欠損値	36	29.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容⑥_⑩児童相談所以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	39	31.7	58.2	58.2
1.全く行っていない	6	4.9	9.0	67.2
2.一部のケースで行っている	6	4.9	9.0	76.1
3.全ケースで行っている	16	13.0	23.9	100.0
4.わからない	67	54.5	100.0	
合計	56	45.5		
欠損値	123	100.0		
合計				

6-3. 支援の内容⑥_⑩児童相談所以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	74	60.2	88.1	88.1
1.全く行っていない	1	.8	1.2	89.3
2.一部のケースで行っている	9	7.3	10.7	100.0
3.全ケースで行っている	84	68.3	100.0	
4.わからない	39	31.7		
合計	123	100.0		
欠損値				
合計				

6-3. 支援の内容⑥_⑩児童相談所以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	37	30.1	41.1	41.1
1.全く行っていない	20	16.3	22.2	63.3
2.一部のケースで行っている	11	8.9	12.2	75.6
3.全ケースで行っている	22	17.9	24.4	100.0
4.わからない	90	73.2	100.0	
合計	33	26.8		
欠損値	123	100.0		
合計				

6-3. 支援の内容⑥_⑩児童相談所以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	40	32.5	45.5	45.5
1.全く行っていない	19	15.4	21.6	67.0
2.一部のケースで行っている	8	6.5	9.1	76.1
3.全ケースで行っている	21	17.1	23.9	100.0
4.わからない	88	71.5	100.0	
合計	35	28.5		
欠損値	123	100.0		
合計				

6-3. 支援の内容⑥_⑩児童相談所以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	34	27.6	53.1	53.1
1.全く行っていない	6	4.9	9.4	62.5
2.一部のケースで行っている	4	3.3	6.3	68.8
3.全ケースで行っている	20	16.3	31.3	100.0
4.わからない	64	52.0	100.0	
合計	59	48.0		
欠損値	123	100.0		
合計				

6-3. 支援の内容⑥_⑩児童相談所以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	45	36.6	52.3	52.3
1.全く行っていない	23	18.7	26.7	79.1
2.一部のケースで行っている	5	4.1	5.8	84.9
3.全ケースで行っている	13	10.6	15.1	100.0
4.わからない	86	69.9	100.0	
合計	37	30.1		
欠損値	123	100.0		
合計				

6-3. 支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭復帰後の支援の準備_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	11	8.9	9.3	9.3
2.一部のケースで行っている	58	47.2	49.2	58.5
3.全ケースで行っている	48	39.0	40.7	99.2
4.わからない	1	.8	.8	100.0
合計	118	95.9	100.0	
欠損値	5	4.1		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭復帰後の支援の準備_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	42	34.1	63.6	63.6
2.一部のケースで行っている	8	6.5	12.1	75.8
4.わからない	16	13.0	24.2	100.0
合計	66	53.7	100.0	
欠損値	57	46.3		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭復帰後の支援の準備_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	72	58.5	87.8	87.8
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.2	89.0
4.わからない	9	7.3	11.0	100.0
合計	82	66.7	100.0	
欠損値	41	33.3		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭復帰後の支援の準備_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	38	30.9	44.7	44.7
2.一部のケースで行っている	29	23.6	34.1	78.8
3.全ケースで行っている	4	3.3	4.7	83.5
4.わからない	14	11.4	16.5	100.0
合計	85	69.1	100.0	
欠損値	38	30.9		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭復帰後の支援の準備_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	41	33.3	48.2	48.2
2.一部のケースで行っている	26	21.1	30.6	78.8
3.全ケースで行っている	5	4.1	5.9	84.7
4.わからない	13	10.6	15.3	100.0
合計	85	69.1	100.0	
欠損値	38	30.9		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭復帰後の支援の準備_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	26	21.1	41.9	41.9
2.一部のケースで行っている	14	11.4	22.6	64.5
3.全ケースで行っている	4	3.3	6.5	71.0
4.わからない	18	14.6	29.0	100.0
合計	62	50.4	100.0	
欠損値	61	49.6		
システム欠損値				
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭復帰後の支援の準備_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	42	34.1	48.3	48.3
2.一部のケースで行っている	33	26.8	37.9	86.2
3.全ケースで行っている	1	.8	1.1	87.4
4.わからない	11	8.9	12.6	100.0
合計	87	70.7	100.0	
欠損値	36	29.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑨-2里親への家庭復帰後の支援の準備_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	17	13.8	14.7	14.7
2.一部のケースで行っている	64	52.0	55.2	69.8
3.全ケースで行っている	35	28.5	30.2	100.0
合計	116	94.3	100.0	
欠損値	7	5.7		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑨-2里親への家庭復帰後の支援の準備_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	26	21.1	41.9	41.9
2.一部のケースで行っている	12	9.8	19.4	61.3
3.全ケースで行っている	9	7.3	14.5	75.8
4.わからない	15	12.2	24.2	100.0
合計	62	50.4	100.0	
欠損値	61	49.6		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑩-2里親への家庭復帰後の支援の準備_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	52	42.3	73.2	73.2
2.一部のケースで行っている	6	4.9	8.5	81.7
4.わからない	13	10.6	18.3	100.0
合計	71	57.7	100.0	
欠損値	52	42.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑩-2里親への家庭復帰後の支援の準備_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	38	30.9	44.7	44.7
2.一部のケースで行っている	21	17.1	24.7	69.4
3.全ケースで行っている	6	4.9	7.1	76.5
4.わからない	20	16.3	23.5	100.0
合計	85	69.1	100.0	
欠損値	38	30.9		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑩-2里親への家庭復帰後の支援の準備_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	43	35.0	50.0	50.0
2.一部のケースで行っている	23	18.7	26.7	76.7
3.全ケースで行っている	3	2.4	3.5	80.2
4.わからない	17	13.8	19.8	100.0
合計	86	69.9	100.0	
欠損値	37	30.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑨_2里親への家庭復帰後の支援の準備_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	40	32.5	64.5	64.5
2.一部のケースで行っている	4	3.3	6.5	71.0
4.わからない	18	14.6	29.0	100.0
合計	62	50.4	100.0	
欠損値	61	49.6		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑩_要保護児童対策協議会との情報共有_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	10	8.1	8.5	8.5
2.一部のケースで行っている	66	53.7	55.9	64.4
3.全ケースで行っている	38	30.9	32.2	96.6
4.わからない	4	3.3	3.4	100.0
合計	118	95.9	100.0	
欠損値	5	4.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑩_要保護児童対策協議会との情報共有_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	46	37.4	66.7	66.7
2.一部のケースで行っている	9	7.3	13.0	79.7
3.全ケースで行っている	2	1.6	2.9	82.6
4.わからない	12	9.8	17.4	100.0
合計	69	56.1	100.0	
欠損値	54	43.9		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑩_要保護児童対策協議会との情報共有_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	73	59.3	89.0	89.0
2.一部のケースで行っている	1	.8	1.2	90.2
4.わからない	8	6.5	9.8	100.0
合計	82	66.7	100.0	
欠損値	41	33.3		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑩_要保護児童対策協議会との情報共有_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	51	41.5	59.3	59.3
2.一部のケースで行っている	18	14.6	20.9	80.2
3.全ケースで行っている	2	1.6	2.3	82.6
4.わからない	15	12.2	17.4	100.0
合計	86	69.9	100.0	
欠損値	37	30.1		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑩_要保護児童対策協議会との情報共有_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	50	40.7	59.5	59.5
2.一部のケースで行っている	18	14.6	21.4	81.0
3.全ケースで行っている	2	1.6	2.4	83.3
4.わからない	14	11.4	16.7	100.0
合計	84	68.3	100.0	
欠損値	39	31.7		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑩要保護児童対策協議会との情報共有_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	28	22.8	46.7	46.7
2.一部のケースで行っている	13	10.6	21.7	68.3
3.全ケースで行っている	6	4.9	10.0	78.3
4.わからない	13	10.6	21.7	100.0
合計	60	48.8	100.0	
欠損値	63	51.2		
合計	123	100.0		

6-3. 支援の内容_⑩要保護児童対策協議会との情報共有_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.全く行っていない	65	52.8	75.6	75.6
2.一部のケースで行っている	16	13.0	18.6	94.2
3.全ケースで行っている	1	.8	1.2	95.3
4.わからない	4	3.3	4.7	100.0
合計	86	69.9	100.0	
欠損値	37	30.1		
合計	123	100.0		

6-4-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を対象とする支援プログラムを実施していますか？_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	68	55.3	58.1	58.1
2.実施していない	46	37.4	39.3	97.4
3.不明	3	2.4	2.6	100.0
合計	117	95.1	100.0	
欠損値	6	4.9		
合計	123	100.0		

6-4-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を対象とする支援プログラムを実施していますか？_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	10	8.1	13.3	13.3
2.実施していない	56	45.5	74.7	88.0
3.不明	9	7.3	12.0	100.0
合計	75	61.0	100.0	
欠損値	48	39.0		
合計	123	100.0		

6-4-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を対象とする支援プログラムを実施していますか？_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	9	7.3	10.5	10.5
2.実施していない	69	56.1	80.2	90.7
3.不明	8	6.5	9.3	100.0
合計	86	69.9	100.0	
欠損値	37	30.1		
合計	123	100.0		

6-4-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を対象とする支援プログラムを実施していますか？_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	16	13.0	17.2	17.2
2.実施していない	60	48.8	64.5	81.7
3.不明	17	13.8	18.3	100.0
合計	93	75.6	100.0	
欠損値	30	24.4		
合計	123	100.0		

6-4-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を対象とする支援プログラムを実施していますか？_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	15	12.2	16.1	16.1
2. 実施していない	63	51.2	67.7	83.9
3. 不明	15	12.2	16.1	100.0
合計	93	75.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	30	24.4		
合計	123	100.0		

6-4-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を対象とする支援プログラムを実施していますか？_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	4	3.3	5.8	5.8
2. 実施していない	45	36.6	65.2	71.0
3. 不明	20	16.3	29.0	100.0
合計	69	56.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	54	43.9		
合計	123	100.0		

7-1-1. 家族再統合支援の課題_（障害・犯罪歴など）問題を抱えている子どもが多い

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	54	43.9	43.9	43.9
該当	69	56.1	56.1	100.0
合計	123	100.0	100.0	

7-1-2. 家族再統合支援の課題_（障害・犯罪歴・貧困など）問題を抱えている実親が多い

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	14	11.4	11.4	11.4
該当	109	88.6	88.6	100.0
合計	123	100.0	100.0	

7-1-3. 家族再統合支援の課題_子どもを引き取ることが望んでいない実親が多い

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	52	42.3	42.3	42.3
該当	71	57.7	57.7	100.0
合計	123	100.0	100.0	

7-1-4. 家族再統合支援の課題_子どもを実親の元に帰すことを望んでいない里親が多い

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	90	73.2	73.2	73.2
該当	33	26.8	26.8	100.0
合計	123	100.0	100.0	

7-1-5. 家族再統合支援の課題_子どもが実親の元に帰るための準備が整っていない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	44	35.8	35.8	35.8
該当	79	64.2	64.2	100.0
合計	123	100.0	100.0	

7-1-6. 家族再統合支援の課題_実親と子どもとの交流がうまくいかない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	53	43.1	43.1	43.1
該当	70	56.9	56.9	100.0
合計	123	100.0	100.0	

7-1-7. 家族再統合支援の課題_実親と里親との交流がうまくいかない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	91	74.0	74.0	74.0
該当	32	26.0	26.0	100.0
合計	123	100.0	100.0	

7-1-8. 家族再統合支援の課題_児童相談所以外の関係機関がない(少ない)

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	73	59.3	59.3	59.3
非該当	50	40.7	40.7	100.0
該当	123	100.0	100.0	

7-1-9. 家族再統合支援の課題_児童相談所や関係機関と、子ども/実親/里親とのやり取りがうまくいかない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	85	69.1	69.1	69.1
非該当	38	30.9	30.9	100.0
該当	123	100.0	100.0	

7-1-10. 家族再統合支援の課題_児童相談所と関係機関との連携ができていない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	117	95.1	95.1	95.1
非該当	6	4.9	4.9	100.0
該当	123	100.0	100.0	

7-1-11. 家族再統合支援の課題_その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	118	95.9	95.9	95.9
非該当	5	4.1	4.1	100.0
該当	123	100.0	100.0	

7-1-12. 家族再統合支援の課題_不明

	度数	パーセント
欠損値	システム欠損値	123
	パーセント	100.0

6.3.2 ケース票

(次ページ以降を参照)

1-1. 今回の委託措置の開始年月日についてお答えください。_年

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	1995	.0	.0	.0
	1999	.0	.0	.1
	2000	.2	.2	.3
	2001	.3	.3	.6
	2002	1.0	1.0	1.7
	2003	1.3	1.3	2.9
	2004	1.9	1.9	4.8
	2005	1.8	1.8	6.7
	2006	1.3	1.3	8.0
	2007	2.7	2.7	10.7
	2008	3.1	3.1	13.8
	2009	3.0	3.0	16.8
	2010	3.7	3.7	20.5
	2011	3.7	3.7	24.2
	2012	4.3	4.3	28.5
	2013	4.7	4.7	33.3
	2014	5.8	5.8	39.0
	2015	8.2	8.2	47.2
	2016	9.9	9.9	57.1
	2017	13.5	13.5	70.6
	2018	21.1	21.2	91.8
	2019	8.2	8.2	100.0
合計	2312	100.0	100.0	
欠損値	システム欠損値		.0	
合計	2313	100.0		

1-2. 2019年3月31日時点で、里親委託措置解除／継続のいずれになりますでしょうか。

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	1.措置解除	240	10.4	10.4
	2.措置継続	2060	89.1	89.6
合計	2300	99.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値		.6	
合計	2313	100.0		

1-3. (1-2で「1.措置解除」の場合)委託解除の判断に至った援助方針の決定時点の年月日についてお答えください。_年

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	2016	.8	.9	.9
	2017	6.7	7.3	8.3
	2018	42.9	47.2	55.5
	2019	40.4	44.5	100.0
合計	218	90.8	100.0	
欠損値	システム欠損値		9.2	
合計	240	100.0		

1-4. (1-2で「1.措置解除」の場合)措置解除年月日についてお答えください。_年

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	2017	.8	.8	.8
	2018	31.3	31.6	32.5
	2019	66.3	67.1	99.6
	2020	.4	.4	100.0
合計	237	98.8	100.0	
欠損値	システム欠損値		1.3	
合計	240	100.0		

1-5. (1-2で「1.措置解除」の場合)措置解除後の状況についてお答えください。

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	1.家庭復帰	79	32.9	33.3
	2.自立	69	28.7	29.1
	3.その他	89	37.1	37.6
合計	237	98.8	100.0	
欠損値	システム欠損値		1.3	
合計	240	100.0		

1-7. 里親委託開始時点における、家族再統合に関する目標について
お答えください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
A	465	20.1	20.5	20.5
B	697	30.1	30.8	51.3
C	1102	47.6	48.7	100.0
合計	2264	97.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	49	2.1	
合計		2313	100.0	

1-8. 委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（※「措置継続」
の場合は2019年3月31日時点）における、家族再統合に関する目標
についてお答えください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
A	341	14.7	15.8	15.8
B	616	26.6	28.6	44.4
C	1200	51.9	55.6	100.0
合計	2157	93.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	156	6.7	
合計		2313	100.0	

2-1. 子どもの性別

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 男	1185	51.2	51.4	51.4
2. 女	1121	48.5	48.6	100.0
合計	2306	99.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	7	.3	
合計		2313	100.0	

2-2. 子どもの年齢〔委託解除の判断に至った援助方針の決定時点
（※「措置継続」の場合は2019年3月31日時点）〕

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
2-2. 子どもの年齢〔委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（※「措置継続」の場合は2019年3月31日時点）〕	2307	0	20	10.01	5.692

2-3-1. 子どもに障害の診断もしくは疑いがある

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.あり	616	26.6	27.1	27.1
2.なし	1506	65.1	66.3	93.4
3.不明	150	6.5	6.6	100.0
合計	2272	98.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	41	1.8	
合計		2313	100.0	

2-3-2. 子どもに非行（盗み、喫煙、飲酒、暴力、その他刑法や特別
法に触れる行為）歴がある

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.あり	115	5.0	5.1	5.1
2.なし	2128	92.0	93.9	98.9
3.不明	24	1.0	1.1	100.0
合計	2267	98.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	46	2.0	
合計		2313	100.0	

2-3-3. 子どもが両親との交流に不安を抱いている

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.あり	350	15.1	15.7	15.7
2.なし	1011	43.7	45.5	61.2
3.不明	863	37.3	38.8	100.0
合計	2224	96.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	89	3.8	
合計		2313	100.0	

3-1-1. 実親の里親委託に対する同意

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2008	86.8	89.7	89.7
1.同意あり				
2.同意なし（児童福祉法第28条による家庭裁判所からの承認）	50	2.2	2.2	91.9
3.実親が行方不明のため確認できない	144	6.2	6.4	98.3
4.現時点では情報を得ていない	37	1.6	1.7	100.0
合計	2239	96.8	100.0	
欠損値	74	3.2		
システム次損値				
合計	2313	100.0		

3-1-2. 実親が子どもを引き取ることを希望している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	855	37.0	38.3	38.3
1.希望している				
2.希望していない	1003	43.4	44.9	83.1
3.不明	377	16.3	16.9	100.0
合計	2235	96.6	100.0	
欠損値	78	3.4		
システム次損値				
合計	2313	100.0		

3-1-3. 実親の経済上の問題

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1399	60.5	62.8	62.8
1.あり				
2.なし	407	17.6	18.3	81.0
3.不明	423	18.3	19.0	100.0
合計	2229	96.4	100.0	
欠損値	84	3.6		
システム次損値				
合計	2313	100.0		

3-1-4. 実親に障害の診断もしくは疑いがある

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	793	34.3	35.4	35.4
1.あり				
2.なし	798	34.5	35.6	71.0
3.不明	650	28.1	29.0	100.0
合計	2241	96.9	100.0	
欠損値	72	3.1		
システム次損値				
合計	2313	100.0		

3-1-5. 実親が過去に有罪判決を受けたことがある

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	174	7.5	7.8	7.8
1.あり				
2.なし	1478	63.9	65.9	73.6
3.不明	592	25.6	26.4	100.0
合計	2244	97.0	100.0	
欠損値	69	3.0		
システム次損値				
合計	2313	100.0		

3-1-6. 実親におけるDVの問題

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	302	13.1	13.5	13.5
1.あり				
2.なし	1248	54.0	55.9	69.4
3.不明	684	29.6	30.6	100.0
合計	2234	96.6	100.0	
欠損値	79	3.4		
システム次損値				
合計	2313	100.0		

3-2. 児童福祉法第27条第1項第2号の規定による措置が採られましたか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	173	7.5	8.1	8.1
1.採られた				
2.採られなかった	1952	84.4	91.9	100.0
合計	2125	91.9	100.0	
欠損値	188	8.1		
システム次損値				
合計	2313	100.0		

3-3-1. 実親が親権停止となっている

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2310	99.9	99.9	99.9
非該当				
該当	3	.1	.1	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

3-3-2. 実親が親権喪失となっている

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2310	99.9	99.9	99.9
非該当				
該当	3	.1	.1	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

3-3-3. 実親への接近禁止命令が出ている

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2312	100.0	100.0	100.0
非該当				
該当	1	.0	.0	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

3-3-4. 実親が死亡もしくは失踪宣告を受けている

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2232	96.5	96.5	96.5
非該当				
該当	81	3.5	3.5	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

3-3-5. 実親への連絡がつかない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2268	98.1	98.1	98.1
非該当				
該当	45	1.9	1.9	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

4-1-1. 里親が、今回の里親委託とは別に、もともと養子縁組を希望している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	492	21.3	21.6	21.6
1.希望している				
2.希望していない	1615	69.8	70.7	92.3
3.不明	114	4.9	5.0	97.3
4.担当者が異なるので回答できない	62	2.7	2.7	100.0
合計	2283	98.7	100.0	
欠損値	30	1.3		
システム欠損値				
合計	2313	100.0		

4-1-2. 里親が子どもを実親の元に帰すことに同意している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	957	41.4	43.2	43.2
1.同意している				
2.同意していない	567	24.5	25.6	68.8
3.不明	691	29.9	31.2	100.0
合計	2215	95.8	100.0	
欠損値	98	4.2		
システム欠損値				
合計	2313	100.0		

4-1-3. 里親が子どもと実親との交流に同意している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1252	54.1	56.5	56.5
1.同意している				
2.同意していない	379	16.4	17.1	73.6
3.不明	584	25.2	26.4	100.0
合計	2215	95.8	100.0	
欠損値	98	4.2		
システム欠損値				
合計	2313	100.0		

5-1. 実親と面会・外出・外泊の交流がありましたか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	813	35.1	35.8	35.8
1.交流あり				
2.交流なし	1460	63.1	64.2	100.0
合計	2273	98.3	100.0	
欠損値	40	1.7		
システム欠損値				
合計	2313	100.0		

5-2. 実親と子どもが、電話やSNS等で直接連絡を取ることはありましたか？

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. あり	225	9.7	10.0	10.0
2. なし	1941	83.9	86.5	96.6
3. 不明	77	3.3	3.4	100.0
合計	2243	97.0	100.0	
欠損値	70	3.0		
合計	2313	100.0		

5-3. (5-1で「1.交流あり」の場合) 面会・外出・外泊の回数(直近の一年間)

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
5-3. (5-1で「1.交流あり」の場合) 面会・外出・外泊の回数(直近の一年間)	790	0	110	5.32	8.183

5-4. (5-1で「1.交流あり」の場合) 「交流あり」の理由として、当てはまる主なものを3つまでお答えください。_1つ目

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 子どもの障害・特性に実親が対応できる	18	2.2	2.3	2.3
2. 実親が子どもに対して適切な対応を取れる	137	16.9	17.1	19.4
3. 実親に経済上の問題がない	27	3.3	3.4	22.8
4. 実親が里親委託に同意している	302	37.1	37.8	60.6
5. 実親が子どもを引き取ることを希望している	155	19.1	19.4	80.0
6. 里親が子どもと実親の交流が必要であると意見	24	3.0	3.0	83.0
7. 子どもが実親との交流を希望している	96	11.8	12.0	95.0
8. 関係機関等において、家族再統合支援を行うための準備が整っている	7	.9	.9	95.9
9. 子どもの方で、家族再統合支援に対する準備が整っている	1	.1	.1	96.0
10. 実親の方で、家族再統合支援に対する準備が整っている	2	.2	.3	96.2

5-4. (5-1で「1.交流あり」の場合) 「交流あり」の理由として、当てはまる主なものを3つまでお答えください。_1つ目

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
11. その他	25	3.1	3.1	99.4
12. 不明	5	.6	.6	100.0
合計	799	98.3	100.0	
欠損値	14	1.7		
合計	813	100.0		

5-4. (5-1で「1.交流あり」の場合) 「交流あり」の理由として、当てはまる主なものを3つまでお答えください。_2つ目

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 子どもの障害・特性に実親が対応できる	1	.1	.2	.2
2. 実親が子どもに対して適切な対応を取れる	33	4.1	5.5	5.6
3. 実親に経済上の問題がない	16	2.0	2.7	8.3
4. 実親が里親委託に同意している	111	13.7	18.4	26.7
5. 実親が子どもを引き取ることを希望している	169	20.8	28.0	54.7
6. 里親が子どもと実親の交流が必要であると意見	95	11.7	15.8	70.5
7. 子どもが実親との交流を希望している	120	14.8	19.9	90.4
8. 関係機関等において、家族再統合支援を行うための準備が整っている	24	3.0	4.0	94.4
9. 子どもの方で、家族再統合支援に対する準備が整っている	5	.6	.8	95.2
10. 実親の方で、家族再統合支援に対する準備が整っている	4	.5	.7	95.9
11. その他	25	3.1	4.1	100.0
合計	603	74.2	100.0	
欠損値	210	25.8		
合計	813	100.0		

5-4. (5-1で「1.交流あり」の場合)「交流あり」の理由として、当てはまる主なものを3つまでお答えください。_3つ目

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	9	1.1	2.6	2.6
	6	.7	1.7	4.3
	26	3.2	7.4	11.7
	39	4.8	11.1	22.8
	54	6.6	15.4	38.2
	146	18.0	41.6	79.8
	44	5.4	12.5	92.3
	7	.9	2.0	94.3
	12	1.5	3.4	97.7
	8	1.0	2.3	100.0
合計	351	43.2	100.0	
欠損値	462	56.8		
合計	813	100.0		

5-6. (5-1で「2.交流なし」の場合)「交流なし」の理由として、当てはまる主なものを3つまでお答えください。_1つ目

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	45	3.1	3.2	3.2
	135	9.2	9.5	12.6
	163	11.2	11.4	24.1
	49	3.4	3.4	27.5
	35	2.4	2.5	30.0
	9	.6	.6	30.6
	6	.4	.4	31.0
	5	.3	.4	31.4
	1	.1	.1	31.4
	421	28.8	29.5	61.0
	11	.8	.8	61.8
	60	4.1	4.2	66.0
	18	1.2	1.3	67.2
	11	.8	.8	68.0
	99	6.8	6.9	74.9
	325	22.3	22.8	97.8
	32	2.2	2.2	100.0
合計	1425	97.6	100.0	
欠損値	35	2.4		
合計	1460	100.0		

5-6. (5-1で「2.交流なし」の場合)「交流なし」の理由として、当てはまる主なものを3つまでお答えください。_2つ目

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	5	.3	.8	.8
1. 子どもの障害・特性に実親が対応できない	23	1.6	3.8	4.6
2. 実親の障害の問題	103	7.1	16.9	21.5
3. 実親に経済上の問題がある	39	2.7	6.4	28.0
4. 実親の転居が多い	31	2.1	5.1	33.1
5. 実親の家族構成の変化が大さい	2	.1	.3	33.4
8. 実親が親権喪失となっている	111	7.6	18.3	51.6
10. 実親が子どもを引き取ることを希望していない	25	1.7	4.1	55.8
11. 里親が子どもと実親の交流が無理であると意見	36	2.5	5.9	61.7
12. 子どもが実親との交流に不安を示している	21	1.4	3.5	65.1
13. 関係機関等において、家族再統合支援を行うための調整が終わっていない	37	2.5	6.1	71.2
14. 子どもの方で、家族再統合支援に対する準備ができていない	82	5.6	13.5	84.7
15. 実親の方で、家族再統合支援に対する準備ができていない	89	6.1	14.6	99.3
16. その他	4	.3	.7	100.0
17. 不明	608	41.6	100.0	
合計	852	58.4		
欠損値	1460	100.0		
合計				

5-6. (5-1で「2.交流なし」の場合)「交流なし」の理由として、当てはまる主なものを3つまでお答えください。_3つ目

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	1	.1	.4	.4
2. 実親の障害の問題	16	1.1	5.7	6.0
3. 実親に経済上の問題がある	12	.8	4.2	10.2
4. 実親の転居が多い	20	1.4	7.1	17.3
5. 実親の家族構成の変化が大さい	2	.1	.7	18.0
6. 実親が里親委託に同意していない	1	.1	.4	18.4
7. 実親が親権停止となっている	52	3.6	18.4	36.7
10. 実親が子どもを引き取ることを希望していない	7	.5	2.5	39.2
11. 里親が子どもと実親の交流が無理であると意見	16	1.1	5.7	44.9
12. 子どもが実親との交流に不安を示している	18	1.2	6.4	51.2
13. 関係機関等において、家族再統合支援を行うための調整が終わっていない	10	.7	3.5	54.8
14. 子どもの方で、家族再統合支援に対する準備ができていない	86	5.9	30.4	85.2
15. 実親の方で、家族再統合支援に対する準備ができていない	40	2.7	14.1	99.3
16. その他	2	.1	.7	100.0
17. 不明	283	19.4	100.0	
合計	1177	80.6		
欠損値	1460	100.0		
合計				

6-1-1. 家族再統合支援に関わった機関_児童相談所

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	470	20.3	20.3	20.3
該当	1843	79.7	79.7	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

6-1-2. 家族再統合支援に関わった機関_里親支援機関

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	2084	90.1	90.1	90.1
該当	229	9.9	9.9	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

6-1-3. 家族再統合支援に関わった機関_里親会

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	2261	97.8	97.8	97.8
該当	52	2.2	2.2	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

6-1-4. 家族再統合支援に関わった機関_乳児院

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	2185	94.9	94.9	94.9
該当	118	5.1	5.1	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

6-1-5. 家族再統合支援に関わった機関_児童養護施設

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	2148	92.9	92.9	92.9
該当	165	7.1	7.1	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

6-1-6. 家族再統合支援に関わった機関_その他の機関

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	2138	92.4	92.4	92.4
該当	175	7.6	7.6	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

6-3. (6-1で「6-1-1. 児童相談所」以外にも○をつけた場合) 児童相談所以外で、本ケースに対する家族再統合支援に最も多く関わった機関

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 里親支援機関	128	22.5	29.9	29.9
2. 里親会	7	1.2	1.6	31.5
3. 乳児院	72	12.7	16.8	48.4
4. 児童養護施設	92	16.2	21.5	69.9
5. その他の機関	129	22.7	30.1	100.0
合計	428	75.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	141	24.8	
合計	569	100.0		

7-1. 本ケースにおける自立支援計画の作成に、里親の意向が反映されましたか？

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 反映された	1717	74.2	79.2	79.2
2. 反映されない	452	19.5	20.8	100.0
合計	2169	93.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	144	6.2	
合計	2313	100.0		

7-2-1. 里親の意向を確認する方法_口頭で意向を確認する

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	430	18.6	18.6	18.6
該当	1883	81.4	81.4	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

7-2-2. 里親の意向を確認する方法_自立支援計画の書類を里親と児童福祉司が共に作成する

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	1852	80.1	80.1	80.1
該当	461	19.9	19.9	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

7-2-3. 里親の意向を確認する方法_自立支援計画について検討する児童相談所の会議に、里親が出席する

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2297	99.3	99.3	99.3
非該当				
該当	16	.7	.7	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

7-2-4. 里親の意向を確認する方法_その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2238	96.8	96.8	96.8
非該当				
該当	75	3.2	3.2	100.0
合計	2313	100.0	100.0	

6.3.3 事例票 A

※事例票 B・C については、ケース数が非常に少ないため、設問別記述統計は掲載して
ない。

(次ページ以降を参照)

1-1-1. 主訴として当てはまるものを一つ選んでください。

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	14	35.0	35.0	35.0
	23	57.5	57.5	92.5
	1	2.5	2.5	95.0
	2	5.0	5.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-2. 里親委託開始時点における、実親の親権停止についてお答えください。

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	40	100.0	100.0	100.0

1-3. 里親委託開始時点における、実親の親権喪失についてお答えください。

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	40	100.0	100.0	100.0

1-4. 里親委託開始時点における、実親への接近禁止命令についてお答えください。

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	40	100.0	100.0	100.0

1-6. 今回の里親委託措置以前の状況についてお答えください。

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	27	67.5	67.5	67.5
	7	17.5	17.5	85.0
	6	15.0	15.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-7-1. 家庭復帰が望めそうであったか_里親委託開始時点

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	24	60.0	60.0	60.0
	13	32.5	32.5	92.5
	3	7.5	7.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-7-2. 家庭復帰が望めそうであったか_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	31	77.5	77.5	77.5
	5	12.5	12.5	90.0
	2	5.0	5.0	95.0
合計	38	95.0	95.0	95.0
欠損値	2	5.0		
合計	40	100.0		

1-8-1-1. 実親へ伝えた里親に関する情報_里親委託開始時点_住所

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	29	72.5	72.5	72.5
	11	27.5	27.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-1-2. 実親へ伝えた里親に関する情報_里親委託開始時点_これまでの里親としての受託状況

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	27	67.5	67.5	67.5
	13	32.5	32.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-1-3. 実親へ伝えた里親に関する情報_里親委託開始時点
_家族構成

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	18	45.0	45.0	45.0
該当	22	55.0	55.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-1-4. 実親へ伝えた里親に関する情報_里親委託開始時点
_就業状況

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	27	67.5	67.5	67.5
該当	13	32.5	32.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-1-5. 実親へ伝えた里親に関する情報_里親委託開始時点
_家の種類

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	27	67.5	67.5	67.5
該当	13	32.5	32.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-1-6. 実親へ伝えた里親に関する情報_里親委託開始時点
_その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	30	75.0	75.0	75.0
該当	10	25.0	25.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-1-7. 実親へ伝えた里親に関する情報_里親委託開始時点
_不明

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	38	95.0	95.0	95.0
該当	2	5.0	5.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-1-8. 実親へ伝えた里親に関する情報_里親委託開始時点
_何も伝えていなかった

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	34	85.0	85.0	85.0
該当	6	15.0	15.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-3-1. 実親へ伝えた里親に関する情報_委託解除の判断に
至った援助方針の決定時点_住所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	25	62.5	62.5	62.5
該当	15	37.5	37.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-3-2. 実親へ伝えた里親に関する情報_委託解除の判断に
至った援助方針の決定時点_当該児童を含めた受託状況

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	26	65.0	65.0	65.0
該当	14	35.0	35.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-3-3. 実親へ伝えた里親に関する情報_委託解除の判断に
至った援助方針の決定時点_家族構成

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	20	50.0	50.0	50.0
該当	20	50.0	50.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-3-4. 実親へ伝えた里親に関する情報_委託解除の判断に
至った援助方針の決定時点_就業状況

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	26	65.0	65.0	65.0
該当	14	35.0	35.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-3-5. 実親へ伝えた里親に関する情報_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点_家の種類

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	28	70.0	70.0	70.0
該当	12	30.0	30.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-3-6. 実親へ伝えた里親に関する情報_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点_その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	34	85.0	85.0	85.0
該当	6	15.0	15.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-3-7. 実親へ伝えた里親に関する情報_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点_不明

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	38	95.0	95.0	95.0
該当	2	5.0	5.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-8-3-8. 実親へ伝えた里親に関する情報_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点_何も伝えていなかった

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	37	92.5	92.5	92.5
該当	3	7.5	7.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-9-1-1. 里親へ伝えた実親に関する情報_里親委託開始時点_住所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	8	20.0	20.0	20.0
該当	32	80.0	80.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-9-1-2. 里親へ伝えた実親に関する情報_里親委託開始時点_実親の養育状況

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
該当	40	100.0	100.0	100.0

1-9-1-3. 里親へ伝えた実親に関する情報_里親委託開始時点_家族構成

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	1	2.5	2.5	2.5
該当	39	97.5	97.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-9-1-4. 里親へ伝えた実親に関する情報_里親委託開始時点_その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	29	72.5	72.5	72.5
該当	11	27.5	27.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-9-1-5. 里親へ伝えた実親に関する情報_里親委託開始時点_不明

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
非該当	39	97.5	97.5	97.5
該当	1	2.5	2.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-9-1-6. 里親へ伝えた実親に関する情報_里親委託開始時点_何も伝えていなかった

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	40	100.0

1-9-3-1. 里親へ伝えた実親に関する情報_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点_住所

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	16	40.0	40.0	40.0
該当	24	60.0	60.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-9-3-2. 里親へ伝えた実親に関する情報_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点_実親の養育状況

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	9	22.5	22.5	22.5
該当	31	77.5	77.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-9-3-3. 里親へ伝えた実親に関する情報_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点_家族構成

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	12	30.0	30.0	30.0
該当	28	70.0	70.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-9-3-4. 里親へ伝えた実親に関する情報_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点_その他

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	29	72.5	72.5	72.5
該当	11	27.5	27.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-9-3-5. 里親へ伝えた実親に関する情報_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点_不明

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	39	97.5	97.5	97.5
該当	1	2.5	2.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-9-3-6. 里親へ伝えた実親に関する情報_委託解除の判断に至った援助方針の決定時点_何も伝えていなかった

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	39	97.5	97.5	97.5
該当	1	2.5	2.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-10-1. 面会した回数 (直近の一年間)

1-10-1. 面会した回数 (直近の一年間)	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
	38	0	48	7.63	9.499

1-10-2-1. 面会場所_児童相談所

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	16	40.0	40.0	40.0
該当	24	60.0	60.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-10-2-2. 面会場所_里親支援機関

欠損値	度数	パーセント
システム欠損値	40	100.0

1-10-2-3. 面会場所_里親の家

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	35	87.5	87.5	87.5
該当	5	12.5	12.5	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-10-2-4. 面会場所_実親の家

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	20	50.0	50.0	50.0
該当	20	50.0	50.0	100.0
合計	40	100.0	100.0	

1-10-2-5. 面会場所_その他

有効	非該当	該当	合計
度数	34	6	40
パーセント	85.0	15.0	100.0
有効パーセント	85.0	15.0	100.0
累積パーセント	85.0	100.0	

1-11. 里親委託開始時点～委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（二同上）の間に、実親が里親と面会した回数（直近の一年間）についてお答えください。

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
37	0	48	5.11	10.458
1-11. 里親委託開始時点～委託解除の判断に至った援助方針の決定時点（二同上）の間に、実親が里親と面会した回数（直近の一年間）についてお答えください。				

1-12. 措置解除時点における、児童相談所の提示した家庭復帰プログラムがどの程度達成されたか、についてお答えください。

有効	1. 達成できた	2. おおむね達成できた	3. あまり達成できていない	4. 全く達成できていない	合計
度数	10	15	3	3	31
パーセント	25.0	37.5	7.5	7.5	77.5
有効パーセント	32.3	48.4	9.7	9.7	100.0
累積パーセント	32.3	80.6	90.3	100.0	
欠損値	システム欠損値				
合計	40				

2-1. 子どもの所属

有効	1. 保育園	2. 幼稚園	3. 小学校	4. 中学校	5. 高校	6. 専門学校	8. 大学	9. その他	10. 学校に入っていない	合計
度数	12	1	7	3	1	1	1	1	6	33
パーセント	30.0	2.5	17.5	7.5	2.5	2.5	2.5	2.5	15.0	82.5
有効パーセント	36.4	3.0	21.2	9.1	3.0	3.0	3.0	3.0	18.2	100.0
累積パーセント	36.4	39.4	60.6	69.7	72.7	75.8	78.8	81.8	100.0	
欠損値	システム欠損値									
合計	40									

2-2-1. 子どもの障害の有無_身体障害

有効	1. 診断あり	2. 疑いあり	3. なし	合計
度数	3	1	24	28
パーセント	7.5	2.5	60.0	70.0
有効パーセント	10.7	3.6	85.7	100.0
累積パーセント	10.7	14.3	100.0	
欠損値	システム欠損値			
合計	40			

2-2-2. 子どもの障害の有無_知的障害

有効	1. 診断あり	2. 疑いあり	3. なし	合計
度数	1	2	25	28
パーセント	2.5	5.0	62.5	70.0
有効パーセント	3.6	7.1	89.3	100.0
累積パーセント	3.6	10.7	100.0	
欠損値	システム欠損値			
合計	40			

2-2-3. 子どもの障害の有無_精神障害

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	3.6	3.6
3. なし	27	67.5	96.4	100.0
合計	28	70.0	100.0	
欠損値	12	30.0		
合計	40	100.0		

2-2-4. 子どもの障害の有無_LD、ADHD、ASD

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	7.5	10.3	10.3
3. なし	24	60.0	82.8	93.1
4. 不明	2	5.0	6.9	100.0
合計	29	72.5	100.0	
欠損値	11	27.5		
合計	40	100.0		

2-2-5. 子どもの障害の有無_受着障害

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	3.6	3.6
3. なし	23	57.5	82.1	85.7
4. 不明	4	10.0	14.3	100.0
合計	28	70.0	100.0	
欠損値	12	30.0		
合計	40	100.0		

2-3-1. 子どもの非行の有無_盗み

	度数	パーセント
欠損値	40	100.0

2-3-2. 子どもの非行の有無_喫煙

	度数	パーセント
欠損値	40	100.0

2-3-3. 子どもの非行の有無_飲酒

	度数	パーセント
欠損値	40	100.0

2-3-4. 子どもの非行の有無_暴力

	度数	パーセント
欠損値	40	100.0

2-3-5. 子どもの非行の有無_その他刑法 や特別法に触れる行為

	度数	パーセント
欠損値	40	100.0

3-1-1. 実父の年齢

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
3-1-1. 実父の年齢	14	13	50	34.50	9.944

3-1-2-1. 実父の障害の有無_身体障害

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	6.7	6.7
3. なし	12	30.0	80.0	86.7
4. 不明	2	5.0	13.3	100.0
合計	15	37.5	100.0	
欠損値	25	62.5		
合計	40	100.0		

3-1-2-2. 実父の障害の有無_知的障害

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	6.7	6.7
2. 疑いあり	1	2.5	6.7	13.3
3. なし	11	27.5	73.3	86.7
4. 不明	2	5.0	13.3	100.0
合計	15	37.5	100.0	
欠損値	25	62.5		
合計	40	100.0		

3-1-2-3. 実父の障害の有無_精神障害

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	6.3	6.3
2. 疑いあり	13	32.5	81.3	87.5
3. なし	2	5.0	12.5	100.0
4. 不明	16	40.0	100.0	
合計	24	60.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

3-1-3. 実父が過去に有罪判決を受けたことがあるか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	11	27.5	68.8	68.8
2. 有罪判決を受けたことがない	5	12.5	31.3	100.0
3. 不明	16	40.0	100.0	
合計	24	60.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

3-2-1. 実母の年齢

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
3-2-1. 実母の年齢	31	17	49	33.16	8.688

3-2-2-1. 実母の障害の有無_身体障害

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	7.5	11.1	11.1
1. 診断あり	23	57.5	85.2	96.3
3. なし	1	2.5	3.7	100.0
4. 不明	27	67.5	100.0	
合計	13	32.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

3-2-2-2. 実母の障害の有無_知的障害

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	10.0	14.3	14.3
1. 診断あり	2	5.0	7.1	21.4
2. 疑いあり	19	47.5	67.9	89.3
3. なし	3	7.5	10.7	100.0
4. 不明	28	70.0	100.0	
合計	12	30.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

3-2-2-3. 実母の障害の有無_精神障害

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	5	12.5	18.5	18.5
1. 診断あり	1	2.5	3.7	22.2
2. 疑いあり	19	47.5	70.4	92.6
3. なし	2	5.0	7.4	100.0
4. 不明	27	67.5	100.0	
合計	13	32.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

3-2-3. 実母が過去に有罪判決を受けたことがあるか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	7.5	10.7	10.7
1. 有罪判決を受けたことがある	18	45.0	64.3	75.0
2. 有罪判決を受けたことがない	7	17.5	25.0	100.0
3. 不明	28	70.0	100.0	
合計	12	30.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

3-3. 実親の児童福祉法第56条に基づく階層区分

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	8	20.0	27.6	27.6
1. A	14	35.0	48.3	75.9
2. B	1	2.5	3.4	79.3
4. C2	1	2.5	3.4	82.8
5. D1	1	2.5	3.4	86.2
6. D2	3	7.5	10.3	96.6
8. D4	1	2.5	3.4	100.0
10. D6	29	72.5	100.0	
合計	11	27.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

3-4. 実親が子どもを引き取ることを希望していたか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	30	75.0	90.9	90.9
1. 希望していた	3	7.5	9.1	100.0
2. 希望していなかった	33	82.5	100.0	
合計	7	17.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

4-1-1. 里親の年齢

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
4-1-1. 里親の年齢	31	35	74	55.32	9.918

4-1-2. 里親の年齢

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
4-1-2. 里親の年齢	34	33	71	53.91	9.725

4-2-1. 里親の実子_総数

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
4-2-1. 里親の実子_総数	34	0	5	2.09	1.485

4-2-2. 里親の実子_同居している人数

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
4-2-2. 里親の実子_同居している人数	34	0	4	1.26	1.266

4-3. 里親の他の委託児童の数

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
4-3. 里親の他の委託児童の数	34	0	3	.44	.705

4-4. 里親が子どもを実親の元に帰すことに同意していたか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	31	77.5	91.2	91.2
1. 同意していた	3	7.5	8.8	100.0
2. 同意していなかった	34	85.0	100.0	
合計	6	15.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

4-5. 里親が子どもと実親との交流に同意していたか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	33	82.5	97.1	97.1
1. 同意していた	1	2.5	2.9	100.0
2. 同意していなかった	34	85.0	100.0	
合計	6	15.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

4-6. 里親が援助方針の決定に参加していたか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	15	37.5	44.1	44.1
1. 参加していた	17	42.5	50.0	94.1
2. 参加していなかった	2	5.0	5.9	100.0
3. 不明	34	85.0	100.0	
合計	6	15.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_①家族再統合支援のための事前の情報収集・アセスメント_原簿相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	38	95.0	100.0	100.0
1. 実施している	2	5.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ①家族再統合
支援のための事前の情報収集・アセスメント_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	3	7.5	13.0	13.0
2. 実施していない	19	47.5	82.6	95.7
3. 不明	1	2.5	4.3	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ①家族再統合
支援のための事前の情報収集・アセスメント_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	26	65.0	100.0	100.0
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ①家族再統合
支援のための事前の情報収集・アセスメント_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	24	60.0	96.0	96.0
3. 不明	1	2.5	4.0	100.0
合計	25	62.5	100.0	
欠損値	15	37.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ①家族再統合
支援のための事前の情報収集・アセスメント_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	3	7.5	12.5	12.5
2. 実施していない	20	50.0	83.3	95.8
3. 不明	1	2.5	4.2	100.0
合計	24	60.0	100.0	
欠損値	16	40.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ①家族再統合
支援のための事前の情報収集・アセスメント_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	5	12.5	22.7	22.7
2. 実施していない	15	37.5	68.2	90.9
3. 不明	2	5.0	9.1	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ①家族再統合
支援のための事前の情報収集・アセスメント_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	8	20.0	28.6	28.6
2. 実施していない	20	50.0	71.4	100.0
合計	28	70.0	100.0	
欠損値	12	30.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ②自立支援計
画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	31	77.5	81.6	81.6
2. 実施していない	7	17.5	18.4	100.0
合計	38	95.0	100.0	
欠損値	2	5.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ②自立支援計
画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_里親支援機
関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	22	55.0	95.7	95.7
3. 不明	1	2.5	4.3	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	27	67.5	100.0	100.0
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		
欠損値				
システム欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	25	62.5	96.2	96.2
欠損値	1	2.5	3.8	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		
欠損値				
システム欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	4.0	4.0
欠損値	23	57.5	92.0	96.0
合計	1	2.5	4.0	100.0
欠損値	25	62.5	100.0	
欠損値	15	37.5		
合計	40	100.0		
欠損値				
システム欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	5.0	9.1	9.1
欠損値	18	45.0	81.8	90.9
合計	2	5.0	9.1	100.0
欠損値	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		
欠損値				
システム欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_②自立支援計画の中で、家族再統合支援に関する実施計画を策定する_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	10.0	14.8	14.8
欠損値	23	57.5	85.2	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		
欠損値				
システム欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_③-1実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	33	82.5	86.8	86.8
欠損値	3	7.5	7.9	94.7
合計	2	5.0	5.3	100.0
欠損値	38	95.0	100.0	
欠損値	2	5.0		
合計	40	100.0		
欠損値				
システム欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_③-1実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	4.3	4.3
欠損値	21	52.5	91.3	95.7
合計	1	2.5	4.3	100.0
欠損値	23	57.5	100.0	
欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		
欠損値				
システム欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_③-1実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	27	67.5	100.0	100.0
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		
欠損値				
システム欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	25	62.5	96.2	96.2
2. 実施していない	1	2.5	3.8	100.0
3. 不明	26	65.0	100.0	
合計	14	35.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	4.0	4.0
1. 実施している	23	57.5	92.0	96.0
2. 実施していない	1	2.5	4.0	100.0
3. 不明	25	62.5	100.0	
合計	15	37.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	5.0	9.1	9.1
1. 実施している	18	45.0	81.8	90.9
2. 実施していない	2	5.0	9.1	100.0
3. 不明	22	55.0	100.0	
合計	18	45.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_③-1 実親や子どもに対して、家族再統合支援のプランの説明をする_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	3.7	3.7
1. 実施している	26	65.0	96.3	100.0
2. 実施していない	27	67.5	100.0	
合計	13	32.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_③-2 里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をする_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	32	80.0	84.2	84.2
1. 実施している	4	10.0	10.5	94.7
2. 実施していない	2	5.0	5.3	100.0
3. 不明	38	95.0	100.0	
合計	2	5.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_③-2 里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をする_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	5.0	8.7	8.7
1. 実施している	20	50.0	87.0	95.7
2. 実施していない	1	2.5	4.3	100.0
3. 不明	23	57.5	100.0	
合計	17	42.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_③-2 里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をする_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	27	67.5	100.0	100.0
2. 実施していない	13	32.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ③-2 里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をする_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	25	62.5	96.2	96.2
2. 実施していない	1	2.5	3.8	100.0
3. 不明	26	65.0	100.0	
合計	14	35.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ③-2 里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をする_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	24	60.0	96.0	96.0
2. 実施していない	1	2.5	4.0	100.0
3. 不明	25	62.5	100.0	
合計	15	37.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ③-2 里親に対して、家族再統合支援のプランの説明をする_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	20	50.0	90.9	90.9
2. 実施していない	2	5.0	9.1	100.0
3. 不明	22	55.0	100.0	
合計	18	45.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-1 子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	14	35.0	36.8	36.8
1. 実施している	23	57.5	60.5	97.4
2. 実施していない	1	2.5	2.6	100.0
3. 不明	38	95.0	100.0	
合計	2	5.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-1 子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	22	55.0	95.7	95.7
2. 実施していない	1	2.5	4.3	100.0
3. 不明	23	57.5	100.0	
合計	17	42.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-1 子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	27	67.5	100.0	100.0
2. 実施していない	13	32.5		
3. 不明	40	100.0		
合計				
欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-1 子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	25	62.5	96.2	96.2
2. 実施していない	1	2.5	3.8	100.0
3. 不明	26	65.0	100.0	
合計	14	35.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-1 子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	24	60.0	96.0	96.0
2. 実施していない	1	2.5	4.0	100.0
3. 不明	25	62.5	100.0	
合計	15	37.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-1子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	4.5	4.5
1. 実施している	20	50.0	90.9	95.5
2. 実施していない	1	2.5	4.5	100.0
3. 不明	22	55.0	100.0	
合計	18	45.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-1子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	3.7	3.7
1. 実施している	26	65.0	96.3	100.0
2. 実施していない	27	67.5	100.0	
合計	13	32.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	30	75.0	78.9	78.9
1. 実施している	8	20.0	21.1	100.0
2. 実施していない	38	95.0	100.0	
合計	2	5.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	5.0	8.7	8.7
1. 実施している	19	47.5	82.6	91.3
2. 実施していない	2	5.0	8.7	100.0
3. 不明	23	57.5	100.0	
合計	17	42.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	27	67.5	100.0	100.0
1. 実施している	13	32.5		
2. 実施していない	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	3.8	3.8
1. 実施している	24	60.0	92.3	96.2
2. 実施していない	1	2.5	3.8	100.0
3. 不明	26	65.0	100.0	
合計	14	35.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	4.0	4.0
1. 実施している	23	57.5	92.0	96.0
2. 実施していない	1	2.5	4.0	100.0
3. 不明	25	62.5	100.0	
合計	15	37.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	10.0	18.2	18.2
1. 実施している	17	42.5	77.3	95.5
2. 実施していない	1	2.5	4.5	100.0
3. 不明	22	55.0	100.0	
合計	18	45.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-2実親に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	7	17.5	25.9	25.9
2.実施していない	20	50.0	74.1	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-3里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	30	75.0	78.9	78.9
2.実施していない	7	17.5	18.4	97.4
3.不明	1	2.5	2.6	100.0
合計	38	95.0	100.0	
欠損値	2	5.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-3里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	2	5.0	8.7	8.7
2.実施していない	20	50.0	87.0	95.7
3.不明	1	2.5	4.3	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-3里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2.実施していない	27	67.5	100.0	100.0
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-3里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	2	5.0	7.7	7.7
2.実施していない	23	57.5	88.5	96.2
3.不明	1	2.5	3.8	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-3里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	1	2.5	4.0	4.0
2.実施していない	23	57.5	92.0	96.0
3.不明	1	2.5	4.0	100.0
合計	25	62.5	100.0	
欠損値	15	37.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-3里親に対する家族再統合支援についての直接的支援_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2.実施していない	21	52.5	95.5	95.5
3.不明	1	2.5	4.5	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	35	87.5	92.1	92.1
2. 実施していない	3	7.5	7.9	100.0
合計	38	95.0	100.0	
欠損値	2	5.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	2	5.0	8.7	8.7
2. 実施していない	20	50.0	87.0	95.7
3. 不明	1	2.5	4.3	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	3.7	3.7
2. 実施していない	26	65.0	96.3	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	25	62.5	96.2	96.2
3. 不明	1	2.5	3.8	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	4.0	4.0
2. 実施していない	23	57.5	92.0	96.0
3. 不明	1	2.5	4.0	100.0
合計	25	62.5	100.0	
欠損値	15	37.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容 ④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	2	5.0	9.1	9.1
2. 実施していない	19	47.5	86.4	95.5
3. 不明	1	2.5	4.5	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-4 実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	3	7.5	11.5	11.5
2. 実施していない	23	57.5	88.5	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	21	52.5	55.3	55.3
2. 実施していない	17	42.5	44.7	100.0
合計	38	95.0	100.0	
欠損値	2	5.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	2	5.0	8.7	8.7
2. 実施していない	20	50.0	87.0	95.7
3. 不明	1	2.5	4.3	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	27	67.5	100.0	100.0
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	3.8	3.8
2. 実施していない	24	60.0	92.3	96.2
3. 不明	1	2.5	3.8	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	24	60.0	96.0	96.0
3. 不明	1	2.5	4.0	100.0
合計	25	62.5	100.0	
欠損値	15	37.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-5 里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	21	52.5	95.5	95.5
3. 不明	1	2.5	4.5	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	24	60.0	63.2	63.2
1. 実施している	13	32.5	34.2	97.4
2. 実施していない	1	2.5	2.6	100.0
3. 不明	38	95.0	100.0	
合計	2	5.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	4.3	4.3
1. 実施している	21	52.5	91.3	95.7
2. 実施していない	1	2.5	4.3	100.0
3. 不明	23	57.5	100.0	
合計	17	42.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	27	67.5	100.0	100.0
1. 実施している	13	32.5		
2. 実施していない	40	100.0		
合計				
欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	25	62.5	96.2	96.2
1. 実施している	1	2.5	3.8	100.0
2. 実施していない	26	65.0	100.0	
3. 不明	14	35.0		
合計	40	100.0		
欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	4.0	4.0
1. 実施している	23	57.5	92.0	96.0
2. 実施していない	1	2.5	4.0	100.0
3. 不明	25	62.5	100.0	
合計	15	37.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	21	52.5	95.5	95.5
1. 実施している	1	2.5	4.5	100.0
2. 実施していない	22	55.0	100.0	
3. 不明	18	45.0		
合計	40	100.0		
欠損値				
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_④-6 実親・子どもでの外出による交流_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	8	20.0	29.6	29.6
1. 実施している	19	47.5	70.4	100.0
2. 実施していない	27	67.5	100.0	
合計	13	32.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	25	62.5	65.8	65.8
1. 実施している	12	30.0	31.6	97.4
2. 実施していない	1	2.5	2.6	100.0
3. 不明	38	95.0	100.0	
合計	2	5.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	4.3	4.3
2. 実施していない	21	52.5	91.3	95.7
3. 不明	1	2.5	4.3	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	3.7	3.7
2. 実施していない	26	65.0	96.3	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	25	62.5	96.2	96.2
3. 不明	1	2.5	3.8	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	4.0	4.0
2. 実施していない	23	57.5	92.0	96.0
3. 不明	1	2.5	4.0	100.0
合計	25	62.5	100.0	
欠損値	15	37.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	4.5	4.5
2. 実施していない	20	50.0	90.9	95.5
3. 不明	1	2.5	4.5	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑤ 実親・子どもでの帰宅外泊_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	7	17.5	25.9	25.9
2. 実施していない	20	50.0	74.1	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑥ 自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する実施計画の評価・見直し_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	23	57.5	60.5	60.5
2. 実施していない	13	32.5	34.2	94.7
3. 不明	2	5.0	5.3	100.0
合計	38	95.0	100.0	
欠損値	2	5.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する実施計画の評価・見直し
_里親支援機関

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 実施している	1	2.5	4.3	4.3
2. 実施していない	21	52.5	91.3	95.7
3. 不明	1	2.5	4.3	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	17	42.5	
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する実施計画の評価・見直し
_里親会

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
2. 実施していない	27	67.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	13	32.5	
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する実施計画の評価・見直し
_乳児院

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 実施している	1	2.5	3.8	3.8
2. 実施していない	24	60.0	92.3	96.2
3. 不明	1	2.5	3.8	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	14	35.0	
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する実施計画の評価・見直し
_児童養護施設

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 実施している	1	2.5	4.0	4.0
2. 実施していない	23	57.5	92.0	96.0
3. 不明	1	2.5	4.0	100.0
合計	25	62.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	15	37.5	
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する実施計画の評価・見直し
_その他の機関

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
2. 実施していない	21	52.5	95.5	95.5
3. 不明	1	2.5	4.5	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	18	45.0	
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑥自立支援計画の中に位置づけた家族再統合支援に関する実施計画の評価・見直し
_里親

有効	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 実施している	6	15.0	22.2	22.2
2. 実施していない	21	52.5	77.8	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	13	32.5	
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑦児童相談所
以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭復帰に向けた評価）_里
親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	2	5.0	8.7	8.7
2. 実施していない	20	50.0	87.0	95.7
3. 不明	1	2.5	4.3	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑦児童相談所
以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭復帰に向けた評価）_里
親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	27	67.5	100.0	100.0
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑦児童相談所
以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭復帰に向けた評価）_乳
児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	3.8	3.8
2. 実施していない	24	60.0	92.3	96.2
3. 不明	1	2.5	3.8	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑦児童相談所
以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭復帰に向けた評価）_児
童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	4.0	4.0
2. 実施していない	23	57.5	92.0	96.0
3. 不明	1	2.5	4.0	100.0
合計	25	62.5	100.0	
欠損値	15	37.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑦児童相談所
以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭復帰に向けた評価）_そ
他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	4	10.0	18.2	18.2
2. 実施していない	17	42.5	77.3	95.5
3. 不明	1	2.5	4.5	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑦児童相談所
以外の機関との定期的情報交換・共有（家庭復帰に向けた評価）_里
親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	9	22.5	33.3	33.3
2. 実施していない	18	45.0	66.7	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑩児童相談所
以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_里親支
援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	2	5.0	8.7	8.7
2. 実施していない	20	50.0	87.0	95.7
3. 不明	1	2.5	4.3	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑩児童相談所
以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	3.7	3.7
2. 実施していない	26	65.0	96.3	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑩児童相談所
以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	25	62.5	96.2	96.2
3. 不明	1	2.5	3.8	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑩児童相談所
以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_児童養
護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	24	60.0	96.0	96.0
3. 不明	1	2.5	4.0	100.0
合計	25	62.5	100.0	
欠損値	15	37.5		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑩児童相談所
以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_その他
の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	5	12.5	22.7	22.7
2. 実施していない	16	40.0	72.7	95.5
3. 不明	1	2.5	4.5	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		

5-1. 委託開始～援助方針の決定時点までの支援の内容_⑩児童相談所
以外の機関との家庭復帰に向けたアセスメント、協議・合議_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	8	20.0	29.6	29.6
2. 実施していない	19	47.5	70.4	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭
復帰後の支援の準備_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	32	80.0	94.1	94.1
2. 実施していない	2	5.0	5.9	100.0
合計	34	85.0	100.0	
欠損値	6	15.0		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭
復帰後の支援の準備_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	4.5	4.5
2. 実施していない	20	50.0	90.9	95.5
3. 不明	1	2.5	4.5	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭
復帰後の支援の準備_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	2	5.0	7.4	7.4
2. 実施していない	25	62.5	92.6	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭
復帰後の支援の準備_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	1	2.5	3.8	3.8
2. 実施していない	24	60.0	92.3	96.2
3. 不明	1	2.5	3.8	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭
復帰後の支援の準備_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	3	7.5	12.0	12.0
2. 実施していない	21	52.5	84.0	96.0
3. 不明	1	2.5	4.0	100.0
合計	25	62.5	100.0	
欠損値	15	37.5		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭
復帰後の支援の準備_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	7	17.5	31.8	31.8
2. 実施していない	14	35.0	63.6	95.5
3. 不明	1	2.5	4.5	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-1子ども・実親への家庭
復帰後の支援の準備_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	7	17.5	26.9	26.9
2. 実施していない	19	47.5	73.1	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-2里親への家庭復帰後の支援の準備_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	29	72.5	85.3	85.3
2.実施していない	4	10.0	11.8	97.1
3.不明	1	2.5	2.9	100.0
合計	34	85.0	100.0	
欠損値	6	15.0		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-2里親への家庭復帰後の支援の準備_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	4	10.0	18.2	18.2
2.実施していない	17	42.5	77.3	95.5
3.不明	1	2.5	4.5	100.0
合計	22	55.0	100.0	
欠損値	18	45.0		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-2里親への家庭復帰後の支援の準備_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2.実施していない	26	65.0	96.3	96.3
3.不明	1	2.5	3.7	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-2里親への家庭復帰後の支援の準備_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	2	5.0	7.7	7.7
2.実施していない	23	57.5	88.5	96.2
3.不明	1	2.5	3.8	100.0
合計	26	65.0	100.0	
欠損値	14	35.0		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-2里親への家庭復帰後の支援の準備_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	2	5.0	8.0	8.0
2.実施していない	22	55.0	88.0	96.0
3.不明	1	2.5	4.0	100.0
合計	25	62.5	100.0	
欠損値	15	37.5		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑨-2里親への家庭復帰後の支援の準備_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1.実施している	1	2.5	4.3	4.3
2.実施していない	21	52.5	91.3	95.7
3.不明	1	2.5	4.3	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑩要保護児童対策協議会との情報共有_児童相談所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	25	62.5	73.5	73.5
1. 実施している	9	22.5	26.5	100.0
2. 実施していない	34	85.0	100.0	
合計	6	15.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑩要保護児童対策協議会との情報共有_里親支援機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2.5	4.5	4.5
1. 実施している	20	50.0	90.9	95.5
2. 実施していない	1	2.5	4.5	100.0
3. 不明	22	55.0	100.0	
合計	18	45.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑩要保護児童対策協議会との情報共有_里親会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	26	65.0	96.3	96.3
1. 実施している	1	2.5	3.7	100.0
2. 実施していない	27	67.5	100.0	
合計	13	32.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑩要保護児童対策協議会との情報共有_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	25	62.5	96.2	96.2
1. 実施している	1	2.5	3.8	100.0
2. 実施していない	26	65.0	100.0	
合計	14	35.0		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑩要保護児童対策協議会との情報共有_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	5.0	8.0	8.0
1. 実施している	22	55.0	88.0	96.0
2. 実施していない	1	2.5	4.0	100.0
3. 不明	25	62.5	100.0	
合計	15	37.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑩要保護児童対策協議会との情報共有_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	6	15.0	26.1	26.1
1. 実施している	15	37.5	65.2	91.3
2. 実施していない	2	5.0	8.7	100.0
3. 不明	23	57.5	100.0	
合計	17	42.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

5-2. 援助方針の決定時点後の支援の内容_⑩要保護児童対策協議会との情報共有_里親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	5.0	8.0	8.0
1. 実施している	23	57.5	92.0	100.0
2. 実施していない	25	62.5	100.0	
合計	15	37.5		
欠損値	40	100.0		
合計				

6-1. 援助方針の決定時点後の支援の一月あたり回数_子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
6-1. 援助方針の決定時点後の支援の一月あたり回数_子ども単独に対する家族再統合支援についての直接的支援	33	0	6	.76	1.275

**6-2. 援助方針の決定時点後の支援の一月あたり回数_実親に対する
家族再統合支援についての直接的支援**

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
35	0	17	1.89	2.968
6-2. 援助方針の決定時点後の支援の一月あたり回数_実親に対する家族再統合支援についての直接的支援				

**6-3. 援助方針の決定時点後の支援の一月あたり回数_里親に対する
家族再統合支援についての直接的支援**

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
33	0	10	1.64	1.981
6-3. 援助方針の決定時点後の支援の一月あたり回数_里親に対する家族再統合支援についての直接的支援				

**6-4. 援助方針の決定時点後の支援の一月あたり回数_実親・子ども
を同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援**

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
34	0	6	1.41	1.234
6-4. 援助方針の決定時点後の支援の一月あたり回数_実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援				

**6-5. 援助方針の決定時点後の支援の一月あたり回数_里親・実親・
子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援**

度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
32	0	6	.84	1.526
6-5. 援助方針の決定時点後の支援の一月あたり回数_里親・実親・子どもを同時に対象とする家族再統合支援についての直接的支援				

**7-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を
対象とする支援プログラムを実施していますか？_児童相談所**

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	17	42.5	43.6	43.6
1. 実施している				
2. 実施していない	22	55.0	56.4	100.0
合計	39	97.5	100.0	
欠損値	1	2.5		
システム欠損値				
合計	40	100.0		

**7-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を
対象とする支援プログラムを実施していますか？_里親支援機関**

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	7.5	12.5	12.5
1. 実施している				
2. 実施していない	18	45.0	75.0	87.5
3. 不明	3	7.5	12.5	100.0
合計	24	60.0	100.0	
欠損値	16	40.0		
システム欠損値				
合計	40	100.0		

**7-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を
対象とする支援プログラムを実施していますか？_里親会**

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	5.0	7.4	7.4
1. 実施している				
2. 実施していない	22	55.0	81.5	88.9
3. 不明	3	7.5	11.1	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値	13	32.5		
システム欠損値				
合計	40	100.0		

7-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を
対象とする支援プログラムを実施していますか？_乳児院

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	2	5.0	7.4	7.4
2. 実施していない	20	50.0	74.1	81.5
3. 不明	5	12.5	18.5	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

7-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を
対象とする支援プログラムを実施していますか？_児童養護施設

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
1. 実施している	4	10.0	14.8	14.8
2. 実施していない	17	42.5	63.0	77.8
3. 不明	6	15.0	22.2	100.0
合計	27	67.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	13	32.5		
合計	40	100.0		

7-1. 各機関において、里親委託中の子ども、実親、あるいは親子を
対象とする支援プログラムを実施していますか？_その他の機関

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
2. 実施していない	17	42.5	73.9	73.9
3. 不明	6	15.0	26.1	100.0
合計	23	57.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	17	42.5		
合計	40	100.0		

厚生労働省子ども家庭局 2019年度先駆的ケア策定・検証調査事業
里親養育における親子関係調整及び
家族再統合支援のあり方に関する調査研究
報告書

2020年（令和2年）3月発行

株式会社 政策基礎研究所